

昭和 50 年度

学校教育要覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 81-7354



1374795

目 次

◆ 日野市地図	
◆ 昭和 50 年度指導目標	3 頁
◆ 年間行事計画	15
◆ 指導主事分担一覧	22
◆ 日野市教育相談室	23
◆ 日野市教育センター	26
◆ 使用教科書	28
◆ 日野市教育委員会事務局組織	29
◆ 小中学校教科領域研究主任一覧表	31
◆ 日野市立幼稚園、小学校、中学校要覧	33

日野市全図

1 : 30,000

0 500 1000 2000m

日野市役所



日野市教育委員会

昭和50年度学校教育の指導目標

教育基本法の精神及び東京都の学校教育における指導目標の徹底に努めながら、地域の文化・自然を大切にし、市民相互の信頼による社会連帯意識を高め、心身ともに健康で個性豊かな人間形成をめざす教育を推進する。

特に本年度は、教育の本質と学校教育のあり方について日野市の実態に即して深く考え、地域及び父母との連携をはかり、ひとりひとりの幼児・児童・生徒を生かす指導の徹底に努める。

そのために、次の事項に重点をおく。

- 人権尊重の教育
- 社会的な連帯意識を育てる教育
- 授業研究の推進
- 心身障害教育の深化
- 幼児教育の質的充実

重点事項について

○ 人権尊重の教育

すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の精神を培い、教育基本法に示された教育の目的を達成するための人権尊重の教育を徹底することが必要である。

特に各学校では、同和对策審議会の答申、並びに同和对策事業特別措置法の趣旨を体し、学校教育の全体を通して、あらゆる差別や偏見をなくし、基本的人権を尊重する同和教育の推進に努めなければならない。

1. 地域や幼児・児童・生徒の実態を的確にとらえ、学校のエ育活動全体を通して不合理や差別、偏見をなくし、基本的人権を尊重する精神を育成し、特に、ひとりひとりが尊重される望ましい人間関係の育成に努める。
2. 幼児・児童・生徒の最大限の発達をめざす適切な指導により、ひとりひとりが主体的に目標を立て、常に明るく充実した生活が営めるようにする。
3. ひとりひとりが自己の能力や適性を最大限に発揮できるよう、適切な学習指導・生活指導及び進路指導の徹底をはかる。
4. 同和教育について全職員の認識を深め、同和教育のあり方や指導についての研究を推進する。

○ 社会的な連帯意識を育てる教育

日野市の急激な都市化は自然環境の変貌を著しいものにし、また市民の地域や教育に対する意識、願望も多様なものへと変化してきている。

このような社会の中で、歴史的に継承され発展してきているさまざまなものに対する理解力と批判

力、感受性を育て、郷土を愛する心を育てるとともに、社会的な活動に進んで参加し、その中で自己とともに生かすことができるような社会連帯意識と責任ある行動とを育てることに努めなければならない。

1. 郷土の自然、文化遺産についての理解を深め、これを受し、保護する教育に努める。
2. 自己の自由を尊重し、自己と異なる意見や立場をも重んじながら、互に協力し合う態度の育成に努める。
3. 自己を見失わない主体性を育てるとともに、信頼と尊敬を得られる責任ある行動的な態度の育成に努める。
4. 自国の歴史と伝統を受し、文化に深い理解を持つ国民的自覚を育てるとともに、他国の文化をも尊重する国際理解の教育を推進する。

○ 授業研究の推進

児童・生徒に生気と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を最大限に発揮させ、創造的な個性を発見し、これを伸長する教育をめざして、日野市では授業研究にとりくんできている。

本年度もこれを推進し、子ども自らが主体的に学習する授業の創造に努める。

1. 日野市立小中学校全校が授業研究にとりくみ、教師の自己研修の場を拡大し、資質の向上に努める。
2. 各学校間で授業研究の交流をはかり、特に小中学校での指導方法についての関連をいっそう密にすることに努める。
3. 教育、とくに授業についての認識と理解を深め、「よい授業」の成立条件を明らかにすることに努める。
4. 児童・生徒の創造的個性の実態を把握することに努め、その伸長のための授業の方法を追求する。

○ 心身障害教育の深化

心身に障害を持つすべての児童・生徒に適切な教育を施す方策が推進され、一方、その心身障害の程度は重度化、多様化、重複化の傾向を示し、心身障害教育の重要性と困難性は著しく増大してきている。

こうした現況下において改めて心身障害教育の本質と課題とを深く考えるとともに、ひとりひとりの発達の可能性をひき出し、障害を克服して、明るく強く、生きがいを持つような教育の推進に努める。

1. 心身障害教育の本質と課題とを考え、幼児・児童・生徒の実態をじゅう分考慮した教育目標、教育の重点を設定する。
2. 心身障害教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め、ひとりひとりを生かす教育の徹底を期することに努める。
3. 心身障害学級設置校にあっては、全校児童・生徒に、障害を持つ児童・生徒についての正しい認識と理解を与え、相互に協力し合える交流の場を積極的に設けることに努める。
4. 障害の重度化、多様化、重複化に応じて指導内容を精選し、ひとりひとりの発達と可能性をひ

き出し、伸長する指導方法を追求する。

5. 学校と家庭、教育相談、医療及び福祉機関等との連携をいっそう密にし、心身障害教育の望ましいあり方を研究する。

○ 幼児教育の質的充実

幼児教育の重要性と幼稚園教育に対する市民の強い要請に答えるために、日野市では幼稚園に入園を希望するすべての5才児を就園させることを目標に、幼稚園の拡充をすすめてきている。

また、最近における幼児の発達には加速度的現象がみられている現況にたつて、幼児の実態をじゅう分に把握し、幼児教育の現代化に努める。

1. 幼稚園教育と小学校低学年の教育との関連についての研究を深め、幼児教育のあり方を追求する。
2. 幼児の生活実態や心身の発達と環境とのかかわりあいについての研究を深め、これを保育計画に生かすように努める。
3. 幼稚園と保育園、私立幼稚園との連携を密にし、研究の交流や教育の一体化をはかることに努める。
4. 心身障害幼児を一般幼児の中で教育する場合の保育計画や指導の方法・環境のあり方についての研究を深める。

◎ 小学校教育の方針

1. 学校経営、学級経営

- 1) 地域及び父母との心の交流をはかり、地域の実態に応じて開かれた学校経営に努める。
- 2) 各学校の教育目標が学年、学級を通じて児童の望ましい人間形成のためにじゅう分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 3) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 4) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師はその専門性と指導性の向上に努める。
- 5) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心身に障害のある児童の教育にいっそう理解を深め、心の交流がじゅう分行なわれるように配慮する。

2. 教育課程 学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当っては、教育の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当っては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業を進めるとともに、児童の学習態度が意欲的になるようくふうし、また、その評価についてもあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用に努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。

- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考えるようにする。

3. 道徳教育 生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあって、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう、その組織及び方法についてじゅう分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連携をいっそう深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について研究をする。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連携に配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。
- 5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

4. 健康・安全教育

- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
- 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力かつ効果的な安全指導を行なう。
- 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
- 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう、保健及び安全教育の実践に努める。
- 5) 火災及び地震等の災害発生に対し、児童の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにしておく。

5. 情操教育 科学教育

- 1) つねに学校教育の全般を通じて人間性に即した豊かな心情がうちかわれるようじゅう分配慮する。
- 2) 読書指導の推進と教育機器の活用に努める。
- 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
- 4) 科学教育を進展させる設備・器具の充実と、その効果的利用に努める。

◎ 中学校教育の方針

1. 学校経営・学級経営

- 1) 地域及び父母との心の交流をはかり、地域の実態に応じて開かれ学校経営に努める。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により、学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
- 3) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当るように努める。
- 4) 学級担任教師は、生徒ひとりひとりを把握し、理解し、心の交流がはかれるよう配慮するとともに、教科担任教師との連絡を密にし学級経営の充実をはかる。
- 5) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
- 6) 心身障害学級を設置する学校においては、心身障害学級と一般学級との交流をはかり、協力的

な指導体制を整えるようにする。

2. 教育課程、学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
- 2) 各教科、領域の指導に当っては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
- 3) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすよう努める。
- 4) 教材・教具の効果的な活用、教育機器の利用についてもくふうし学習指導の充実をはかる。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、小学校の教育課程との関連について考える。

3. 道徳教育 生活指導

- 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
- 2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4. 健康 安全教育

- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるように努める。
- 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。
- 3) 火災及び地震等の災害発生に対し、生徒の安全がはかれるようその組織と方法を明らかにしておく。

5. 情操教育 科学教育

- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6. 進路指導

- 1) 個々の生徒の能力、適性をよく把握し、それに応じられるように努める。

◎ 幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の特性を理解し、個性の伸長に努める。
2. 教育課程の編成に当っては、地域、幼児の実態に基づき、小学校低学年との関連をはかりながら改善をはかる。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導方法のくふうに努める。
4. 健康安全の生活習慣を身につけるように努める。とくに交通安全については地域、父母との連携をはかり、これの徹底に努める。
5. 心身に障害を持つ幼児や、特別な配慮を要する幼児については、特に深い理解を持ち、ひとりひとりを生かすための適切な園、学級経営に努める。
6. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を助けるようにする。
7. 環境改善についてくふうし 豊かな情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくように努める。
8. 幼保、私立幼稚園との連絡を密にし、研究の交流、保育の一貫性がはかれるように努める。

市教委の学校訪問について

1. 趣 旨

学校訪問は教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることとて、① 学校の当面する教育指導上の諸問題をとらえ、② それらの問題を学校のもつ諸条件に基づいて解決するよう実践し、③ あわせて日野市の全般的な教育活動を把握して指導行政の参考とするため実施する。

昭和 50 年度は、次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 市教委訪問 A

年間一度、教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態をはあくし、指導助言する。

内容は ① 校長の概況説明 ② 授業参観 ③ 施設・設備の活用状況の参観 ④ 教職員との協議懇談等を含む。

(2) 市教委訪問 B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問する。

内容は ① 学級経営 ② 教科指導 ③ 道徳指導 ④ 生活指導 ⑤ その他

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。

2. 昭和 50 年度学校訪問の日程

種 別	校 名	A 訪 問 日	B 訪 問 日
小 学 校	日野第一小学校	11 月 6 日 (木)	6 月 18 日 (水)
	日野第二小学校	11 月 25 日 (火)	5 月 16 日 (金)
	日野第三小学校	7 月 1 日 (火)	12 月 3 日 (水)
	日野第四小学校	2 月 18 日 (水)	6 月 25 日 (水)
	日野第五小学校	6 月 13 日 (金)	1 月 23 日 (金)
	日野第六小学校	6 月 4 日 (水)	10 月 15 日 (水)
	潤 徳 小 学 校	6 月 10 日 (火)	11 月 17 日 (月)
	平 山 小 学 校	6 月 30 日 (月)	11 月 26 日 (水)
	日野第七小学校	1 月 27 日 (火)	11 月 19 日 (水)
	日野第八小学校	6 月 24 日 (火)	1 月 21 日 (水)

種 別	校 名	A 訪 問 日	B 訪 問 日
小 学 校	百草台 小学校	2月 6日(金)	11月27日(木)
	滝合 小学校	6月16日(月)	11月18日(火)
	高幡台 小学校	2月16日(月)	11月20日(木)
	南平 小学校	5月26日(月)	10月17日(金)
中 学 校	日野第一中学校	6月23日(月)	1月26日(月)
	日野第二中学校	11月28日(金)	1月30日(金)
	七生中学校	9月29日(月)	1月28日(水)
	日野第三中学校	5月22日(木)	11月 7日(金)
	日野第四中学校	10月29日(水)	1月19日(月)
幼 稚 園	第一 幼稚園	7月 2日(水)	9月16日(火)
	第二 幼稚園	2月20日(金)	10月22日(水)
	第三 幼稚園	1月14日(水)	6月11日(水)
	第四 幼稚園	2月 2日(月)	10月15日(水)
	第五 幼稚園	5月14日(水)	9月17日(水)

昭和50年度

日野市教育委員会学校教育課研修計画

☆ 研修活動の方針

1. 教師の自主的研修の推進の方向に努める。
2. 各学校において積極的に校内研修がすすめられるよう促すとともに研修内容の充実をはかる。
3. 東京都教育庁指導部・体育部，多摩教育事務所，東京都立教育研究所との連携をはかる。

A. 一般

	ね ら い ・ 方 針	期 日	内 容 ・ 方 法
学 校 経 営 研 修 会	市立小・中学校・幼稚園の校長・園長・教頭・主任・教務主任など 学校・園の管理・運営にあたる教職員の学校運営に関する知識と能力を充実させる。 講演を主に研修する。	5/19 (月)	教職 40 年間をふりかえって
		6 / 6 (金)	学級経営に関する諸法規について
		7/14 (月)	教師ひとりひとりの特性を生かした学校経営
		8 / 9 (土)	地域住民の教育への願いを生かす学校経営
		10/21 (火)	東京都における教育の課題
		12/8 (月)	学校評価を生かした経営の改善
毛 筆 書 写 (実技講座11/10 11/18 11/25)	小学校国語科における毛筆，書写指導のねらいを追求するとともに指導技術の向上を図る。	5/27 (火)	国語における書写指導のねらいについて (講演)
		10/28 (火)	授業研究と協議
社 会 科 実 技	小学校社会科における地域学習のあり方を深め指導法を研究する。	5/13 (火)	地域学習について (演習)
理 科 実 技	科学的な考え方が身につくような理科の指導法を研究する。	5/30 (金)	実験・観察のポイント (実技研修)
		10/27 (月)	授業研究と協議

	ね ら い ・ 方 針	期 日	内 容 ・ 方 法
音 楽 実 技	旋律創作の技能を育てるための学習指導法を研究する。	6/26 (金)	授業研究と協議
図 工 実 技	小学校における紙工作の指導法の技術を高める。	9/26 (金)	紙工作の実技研修
体 育 実 技	調和のとれた身体の発達を促すような体育実技の技術を高める。	5/23 (金)	
		9/12 (金)	リズム運動の指導について (実 習)
道 徳 教 育	「道徳」の指導内容の選択と資料について授業研究をもとに指導法を深める。	6/27 (金)	資料の活用について (授業研究・協議)
		10/20 (月)	〃
		2/24 (火)	〃
生 活 指 導	子どもの生活指導上の問題をとらえ、指導法を研究する。	9/30 (火)	児童・生徒の非行化の実態とその対策について(講演)
教 育 機 器	教育の現代化を進めるための教育機器の利用と教育効果の向上を研究する。	12/9 (火)	O.H.P教材の作成法 (実技研修)
教 育 方 法	視聴教材活用のための実技研修と学習指導における評価の研究。	6/5 (木)	国語科における視聴覚教材の話 用法(講演)
		2/19 (木)	視聴覚教材を活用した学習指導法 (授業研究)
学 校 図 書	情報処理能力の育成と学校図書館の充実策を明らかにする。	10/14 (火)	情報センターとしての学校図書館の運営 (講演)
同 和 教 育	同和教育を具体的に展開する場合の基本的な事項について理解を深める。	6/2 (月)	人権尊重の教育と学校経営 (講演)
		12/4 (木)	学習指導における同和教育の推進 (講演)
心身障害 教育	心身に障害をもっている幼児・児童を担任した場合の基本的事項についての理解を深める。	5/9 (金)	一般学級における心障児の指導について (講演)
		12/5 (金)	個に応じた教育の設計について (講演)
幼 稚 園 教 諭	幼稚園の教育課程の編成はどのようにしたらよいか。 社会・体育の領域を中心に研究を深める。	6/9 (月)	社会性を育てる幼児教育のあり方について (講演)
		9/12 (金)	音楽・リズムの指導法について (実技研修)

	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法
事 務 職 員	学校経営における学校事務のあり方を考え運営技術の向上をはかる	7/17 (木)	学校事務の効率化について (講演)
新 任 教 諭 研 修 会	ひとりひとりの児童・生徒の特性をのばす学習指導・学級経営、児童・生徒理解についての研修を深め教職の専門性を高める。	4/ 3 (木)	講演 教師の心がまえと学校生活 市内めぐり (バス)
		5/ 6 (火)	教職員の服務について (講演)
		6/ 5 (木)	教育方法研修会と兼ねる。
		7/ 8 (火)	教育相談研修会と兼ねる。
		9/30 (火)	生活指導研修会と兼ねる。
		11/21 (金)	授業研究と協議。
		12/11 (木)	2学期の教育実践をふりかえ って (協議)
		1/20 (火)	学習指導案のたて方と関連業 務について
		2/10 (火)	授業研究
		3/12 (金)	1年間の教育実践をふりかえ って (協議)
教 育 相 談 研 修 会	学校での教育相談をどのようにしたら充実できるか、事例を通して研究を深める。	4/22 (火)	
		5/ 6 (火)	(講演)
		6/ 3 (火)	(事例研究)
		7/ 8 (火)	(講演)
		9/ 9 (火)	(事例研究)
		10/7 (火)	(講演)
		11/11 (火)	(事例研究)

	ねらい・方針	期 日	内容・方法
		12/2 (火)	(講 演)
		1/13 (火)	(事例研究)
		2/3 (火)	(講 演)
		3/9 (火)	(事例研究)

B. 宿泊研修

	ねらい・方針	期 日	内容・方法
教 務 主 任	地域と児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地区の参観と情報交換をおこなう。	6/19(木)～ 6/20(金)	他校参観と研究協議
生 活 指 導	小・中学校の生活指導態勢の確立と、児童・生徒の健全な育成をめざし、他地区の参観と情報交換をおこなう。	10/23(木)～ 10/24(金)	"
教 育 相 談	学校及び教育相談室で行なう教育相談の技術を高めるための研修を深める。	8/4(月)～ 8/5(火)	事例研究と実技研修
科 学 教 育 セ ン タ ー	小学校児童の科学的態度、能力、技術の向上と、教員の理科指導の充実向上に役立つ諸事業を行なう。	7/24(木)～ 7/25(金)	野外観察の実技研修
事 務 主 事	学校経営と学校事務との関係を明らかにし、日野市における問題点の解決をはかる。	8/19(火)～ 8/20(水)	他校参観と研究協議
新 任 教 諭	1学期間の経験を話し合っ、各自の問題解決につとめ教職の専門性を高める。	7/29(火)～ 7/30(水)	教育技術の向上をめざして (講演・実技・協議)

C. その他（協議会・委員会・連絡会等）

	ねらい・方針	期 日	内 容 ・ 方 法
教 務 主 任 会	日野市の地域及び児童・生徒の実態に即した教育課程の実施と改善につとめ、学級経営の問題点を究明する。	4/17, 5/15 6/12, 7/10 9/11, 10/9 11/13, 12/18 1/22, 2/12 3/11 の各木曜日	学校行事・校内運営組織・学校評価等のあり方を研究するとともに各学校間の情報を交換しあう。
生 活 指 導 連 絡 協 議 会	小中学の生活指導態勢を推進し、児童・生徒の健全な育成をはかるため、各校の協力と情報の交換につとめる。	4/21, 5/12 6/9, 7/7, 9/8, 10/6, 11/10, 12/1 1/12, 2/9 3/1 の各月曜日	自らの力で思考し判断できる子どもを育てる生活指導のあり方について （研究と情報交換）
教 育 方 法 研 究 委 員 会	学習指導法の改善について実践研究と理論研究を行なう。	5/6 (火)	ひとりひとりを生かす学習指導法について （授業研究と教材作成）
心身障害者教育 推 進 協 議 会	日野市における心障児教育のあり方を追求するとともに、具体的展開の方策について協議し、その推進をはかる。	4/28 (月) 6/20 (金) 9/19 (金) 11/4 (火) 12/5 (金) 3/5 (金)	心障教育を推進するための研究・研修・教育相談のあり方について （協議と見学）
ま ど べ 編 集 委 員 会	年間3回発行の「まどべ」の編集を進める。	4/25 (金)	まどべの編集と発行
音 楽 鑑 賞 教 室 打 合 せ	小中学校児童・生徒の音楽性の向上と音楽鑑賞能力の育成をめざす。	4/28 (金) 7/15 (火) 9/18 (木)	日野市公立小・中学校音楽鑑賞教室実施計画の作成

指導関係行事予定表

(□…全日 △…午前 ○…午後)

(4 月)

(5 月)

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	火			1	木		
2	水			2	金	○教育方法研究委員会	
3	木	□新任教諭研修会		3	土		憲法記念日
4	金			4	日		
5	土			5	月		こどもの日
6	日			6	火	○教育相談研修会	○幼小中障教育内容現代化委員総会
7	月			7	水	○市教研総会	
8	火			8	木	○小3社会科実技研修会	
9	水			9	金	○心障教育研修会	
10	木		△都市指導主事会	10	土		
11	金			11	日		
12	土			12	月	○生活指導連絡協議会	
13	日			13	火	○小3年社会科スライド作成委 ○新任教諭研修会	△心障担当指導主事連絡会
14	月			14	水	□市教委訪問(A)(五幼)	
15	火			15	木	○教務主任会	△都市指導主事会(分室)
16	水			16	金	□市教委訪問(B)(二小)	
17	木	○教務主任会		17	土		
18	金	○音楽鑑賞教室打ち合わせ会①	△生活指導担当指導主事連絡会	18	日		
19	土			19	月	○学校経営研修会①	□生活指導担当指導主事研究会議
20	日			20	火	□市教委訪問(A)(一幼)	
21	月	○生活指導連絡協議会		21	水		
22	火	○教育相談研修会①		22	木	□市教委訪問(A)(三中)	△学校訪問協議会
23	水			23	金	○体育実技研修会①	□道徳教育助言者研究協議会
24	木		△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協議会	24	土	○教育相談 ケース会議①	
25	金	○まどべ編集委員会 □教頭実務研修会	○教育研究総会	25	日		
26	土		△都市指導主事会	26	月	□市教委訪問(A)(南平小) ○中学校生指協	
27	日			27	火	○毛筆書写実技研修会①△	幼小中障教育内容現代化担当指導主事会
28	月	○心身障害教育推進協議会		28	水		□学校訪問
29	火		天皇誕生日	29	木		
30	水	○指導訪問(一幼)		30	金	○理科実技研修会①	△同和教育指導推進委員会 △都市指導主事会(日野)
31	木			31	土		

(6 月)

(7 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 (日)			1 火	□市教委訪問(A)(三小)	
2 月	○同和教育研修会①		2 水	□市教委訪問(A)(一幼)	□学校訪問 6
3 火	○教育相談研修会③	△幼稚園担当指導主事連絡会 1	3 木	○教務主任会	□区市指導主事宿泊研究会議
4 水		□学校訪問 2	4 金		
5 木	○教育方法研修会① (兼新任)	○道德教育助言者研究協議会 2	5 土		
6 金	○学校経営研修会②	○研究奨励費受給者総会	6 (日)		
7 土			7 月	○生活指導連絡協議会 ○教育相談研修会④(兼新任)	(二・四・五・百・南) (二・平・八・三・高・六・七・潤)
8 (日)			8 火		
9 月	○生活指導連絡協議会 ○幼稚園教諭研修会		9 水		△同和教育指導推進委員会
10 火	□市教委訪問(A)(潤徳小)		10 木	○教務主任会	△都市指導主事会
11 水	□市教委訪問(B)(三幼)	□学校訪問 3	11 金		△指導主事連絡協議会 2
12 木	○教務主任会	△都市指導主事会	12 土	○教育相談ケース会議	
13 金	□市教委訪問(A)(五小)		13 (日)		
14 土			14 月	○学校経営研修会③	
15 (日)			15 火	○音楽鑑賞教室打ち合わせ会②	△心障担当指導主事連絡会 2
16 月	□市教委訪問(A) (滝合小)		16 水		
17 火		○道德教育助言者研究協議会 3	17 木	○事務主事研修会	
18 水	□市教委訪問(B)(一小)	□学校訪問 4	18 金		
19 木	教務主任宿泊研 ○道德教育研修会①		19 土		
20 金	○心障教育推進協②	※①	20 (日)		
21 土			21 月		
22 (日)			22 火		
23 月	□市教委訪問(A)(一中)		23 水		
24 火	□市教委訪問(A)(八小)		24 木	科学データ セン ン 泊研	
25 水	□市教委訪問(B)(四小)	□学校訪問 5	25 金		
26 木	○音楽実技研修会	○多摩地区生活指導研究協議会	26 土		
27 金	○道德教育研修会①	△生活指導担当指導主事連絡会 2	27 (日)		
28 土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会	28 月		
29 (日)			29 火	新泊 任研 教	
30 月	□市教委訪問(A) (平山小)中学校生指協		30 水		
			31 木		

(8 月)

(9 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 金			1 月		
2 土			2 火		
3 (日)			3 水	} 水泳記録会	△心障担当指導主事連絡会 3
4 月	↑ 教育相談宿泊研修会		4 木		
5 火			5 金		
6 水			6 土		
7 木		全中理大会	7 (日)		
8 金			8 月	○生活指導連絡協議会	
9 土	△学校経営研修会④		9 火	○教育相談研修会⑤	
10 (日)			10 水		△指導主事連絡協議会 3
11 月			11 木	○教務主任会	△都市指導主事会
12 火			12 金	○幼稚園教諭研修会② ○体育実技研修会	
13 水			13 土		
14 木			14 (日)		
15 金			15 (月)		敬老の日
16 土			16 火	□市教委訪問(B)(一幼)	
17 (日)			17 水	□市教委訪問(B)(五幼)	□学校訪問 7
18 月			18 木	○音楽鑑賞教室 打ち合わせ会③	○多摩地区生活指導研究協議会
19 火	↑ 事務主事宿泊研修会		19 金	○心障教育推進協③	□幼稚園担当指導主事連絡会 2
20 水			20 土		
21 木			21 (日)		
22 金			22 月		
23 土		□教育研究員御岳研究会	23 火		
24 (日)		中：心障	24 (水)		秋分の日
25 月			25 木	□音楽鑑賞教室	
26 火		幼：小	26 金	○図工実技研修会	※②
27 水			27 土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会
28 木			28 (日)		
29 金			29 月	□市教委訪問(A) (七生中)	
30 土			30 火	○生活指導研修会 (兼新任)	
31 (日)					

(10月)

(11月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 水	(都 民	の 日)	1 土		↓
2 木		☐ 学校訪問	2 日		
3 金			3 月		
4 土			4 火	○心障教育推進協④	
5 日			5 水	☐ 市教委訪問(A)(六小)	☐ 学校訪問
6 月	○生活指導連絡協議会		6 木	☐ 市教委訪問(A)(一小)	
7 火	○教育相談研修会⑥		7 金	☐ 市教委訪問(B)(三中)	
8 水		☐ 学校訪問 9	8 土		
9 木	○教務主任会	△都市指導主事会	9 日		
10 金		体育の日	10 月	○生活指導連絡協議会	
11 土			11 火	○教育相談研修会⑦	△心障担当指導主事連絡会 4
12 日			12 水		☐ 学校訪問
13 月			13 木	○教務主任会	△都市指導主事会
14 火	○学校図書館研修会		14 金		
15 水	☐ 市教委訪問⑧(四幼)	☐ 学校訪問	15 土		
16 木		△指導主事連絡協議会 4 ○多摩指導主事連絡協議会 2	16 日		
17 金	☐ 市教委訪問⑧(南平小)		17 月	☐ 市教委訪問⑧(潤徳小) ○中学校生指協	
18 土			18 火	☐ 市教委訪問(B)(滝合小)	
19 日			19 水	☐ 市教委訪問(B)(七小)	☐ 学校訪問
20 月	○道徳教育研修会		20 木	☐ 市教委訪問(B) (高幡台小)	
21 火	○学校経営研修会⑤	△同和教育指導推進委員会 3	21 金	○新任教諭研修会	△生活指導担当指導主事連絡会 3
22 水	☐ 市教委訪問 B(二幼)	☐ 学校訪問	22 土		
23 木	↑生活指導主任宿泊研修会		23 日		勤労感謝の日
24 金	↓	※③	24 月		休 日
25 土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会	25 火	☐ 市教委訪問(A)(二小)	
26 日			26 水	☐ 市教委訪問(B)(平小)	
27 月	○理科実技研修会		27 木	☐ 市教委訪問(B) (百草台小)	
28 火	○毛筆書写実技研修会②		28 金	☐ 市教委訪問(A)(二中)	
29 水	☐ 市教委訪問(A)(四中)	☐ 学校訪問	29 土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会
30 木		指導主事宿泊研修会 ↓	30 日		
31 金					

(12 月)

(1 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 月	○生活指導連絡協議会		1 木		
2 火	○教育相談研修会⑧		2 金		
3 水	☐ 市教委訪問(B)(三小)	☐ 学校訪問	3 土		
4 木	○同和教育研修会②		4 日		
5 金	○心障教育推進協⑤		5 月		
6 土			6 火		
7 日			7 水		
8 月	○学校経営研修会⑥		8 木		△都市指導主事会
9 火	○教育機器研修会		9 金		△幼・小・中・障教育内容 現代化担当指導主事会 2
10 水			10 土		
11 木	○新任教諭研修会	△都市指導主事会	11 日		
12 金		△指導主事連絡協議会 5	12 月	○生活指導連絡協議会	
13 土			13 火	○教育相談研修会	
14 日			14 水	☐ 市教委訪問(A)(三幼)	☐ 学校訪問
15 月	○中学校生指協		15 木		成人の日
16 火			16 金		△生活指導担当指導主 事連絡会 4
17 水			17 土		
18 木	○教務主任会		18 日		
19 金			19 月	☐ 市教委訪問(B)(四中)	
20 土	○教育相談ケース会議	△都市指導主事会	20 火	○新任教諭研修会	△心障担当指導主事連 絡会 5
21 日			21 水	☐ 市教委訪問(B)(八小)	☐ 学校訪問
22 月			22 木	○教務主任会	
23 火			23 金	☐ 市教委訪問(B)(五小)	
24 水			24 土		△都市指導主事会
25 木			25 日		
26 金			26 月	☐ 市教委訪問(B)(一中)	
27 土			27 火	☐ 市教委訪問(A)(七小)	
28 日			28 水	☐ 市教委訪問(B)(七生中)	☐ 学校訪問
29 月			29 木		○多摩生活指導研究協 議会 3
30 火			30 金	☐ 市教委訪問(B)(二中)	
31 水			31 土	○教育相談 ケース会議	

(2 月)

(3 月)

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 (日)			1 月	○生活指導連絡協議会	
2 月	□市教委訪問(A)(四幼)		2 火		○幼稚園教育内容現代化発表会
3 火	○教育相談研修会	△同和教育推進委員会 5	3 水		
4 水	□市教委訪問(B)(六小)	□学校訪問	4 木		△都市指導主事会
5 木		○道德教育助言者研究協議会	5 金	○心障教育推進協⑥	
6 金	□市教委訪問(A)(百草台小)		6 土		
7 土			7 (日)		
8 (日)			8 月		
9 月	○生活指導連絡協議会		9 火	○教育相談研究発表会 ⑩	
10 火	○新任教諭研修会	△幼稚園担当指導主事連絡会	10 水		
11 (水)		建国記念の日	11 木	○教務主任会	
12 木	○教務主任会	△都市指導主事会	12 金	○新任教諭研修会	
13 金		△学校訪問協議会 2	13 土		△都市指導主事会 (日野)
14 土			14 (日)		
15 (日)			15 月	○中学校生指協	
16 月	□市教委訪問(A)(高幡台小)	△指導主事連絡協議会 6	16 火		△指導主事連絡協議会
17 火		○多摩指導主事連絡協議会 3	17 水		
18 水	□市教委訪問(A)(四小)		18 木		
19 木	○教育方法研修会		19 金		
20 金	□市教委訪問(A)(二幼)		20 (土)		春分の日
21 土		△都市指導主事会	21 (日)		
22 (日)			22 月		
23 月	○中学校生指協		23 火		△同和教育推進委員会 6
24 火	○道德教育研修会③		24 水		
25 水 ④⑥			25 木		
26 木			26 金		
27 金			27 土		
28 土	○教育相談ケース会議		28 (日)		
29 (日)			29 月		
			30 火		
			31 水		

☆ その他の事業について

1. 教務主任会（月例）
2. 生活指導連絡協議会（月例）
3. 音楽鑑賞教室（午前——小学校，午後——中学校）
4. 小学校科学教育センター（五小）（高幡台小）
5. 教育相談（教育相談室報発行も含む）
6. まどべ編集委員会（まどべ 年3回発行）
7. 障害教育推進協議会（委託）
8. 教育方法研究委員会——研究・実践（委託）
9. 授業研究（小中17校委託）
10. 小3社会科スライド作成（委託）
11. 社会科副読本（改訂）研究（小・中委託）
12. 教職員研究委託（5グループ 50名）
 - ① 幼児教育
 - ② 心障教育
 - ③ 生活指導
 - ④ 人権尊重の教育
 - ⑤ 健康安全の教育

指導主事分担一覧

日野市教育委員会

指導主事 蓮池 守一

指導主事 前田 徹

1. 校種別分担

○幼稚園教育 — 蓮池 小学校教育 — 蓮池 中学校教育 — 前田

2. 教科・領域別分担

○国語(含書写) — 蓮池	○社会 — 蓮池	○算数・数学 — 前田
○理科 — 前田	○音楽 — 蓮池	○図工・美術 — 蓮池
○体育・保健体育 — 前田	○家庭・技術家庭 — 前田	○外国語(英) — 前田
○道徳 — 蓮池	○生活指導 — 前田	○特別活動 — 前田
○学校行事等 — 前田	○学級経営 — 前田	○教育相談 — 蓮池
○心障教育 — 蓮池	○視聴覚教育 — 前田	○図書館教育 — 蓮池
○学校給食 — 前田	○保健教育 — 前田	○安全教育 — 前田
○同和教育 — 蓮池	○公害教育 — 前田	○進路指導 — 前田
○幼児教育 — 蓮池	○学校事務 — 前田	

3. 施設・行事等分担

○教育相談室 — 蓮池	○心障学級 — 蓮池	○科学センター — 前田
○教科書センター — 前田	○文化行事 — 蓮池	○体育行事 — 前田
○修学旅行 — 前田	○移動教室 — 蓮池	

4. 指導事務分担

○指導部、都研 — 蓮池	○研究員・現代化委 — 蓮池	○教育課程届出 — 前田
○研究集録 — 前田	○学校訪問 — 蓮池	○教材届出承認 — 前田
○遠足、修学旅行届出 — 前田	○調査・資料収集 — 前田	○指導要領 — 蓮池、前田
○まどべ — 蓮池、前田	○月行事予定 — 前田	○教育実習 — 蓮池
○授業研究校 — 蓮池、前田	○委託研究 — 前田	○都、研究奨励 — 蓮池

5. 渉外分担

○校長会 — 蓮池、前田	○教頭会 — 蓮池、前田	○教務主任会 — 蓮池、前田
○生活指導連絡協 — 前田	○教育方法研究委 — 前田	○日野市教研 — 蓮池、前田
○都市指導主事会 — 蓮池、前田	○第2ブロック連絡会 — 蓮池	

6. 研修分担

○学校経営研 — 蓮池、前田	○新任教諭研 — 蓮池、前田	○毛筆書写研 — 蓮池
○小3社会科研 — 蓮池	○理科実技研 — 前田	○音楽実技研 — 蓮池
○図工実技研 — 蓮池	○体育実技研 — 前田	○道徳教育研 — 蓮池
○生活指導研 — 前田	○教育相談研 — 蓮池	○学校図書館研 — 蓮池
○教育機器研 — 前田	○教育方法研 — 前田	○同和教育研 — 蓮池
○心障教育研 — 蓮池	○幼稚園教諭研 — 蓮池	○事務職員研 — 前田

日野市教育相談室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲、能力、生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構成

相談室長 長 沢 三 郎 （日野市教育委員会学校教育課長）

教育相談員

落 合 茂 子（日野一小教諭）	原 島 弘（日野二中教諭）
石 原 八重子（日野二小教諭）	星 野 明（日野三小教諭）
井 尻 武 子（日野五小教諭）	鈴 木 良 身（日野四中教諭）
山 内 春 美（日野五小教諭）	平 向 邦 江（一 幼 教 諭）
広 沢 フサ子（日野六小教諭）	小柳津 芳 子（日野市教育委員会）
市 川 忝 子（日野八小教諭）	

教育相談研修員

清 水 妙 子（日野一小教諭）	佐 藤 麻砂子（日野七小教諭）
守 屋 ふ み（日野一小教諭）	浜 辺 孝 子（日野八小教諭）
倉 林 紀 子（日野二小教諭）	内 藤 洋 子（滝合小教諭）
樋 口 静 江（日野二小教諭）	本 間 幸 子（高幡台小教諭）
佐 藤 恵 子（日野二小教諭）	清 水 征 子（南平小教諭）
中 村 美 子（日野三小教諭）	小井塚 洋 一（七生中教諭）
橋 本 美千代（日野三小教諭）	加 藤 常 光（日野三小教諭）
古 谷 二三子（日野四小教諭）	小 川 陽 子（二 幼 教 諭）
古 川 明 子（日野五小教諭）	石 井 菊 代（二 幼 教 諭）
野 村 菜穂子（日野五小教諭）	古 谷 みち子（三 幼 教 諭）
川原田 和 子（潤徳小教諭）	石 川 和 子（三 幼 教 諭）
高 橋 史 郎（平山小教諭）	斉 藤 美津子（五 幼 教 諭）

担当指導主事 蓮 池 守 一

顧問 佐 藤 正 （東京学芸大学教授）
石 島 徳太郎 （東京都八王子福祉園次長）

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（８月を除く）の２回、教育相談員が２名１組となって相談に応じている。（午後１時３０分より４時まで）申込みは無料で受付けている。

○ 場 所 A 教育委員会内教育相談室（遊戯室あり）

 B 中央公民館内小会議室

 C 日野市立第三幼稚園

○ 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室

 （ TEL 81－3511 内線331 ）

 教育相談事務担当 岩 波 淑 子 （月～土）

 小柳津 芳 子 （火・木・金）

○ 教育相談概況 （昭49.4.1～50.3.31）

		対 象				
		主訴別	幼 児	児 童	生 徒	計
申込み件数	102	登 園 ・ 登 校 拒 否	1	2	6	9
面接延回数	592	集 団 に 入 れ な い	2	2	1	5
		落 ち つ き が な い	2	5	0	7
		いたずら・らんぼう	0	5	0	5
		ぬ す み ・ う そ	0	2	0	2
		左 き き	0	2	0	2
		神 経 症	1	2	2	5
		言 語 障 害	2	0	0	2
		情 緒 障 害	0	2	0	2
		就 学 児 精 密 検 査	0	3	0	3
		心 障 学 級 入 級 等	0	5	0	5
		就 学 ・ 進 学	4	5	3	12
		学業不振・知恵おくれ	1	3	0	4
		家 庭 ・ 環 境 問 題	0	9	0	9
		計	13	77	12	102

☆ 教育相談員の研修

教員相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に研修会、事例研究会を交互に、第三土曜に事例協議会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

☆ 心障学級との関係

日野第三小学校、平山小学校、日野第一中学校、日野第一小学校、七生中学校、日野第五小学校、に併設されている心障学級へ、児童・生徒の入級希望があった場合、教育相談室においては、入級判別のための知能テストを行なっている。面接及び検査の結果は入級判別の資料として日野市心障学級入級選考委員会において扱い、判別会議を行なった上で入級を決めている。

日野市小学校科学教育センター

1. 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し、昭和49年度は、北部センターを日野第五小学校に、南部センターを高幡台小学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実・向上のための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3. センター長・センター次長・指導員

	北部センター（五小）	南部センター（高幡台小）
センター長	三井和夫（五小）	手代木和夫（高幡台小）
センター次長	深沢真人（"）	渋谷義一（"）
指導員 1	片野茂夫（一小）	森清晃（潤徳小）
" 2	佐藤民男（三小）	吉川郁子（平山小）
" 3	福地保（五小）	永井一郎（百草台小）
" 4	中村大（"）	干台健治（"）
" 5	藤森三治（"）	江口耕一（高幡台小）
" 6	林克己（六小）	佐久間久美子（"）
" 7	成井朝雄（七小）	川上卓一（"）
" 8	西田悦子（"）	当間糸子（南平小）
" 9	上田憲二（"）	池田康雄（八小）
" 10	村越正（滝台小）	志賀定一（四小）

4. センター員

校名	北部センター								南部センター								合計
	一小	二小	三小	滝台小	五小	六小	七小	小計	潤徳小	平山小	四小	八小	百草台	高幡台	南平小	小計	
男	5	2	2	3	7	4	1	24	7	2	6	5	3	5	2	30	54
女	0	1	4	0	5	3	0	13	2	2	0	0	0	0	1	5	18
計	5	3	6	3	12	7	1	37	9	4	6	5	3	5	3	35	72

5. 年間指導日程

回数	月 日	北 部 セ ン タ ー		南 部 セ ン タ ー	
		指 導 内 容	指 導 者	指 導 内 容	指 導 者
1	5. 24 31	開講式・打合せ	全 員	開講式・打合せ	全 員
2 3	6. 7 14	測 定 す る	片野・白石	細 か く 見 る	永井・当間 (江口)
4 5	6. 21 28	細 か く 見 る	林・藤森	分 類 す る	千台・川上 (江口・佐久間)
6 7	7. 12 9. 6	自 由 研 究	片野・白石 林・藤森	自 由 研 究	永井・当間・千台 川上・江口・佐久間
8 9	9. 13 20	分 類 す る	成井・西田	測 定 す る	佐久間・永井 (川上・江口)
10 11	10. 11 18	標 本 を 作 る	福地・中村	推 論 す る	森・吉川 (川上・江口)
12 13	10. 25 11. 1	条件を統一する	村越・福地	条件を統一する	森・江口 (佐久間・川上)
14 15	11. 8 15	推 論 す る	佐藤・岡田	標 本 を 作 る	池田・志賀 (佐久間・川上)
16 17	11. 22 29	自 由 研 究	成井・西田・福地 村越・佐藤・岡田	自 由 研 究	佐久間・永井・川上 江口・当間・池田 志賀・森・吉川
18	12. 18	原稿修正 提出	全 員	原稿修正 提出	全 員
19	2. 7 14	閉 講 式 ・ 発 表	全 員	閉 講 式 ・ 発 表	全 員

6. 連絡協議会

委員長	南部センター長	手代木 和 夫	日野市立高幡台小学校長	TEL 91-7011
	“ 次 長	渋谷 義 一	“ 教 頭	
	“ 主 任	森 清 晃	日野市立潤徳小学校教諭	TEL 91-0409
	北部センター長	三 井 知 夫	日野市立日野第五小学校長	TEL 81-4686
	“ 次 長	小野寺 東 雄	“ 教 頭	
	“ 主 任	松日楽 敬 治	日野市立日野第三小学校教諭	TEL 81-0101
顧 問	日野市教育委員会学校教育課長	長 沢 三 郎		
	指導主事	前 田 徹		

使 用 教 科 書

1. 小 学 校

国 語 科	「小学校国語」 （学校図書） 「小学校書きかた」 （学校図書）
社 会 科	「新訂 新しい社会」 （東京書籍） 「小学校社会科地図帳」 （帝国書院）
算 数 科	「改訂 標準算数」 （教育出版）
理 科	「改訂 新しい理科」 （東京書籍）
音 楽 科	「改訂 新版 小学校の音楽」 （音楽の友社）
図画工作課	「図画工作」 （開隆堂）
家 庭 科	「小学校家庭科」 （開隆堂）

2. 中 学 校

国 語 科	「中学校現代の国語」 （三省堂） 「中学習字」 （教育出版）
社 会 科	「中学生の社会科 地理的分野」 （中教出版） 「中学社会 日本の歴史と世界」 （日本書籍） 「新しい社会 公民的分野」 （東京書籍） 「社会科中学生の地図」 （日本書院）
数 学 科	「中学校数学」 （学校図書）
理 科	「改訂理科」 （啓林館）
音 楽 科	「中学生の音楽」 （教育芸術） 「新版標準中学生の器楽」 （教育出版）
美 術 科	「美術」 （日文）
保健体育科	「中学校保健体育」 （学研）
技術家庭科	「技術・家庭 男子用」 （実教） 「技術・家庭 女子用」 （実教）
外 国 語 科	「Everyday English」 （中教）

日野市教育委員会事務局組織

教育委員会		
委員長	森久保 敏 治	
職務代理	池 尾 テル子	
委員	高 木	昂
委員	山 下	羊 平
委員	倉 又	秀 作

教育長
倉 又 秀 作

庶務課長
落 合 豊

学校教育課長
長 沢 三 郎

社会教育課長
坂 本 金 雄

体育課長
長谷川 暢 男

市立図書館長
砂 川 雄 一

庶務係長
神 尾 傑

施設係長
吉 川 重 徳

学務係長
谷 正 幸

教職員係長
加 藤 侃一郎

指導係長
谷 正 幸

社会教育係長
中 里 正 市

家庭教育係長(兼)
中 里 正 市

保健給食係長
土 方 留 春

体育係長
比留間 義 武

(兼) 奉 仕 係 長
業 務 係 長
庶 務 整 理 係 長

1. 教育委員会に関すること。
2. 公印、職員の管守に関すること。
3. 条例、規則等の制定、改廃に関すること。
4. 訴願、訴訟、和解、異議の申立及び請願に関すること。
5. 表彰及び儀式に関すること。
6. 関係機関との連絡調整に関すること。
7. 教育委員会所管職員の任免その他人事に関すること。
8. 教育委員会所管職員の給与に関すること。
9. 教育委員会所管職員の研修、服務、福利、厚生に関すること。
10. 文書の受発、保管に関すること。
11. 公文書の浄書、校合に関すること。
12. 公告、示達に関すること。
13. 歳入、歳出、予算及び経理に関すること。
14. 広報に関すること。
15. 備品、消耗品の調達に関すること。
16. 事務局内取締りに関すること。
17. 奨学資金に関すること。
18. 他課、係に属さないこと。

1. 教育施設の営繕、保全の計画及びその実施に関すること。
2. 教育財産（施設を含むもの）の管理に関すること。
3. 教育施設の目的外使用に関すること。
4. 教育施設に関する研究調査及び統計に関すること。
5. 教育関係起債補助の計画及び申請に関すること。

1. 学校の設置、廃止及び管理運営に関すること。
2. 学級の編成、割当に関すること。
3. 小中学校の通学区域の設定、廃止に関すること。
4. 園児の入園、転園及び退園に関すること。
5. 児童・生徒の就学、転学及び退学に関すること。
6. 幼児・児童・生徒の安全に関すること。
7. 移動教室等に関すること。
8. 育英会その他就学奨励に関すること。
9. 教材教具の整備に関すること。
10. 学校教育関係補助金に関すること。
11. 学令簿の調整、整理、保管に関すること。
12. 学校教育係の調査統計に関すること。
13. その他、他の係に属さないこと。

1. 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限、昇給、昇格等の内申事務人事調査、その他人事に関すること。
2. 学校教職員の給与、恩給、退職手当、公務災害補償に関すること。
3. 学校教職員の職員団体に関すること。
4. 学校教職員の福利、厚生に関すること。
5. 執行委任による都費の経理に関すること。
6. 学校教職員の共済事業に関すること。

1. 教育課程の整備、改善の指導に関すること。
2. 学習指導、生活指導に関すること。
3. 教科用図書の採択、教材の取扱いに関すること。
4. 校長、教員の研修に関すること。
5. 学校教育に関する専門的事項の指導の指導相談に関すること。
6. 教育相談に関すること。

1. 社会教育の総合計画に関すること。
2. 社会教育委員、青少年委員、文化財専門委員、青少年問題協議会に関すること。
3. 芸術、文化、芸能に関すること。
4. 各種学級、講座の開設、運営に関すること。
5. 文化財（古文書を除く）の調査及び保護に関すること。
6. 文化団体の助成に関すること。
7. 課内の庶務に関すること。

1. 家庭教育の総合企画及び立案に関すること。
2. 家庭教育学級、講座、通信、相談に関すること。
3. 社会教育指導者の養成、充実に関すること。
4. P T A に関すること。
5. その他家庭教育に関すること。

1. 学校教職員、児童、生徒及び園児の保健管理に関すること。
2. 学校の環境衛生に関すること。
3. 学校安全会に関すること。
4. 学校給食に関すること。
5. 課内の庶務に関すること。

1. 体育施設の計画、調査に関すること。
2. 体育（スポーツを含む）及びレクリエーションの計画実施、奨励、助成に関すること。
3. 体育指導委員に関すること。
4. 学校開放（体育施設に限る）に関すること。
5. 体育及びレクリエーション団体の助成に関すること。
6. 体育及びレクリエーション指導者の養成に関すること。
7. 市民総合グラウンド及び市民プールの管理運営に関すること。

斎 藤 隆 夫

田 中 一 男

（指導主事の事務分担は本文中に示す）

日野市立小・中学校主任（代表）一覧表

50年4月

担 当	第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	第六小	潤徳小	平山小	第七小	第八小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	第一中	第二中	七生中	第三中	第四中
教 務	上山洋一郎	松井 慶吾	井上 保	高倉 教行	中川 金作	曾我 哲夫	小竹 章	和田 文雄	小坂橋五佐男	飯田 幸次	村松 徹二	伊藤 恵造	末継 逸夫	進 真郎	長谷川忠男	森川 亮	明石 敏春	遠藤 仁	高木 宏文
生 活 指 導	辻田 静江	峰岸 さよ	戸塚 春男	上野 森良	中村 大	西條 淑子	齊藤 己吉	関 恒夫	岩崎 正	佐藤 章吾	大羽かおる	岩尾 照夫	江口 耕一	藤田 孝彦	立川 泰司	稲川 正義	山辺 文男	北原 景昭	西川 利行
研究・研修	古屋 光男	赤石 享	森 甫		内藤まつ代	山添 邦男	古谷 孝太	岩井 豊子	小坂橋五佐男		三浦 勝也		末継 逸夫	清水 七郎	山賀 典雄	橋本 紘一	釣 晃敏	大塚 長栄	富士 堯
国 語	畠中 巽	赤石 享	三村 礼子	窪田 正子	大竹 三郎	秋永 悦郎	三浦みのり	溝江恵美子	田森 偉詮	伊藤フサ子	岩月美登里	川上美穂子	村越 裕子	清水 七郎	宇津木十四雄	由佐 豊子	戸川二美子	五十嵐公恵	田中 栄一
社 会	斉木 昭朗	亀山恵之助	蔵元 幸二	色川 和代	前川 せつ	長田 正夫	松田 英明	安達 美武	小室 恒	安斎満里子	肥高 重男	山口 武彦	岡 善実	坂井 和子	設楽 益徳	森 紀子	釣 晃敏	志茂 知之	国信 武司
算 数・数 学	野口すみ子	高島 和子	川原田和子	仲二見洋子	藤崎 健児	川田 浩子	渡辺 孝雄	会田 尚子	加藤美知子	飯田 幸次	田中 鈴子	岩尾 照夫	佐藤 慎一	河村 令子	市塚 正史	森川 亮	大藪 和子	高見沢文男	丸山 尚夫
理 科	古屋 光男	倉石 桂	佐藤 民男	志賀 定一	岡田 充生	鹿島田恭江	森 清晃	古川 郁子	上田 憲二	池田 康雄	千台 健治	村越 正	江口 耕一	清水 征子	萩原 晃	福地 和子	石井 幸男	細谷 洋三	工藤 満春
音 楽	宮岡 和恵	大場 とみ	森 甫	村田那智子	浜野 優子	曲田 春子	内山美知子	立花せつ子	池田 宏子	北原 恒雄	飯島 睦子	岡田あつ子	河原田桂子	村上 悦子	阿部 敬	村上 敏雄	大串美根子	安治 道夫	西村美紗子
図工・美術	酒井 栄一	鶴田久美子	戸塚 春男	渡辺 芳郎	本荘 正雄	長沢 和子	小口 清一	藤田富治郎	岩崎 正	小島 シヅ	佐藤カズ子	鳥飼 政喜	辻田 六郎	加納 博之	逸見 敏	北野 義昭	阿部 晃一	佐藤 恒	小畑 亮
体 育・保 体	増田 実	河島 務	藤本 憲康	杉本 瑛二	藤森 三治	草刈 喜一	大石 早志	和田 文雄	嶋貫 博	間瀬 静夫	佐藤 昭彦	川井 龍介	山口 重雄	逸見 政一	阿藤 貞夫	和田 啄子	加藤 邦子	桜井 絢子	鈴木 健一
技術・家庭(男)															山賀 典雄	永谷 豊	三浦 義次	菊地 貞光	鈴木 良身
家庭・技家(女)	奈良 悦子	島田美代子	天野 正枝	古谷二三子	林 茂子	斉藤八重子	石川 成子	加藤千恵子	栄 久子	長浜 和子	幸野 嘉子	萩原 章子	中村 笙子	塚本 純子	筒井 ハル	筆吉 則子	松本 節子	佐藤 寿枝	萩原 典子
外 国 語 英															大山 正昭	石田 洋子	内藤由紀子	鍛冶 真理	木村 守
道 徳	上山洋一郎	石原八重子	本保 陽子	杉本 瑛二	内藤まつ代	清水しずか	古谷 孝太	川上 昇一	小坂橋五佐男	平山 毅	藤井 泰蔵	清水 輝夫	渋谷 範子	佐々木守夫	山浦 宏	井田 武	阿部 晃一	鈴木 幸子	門脇 年子
特 別 活 動	畠中 巽	紺屋 富夫	山田 一夫	板谷 敏	赤池 正人	西條 淑子	小竹 章	溝江恵美子	栄 久子	間瀬 静夫	中川 和代			清水 七郎	黒木 利武	橋本 紘一	鈴木 剛紀	長島 寿平	門脇 年子
学 校 行 事	上山洋一郎	松井 慶吾	川原田和子	板谷 敏	生田 彰	秋永 悦郎	森 清晃	和田 文雄	小坂橋五佐男	近藤 正晴	飯島 睦子	伊藤 恵造	青柳 佳子	清水 七郎	長谷川忠男	森川 亮	明石 敏春	長島 寿平	高木 宏文
学校 教育相談	落合 茂子	石原八重子	中村 美子	越村あや子	前川 せつ	広沢フサ子	齊藤 己吉	中沢美美子	加藤美知子	中川 元美	肥高 重男	野村るり子	安西 利江	清水 征子	立川 泰司	原島 弘	山辺 文男	塩野 邦夫	木村 守
進 路 指 導															岩村 武	武藤 光哉	赤木 清福	長島 寿平	高木 宏文
視聴覚教育機器	片野 茂夫	島田美代子	浜野 美広	色川 和子	田中 博	清水しずか	川井 矩子	高橋 史郎	小室 恒	長田 裕子	千台 健治	橋本 清	川上 卓一	和田いさを	大山 正昭	上田 嘉令	田中 憲助	持田 友広	工藤 満春
学 校 図 書 館	守屋 ふみ	高島 和子	吉川 都子	古谷二三子	針田 和子	福田いづみ	佐藤 ユウ	月成カズ子	田森 偉詮	橋本 允子	信夫 頼子	西田 敦子	村越 裕子	当間 糸子	大貫 米子	高崎 雅子	阿部 晃一	東郷 隆盛	田中 栄一
給 食	奈良 悦子	塚本喜美子	蔵元 幸二	日下部芳子	関根 敦子	草刈 喜一	伊藤 清子	赤松 紀子	齊藤 イク	中島 寿子	荻沢モト子	石井 和子	本間 幸子	高橋 昭子	内堀 典子	秦 好一	鈴木 歌子	長島 寿平	久保田俊司
安 全 教 育	三平 恵子	田村 利樹	高野 浩	上野 森良	中村 大	清水しずか	河野 千秋	大上 琢磨	岩崎 正	平山 毅	荻沢モト子	岩尾 照夫	安西 利江	藤田 孝彦	逸見 敏	石田 洋子	山辺 文男	北原 景昭	伊藤 誠
保 健	清雲よ志子	石原八重子	関口 真理	能登 久子	小俣 政治	斉藤八重子	三浦みのり	信夫 清彦	舞田 章子	石川 耀子	佐々木加津子	田島 佳子	辻田 六郎	佐々木守夫	羽生 幸一	柳井佐和子	大塚 和子	伊佐 節子	長峯 幸子
養 護	小松 妙子	倉林 紀子	関口 真理	能登 久子	小島 典子	上山美智子	松井 玉江	小林ふと子	佐藤磨佐子	佐藤ヒサ子	佐々木加津子	田島 佳子	細井 聖子	土屋 良子	小谷 澄江	須藤 節子	大塚 和子	伊佐 節子	長峯 幸子
管 材	石井 三士	近内 信輝	佐藤 民男	渡辺 芳郎	川崎 浩	伊東 淳司	小口 清一	田中 義之	成井 朝雄	郷原 敦	浜田 洋一	藤井 悦子	坂口田鶴子	逸見 政一	古塚 淳夫	佐藤 博助	飯 キミ		大野 馨
事 務	上田 博文	伊藤 功	石川 聖子	大淵 隆夫	川崎 浩	伊東 淳司	橘口 晟	田中 義之	吉村 達也	郷原 敦	浜田 洋一	藤井 悦子	石田 義一	田辺 正志	古塚 淳夫	佐藤 博助	飯 キミ	阿比留義朗	大野 馨



園 名 日 野 市 立 第 一 幼 稚 園

所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4-3

電 話 0425-81-4124

順 路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置さる。学級7, 定員280名
職員教諭8名, 用務員1名。
園敷地2,700㎡, 園舎777㎡
プレハブ1棟。
- 昭40. 4.10 開園 園児280名
5.25 創立記念日とす
5.30 園章制定
- 昭41. 3.19 第一回修了児 119名
- 昭42.12.20 鳥小屋完成
- 昭43. 9. 6 プール第一次計画完成
(中庭)
- 昭43.12.20 ホール増築完成
- 昭44. 2.10 プール第二次計画完成
(プールサイド, シャワー)
- 昭45. 6. 1 プレハブ園舎, ベランダ増設
工事完成
- 昭45. 7.15 運動場拡張完成
- 昭45. 7.15 園塀ブロック金網塀に改装完
成
- 昭48. 2. 5 本館下水工事完成
- 昭48. 3.14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第一年次)
- 昭48.10.23 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3.10 10周年記念研究発表会開催
園歌制定

2. 歴代園長

氏 名 年 月 ~ 年 月
江 角 正 子 昭40.4.1~現在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地および周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり, 比較的閑静な環境にあったが, 甲州街道と平行してそのバイパス的役割をなす道路に面しているため近年は交通量も多くなり危険になってきた。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気にがんばることも。
- (2) よく見, よく聞き, よく考えることも。
- (3) やさしい心をもつことも。

5. 本年度指導の重点

幼児の実態を把握し適切な目標をたてた指導を行なう。

- (1) 正しい生活習慣と努力する態度の育成。
- (2) 注意力と創意工夫する態度の育成。
- (3) 健全な心と暖かい態度の育成。

6. 幼 児 数

	4 才	5 才	計
学 級 数	1	6	7
男	16	108	124
女	26	109	135
計	42	217	259

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教材	そ の 他
1	江 角 正 子	55	園 長	昭40. 4. 1	経 営	
2	田 中 澄 子	49	主 任	昭47. 4. 1	社 会	教務, 庶務, 会計
3	平 向 邦 江	32	二年年少	昭40. 4. 1	健 康	教材, 資料
4	市 川 やす子	27	二年年長	昭46. 9. 1	言 語	教育相談
5	田 中 洋 子	26	一年保育	昭47. 4. 1	音 楽	施設, 備品
6	湯 浦 悦 子	24	一年保育	昭49. 4. 1	自 然	"
7	倉 林 利 衣	24	一年保育	昭49. 4. 1	絵画製作	"
8	村 木 順 子	23	二年年長	昭48. 4. 1	言 語	図書
9	会 田 美津子	23	一年保育	昭48. 4. 1	絵画製作	保健

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	図書コーナーの利用(1)
昭和42年度	図書コーナーを利用して(2)
昭和43年度	丈夫なからだ(体力づくり)
昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和47年度	母と子のための交通安全教育 ～教育機器を活用して～
昭和48年度	母と子のための交通安全教育 ～指導計画の作成～
昭和49年度	幼児と地域の実態を生かした教育課程の編成

9. 本校の特色

心身ともに健康な幼児の育成と幼児の幸せを願い、教師、父母が協力して内容の充実深化に力を入れ努力している。

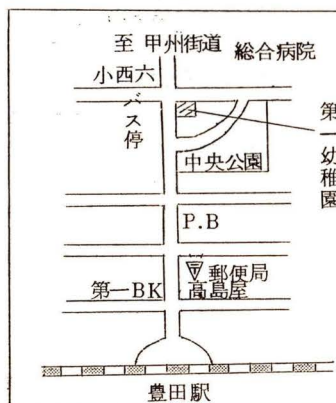
11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
1. 会 社 員	191	74
2. 公 務 員	22	8
3. 公 団 職 員	10	4
4. 銀 行 員	4	2
5. 自 営 業	17	7
6. そ の 他	15	5

10. 都教育研究員、研究生出身歴

昭和49年度	研究員 平 向 邦 江
--------	-------------

11. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第二幼稚園

所 在 地 日野市平山4-8-4

電 話 0425-91-4125

順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分

園長氏名 小 野 晁

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

- 昭40.4.1 日野市立第二幼稚園として
平山小学校内に設置。
園児 131名
- 昭40.5.10 開校記念日と定める。
- 昭40.5.30 園章制定
- 昭41.2.23 放送施設完成
- 昭46.3.10 日野市研究協力園として研
究発表を行なう。
- 昭46.3.10 第二幼稚園の歌制定
- 昭47.3.15 雨天時の泥粘土コーナー完
成
- 昭47.6.15 園舎園塀完成
- 昭48.2.21 東京都交通安全教育推進学
校研究発表会(第一年次)
- 昭49.10.22 東京都交通安全教育推進学
校研究発表会本発表

2. 歴代園長氏名

- 氏 名 年 月 ～ 年 月
- 後 藤 正 太 昭40.4 ～ 昭42.3
- 安 積 利 治 昭42.4 ～ 昭47.3
- 小 野 晁 昭47.4 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がづらなり、自然に恵まれ景観のよい環境である。
近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、都内に勤務する人の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) 明るく ゆたかな心の子ども
- (2) つよいからだて 元気な子ども

- (3) なかよくみんなで遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり
情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をとおり、特に一年保育児の遊
びの発展経過を観察記録し、正しい集団生
活に必要な自主性、協調性を養う。
- (3) 交通安全教育と対策
父母の協力のもと活発に行ない、地域の
交通安全の向上につとめたい。

6. 幼 児 数

学 年	5 才 児
学 級 数	3
男 児	60 名
女 児	60 名
計	120 名

7. 教 職 員

番 号	氏 名	年 令	担 任	本 校 就 任 年月日	研 究 任 教 科
1	小野 晁	57	園 長	47.4.1	経 営
2	樋山 欣子	52	主 任	47.4.1	社 会
3	上野美津枝	36	たんぽぽ	48.4.1	言 語
4	小川 陽子	26	つ く し	48.4.1	健 康
5	石井 菊代	24	す み れ	50.4.1	音 楽 リズム

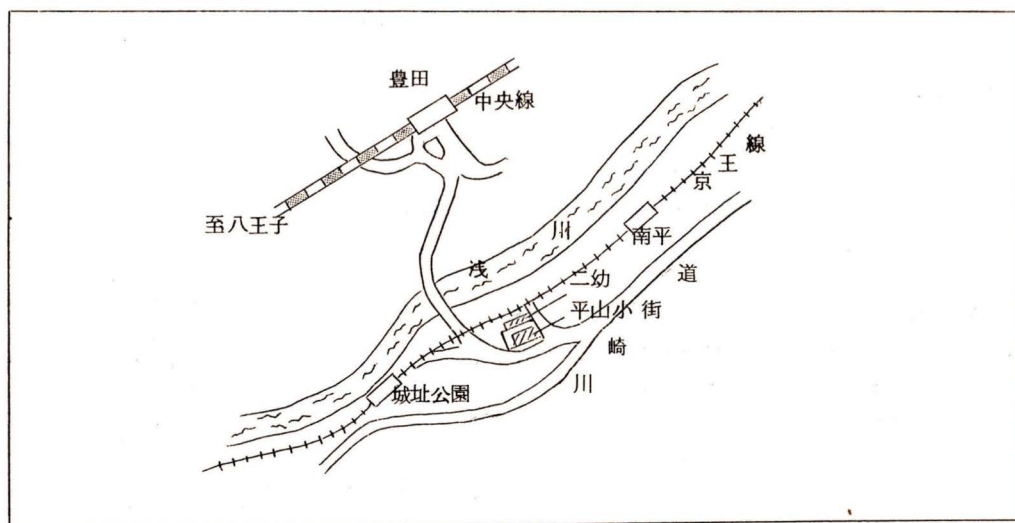
8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび どん粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導（考える目を養う）
昭和48年度	地域の実態に即した交通安全教育，安全対策の推進 —正しい踏切の渡り方
昭和49年度	地域の実態に即した交通安全教育，安全対策の推進 —踏切の正しい渡り方

9. 保護者職業一覧

○会社員	77
○公務員	36
○農業	0
○自営業	4
○その他	3

10. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野 2800
電 話 0425-81-7127
順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分
バス 日野市役所前

園長氏名 下 田 忍

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

昭41. 2.28 園舎完成
昭41. 4. 1 設置認可
昭41. 4.11 開 園
(4学級, 園児数143名)
昭42. 2 園舎東側ブロック塀工事
昭42. 5 裏門両袖ブロック塀工事完了
昭42.10 花壇完成
昭42.11 コークス小屋完成
昭42.11 観察池完成
昭44. 9 砂場用足洗(手洗場)場
昭46 市研究協力園
昭47. 3 屋外小鳥飼育舎新設
昭49. 7 区画整理のため正門東側に移動

2. 歴代園長

氏 名	年月	～	年月
吉 田 辰 次	41.6	～	41.5
永 野 林 弘	41.6	～	42.3
吉 田 辰 次	42.3	～	44.3
下 田 忍	44.3	～	50.3
溝呂木 桂 次	50.4	～	現 在

3. 地域の環境

- ・田畑(果樹園), 丘, 林, 川など自然環境に恵まれ, 公園, 神社, 広場などもあり, こども達のお遊び場所となっている。
- ・通園区域が広くバス通園児もある。
- ・小学校が隣接し, 広い校庭が使用できる。
- ・甲州街道(国道20号線), 高幡街道が近いので交通事情も急激に変化してきている。

4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子
ア, じょうぶで元気な子
イ, 自分を表現できる子
ウ, いろいろなことに興味や関心を持つ子
- (2) 友だちと遊べる子
- (3) 情操豊かな子

5. 本年度指導の重点

- (1) 教育課程の編成と改善についての重点
ア, ひとりひとりの子を生かす指導を考える。
イ, 子どもの要求にあった, そして子どもを伸ばすことのできる活動を選択する。
- (2) 環境構成
ア, 職員全員が全園児をひとりひとり共通理解するようにし, 望ましい人的環境となるよう心掛ける。
イ, 図書コーナー及び遊具, 砂場用具が使いやすいようにし, 後片付けのし易いように工夫する。
- (3) 家庭との連絡
ア, 家庭連絡の通知文の内容を検討して, 幼稚園への関心を高めるようにする。
イ, 子どもの園生活のようすを父母に知らせる。
- (4) その他
ア, 心障児を受け入れるに当り, 特に職員間での共通理解を深め, 研修の場を持つ。
イ, 通園路について調査し安全を考える。

6. 幼 児 数

	二年保育年長 (5才)	一 年 保 育 (5才)	二年保育年少 (4才)	計
学 級 数	1	2	1	4
男	17	25	18	60
女	12	30	18	60
計	29	55	36	120

7. 教 職 員

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	55	園 長	昭50.4.1	経 営	
2	鷺 見 照 子	49	主 任	昭41.4.1	自 然	教務・庶務・会計
3	石 川 和 子	30	5才児	昭47.4.1	社 会 心 障 児	教育相談
4	斉 藤 伊津子	28	5才児	昭50.4.1	音 楽 リ ズ ム	
5	古 谷 みち子	24	4才児	昭47.5.1	言 語	
6	永 瀬 町 子	21	5才児	昭50.4.1	健 康	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	自然の領域における教材の選択
昭和42年度	幼,小の関連について
昭和43年度	幼,小の関連
昭和44年度	幼,小の関連 「自然の領域についての実践的研究」
昭和45年度	自然の領域における評価の観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつちかう指導法
昭和47年度	野外の自然環境

9. 本校の特色

園外保育を行なって、川や野山などで遊んだり、土を運んで花壇を作ったりして、園児が自然の環境に親しむ機会を多くしている。

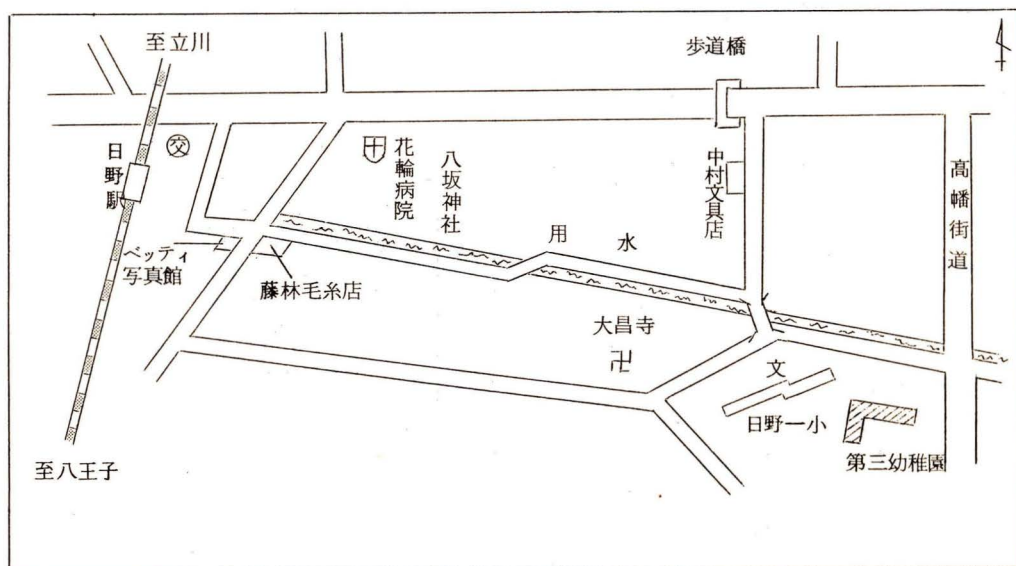
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科，領域	研究員，研究生別
昭和43年度	鷺 見 照 子	社 会	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
1. 会 社 員	83	69	4. 公 社 員	2	2
2. 公 務 員	12	10	5. 団 体 職 員	2	2
3. 自 営 業	6	5	6. そ の 他	15	12

12. 学校に至るまでの地図





園 名 日 野 市 立 第 四 幼 稚 園
所 在 地 日 野 市 石 田 431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立 川 ↔ 高 幡 不 動 京 王 バス
日 野 四 小 前 下 車 徒 歩 5 分

園 長 氏 名 内 藤 達 夫

主任氏名 高 橋 千 鶴 子

1. 沿革の概要

昭47. 8.11 園舎新築工事起工
昭48. 1.31 園舎完成
昭48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学 級 数 3 学 級
園 児 数 74 名
教 諭 4 名
用 務 員 1 名
平屋園舎 495 m²
園 敷 地 2008 m²
昭48. 4.10 入園式挙行
昭48.10.29 落成式挙行
昭48.11. 1 開園記念日と定める。
昭48.11. 7 園庭の植樹完了
昭48.12. 1 鉄骨製藤棚工事完了
昭49. 3.20 第1回修了証書授与式挙行
修了者46名
昭50. 1.13 うさぎ小屋（鉄骨製）工事完了

2. 歴代園長

初代 内 藤 達 夫 48.4.1～現 在

3. 地域の環境

本園は、日野橋から東へ通1km、多摩川の土手近くにあり、小学校に隣接している。農業中心のこの地域は、近年急激に宅地化が進み、園舎前には、中央高速道路が東西に走り、西側の都道も交通がひんぱんである。桑園や梨畑が続く小道には、緑が豊富にあり、四季を通じて野外活動の場になっている。園児たちの過半数は四小学区から通学しているが、その他は、バス又は自転車（親が付添って）

で通園している。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども。
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 指導の重点

- (1) 園児の健康管理に留意し、基本的な生活習慣を身につけて楽しく安全に園生活がおくれるようにする。
- (2) どんな場面でも積極的に活動し、進んできまりを守り、みんなと仲良く集団生活ができるようにする。
- (3) 友だちを思いやるやさしい心を育てるようにする。

6. 幼 児 数

	4才児	5才児	計
学 級 数	1	2	3
男	16	27	43
女	24	18	42
計	40	45	85

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	内藤達夫	55	兼園長	昭48.4.1	経営	
2	高橋千鶴子	43	主任	昭48.4.1	社会	教務・庶務
3	沖山英代	37	ばら組	昭48.4.1	言語	
4	黒山彰子	25	もも組	昭48.4.1	自然	
5	松本真弓	22	ゆり組	昭49.4.1	健康	

8. 研究主題の推移

昭和48年度	野外活動の指導をどのように行なったらよいか ～自然環境を利用して～
昭和49年度	上記と同じ
昭和50年度	上記と同じ

9. 本園の特色

川原遊び、草摘み、梨もぎなど四季折々の自然に親しむ経験や活動を多くして、幼児の体力づくりや協調性の芽えが大切に育つよう指導している。

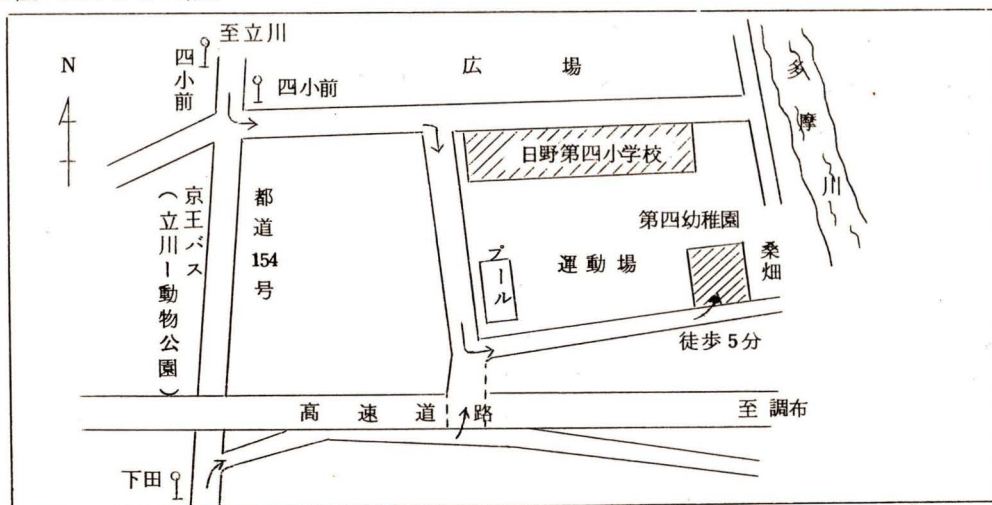
10. 都教育研究員・研究生

年 度	昭和49年度
氏 名	高橋千鶴子
教科・領域	社会
研究員 研究生別	研究員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	58	67
公 務 員	6	7
自 営 業	15	19
そ の 他	6	7

11. 園に至るまでの略図





園 名 日野市立日野第五幼稚園

所 在 地 日野市三沢175番地

電 話 0425-92-0432

順 路 京王線 高幡不動駅より東へ約13分

園長氏名 岡本省吾

主任氏名 坂口嘉津子

1. 沿革の概要

昭49.4.1 日野市立第五幼稚園として
設置さる。

学級数 2, 定員 80名
教諭 3名, 用務員 1名

園敷地面積 2,444 m^2

園舎面積 428.8 m^2

昭49.4.15 開園, 園児数62名

昭49.11.1 落成式

昭49.11.1 開園記念日とする

昭50.1.20 園庭拡張される。

2. 歴代園長

氏 名 年月～年月

岡本省吾 昭49.4.1～現在

3. 地域の環境

○京王線高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の位置にあり, 周囲には田んぼ, 畑が多く自然に恵まれた環境である。

4. 教育目標

- 1) 元気に友だちと遊べる子。
- 2) 豊かな心を持ち, 自分を素直に表現できる子。
- 3) 望ましい生活習慣を身につけた子。

5. 本年度指導の重点

- 1) 豊かな自然環境の中で, 物事に興味や関心を示し, 意欲的に活動できるようにする。
- 2) 集団での遊びを通して, 豊かな人間関係が育つようにする。

6. 幼児数

	5才児	計
学級数	2	2
男	46	46
女	33	33
計	79	79

7. 教職員

番号	氏名	年齢	担任	本校就任年月日	研究教科	その他
1	岡本省吾	55	園長	昭49.4.1	経営	
2	坂口嘉津子	34	主任	昭50.4.1	言語	教務, 庶務
3	斉藤美津子	28	1年保育たんぽぽ組	昭50.4.1	自然	心障児教育
4	小林茂子	24	1年保育つくし組	昭49.4.1	絵画製作	教材, 図書

8. 研究主題

昭和50年度	創造性を高めるための環境設定をどうしたらよいか。
--------	--------------------------

9. 本園の特色

- 開園2年目で施設, 設備に不備な点が多くあるが, こどもの活動をよりよくするための環境づくりに重点をおいている。
- 恵まれた自然環境を利用し, 思う存分活動する中で動植物に対する思いやり, いたわりが育つよう指導している。

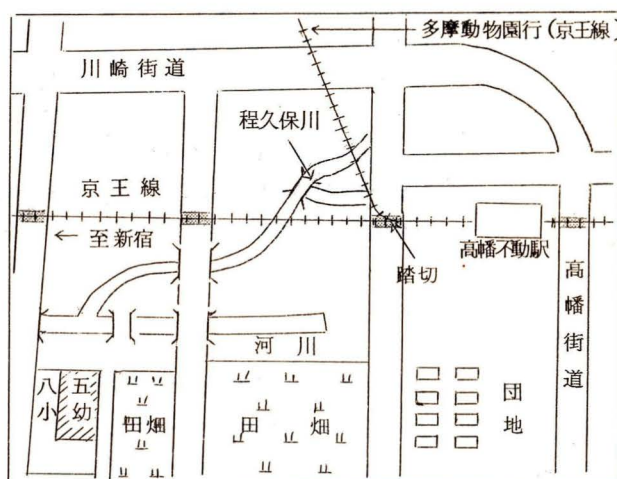
10. 都教育研究員, 研究生出身歴

昭和45年度	研究員	坂口嘉津子	教科領域	言語
--------	-----	-------	------	----

11. 保護者の職業一覧

職業	家庭実数	%
会社員	62	78.5
公務員	7	9.0
農業	1	1.2
自営	6	7.5
医師	0	
その他	3	3.8

12. 園に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 一 小 学 校
所 在 地 日 野 市 日 野 2800 番 地
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分

校 長 氏 名 下 田 忍 教 頭 氏 名 石 井 三 士

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5	士淵山普門寺の本堂をあて開校，第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。（現在の中央公民館のとなり 当時神奈川県）	として研究発足。 44年2月21日に研究発表。
明 45. 2.11	校歌，校章制定，校舎改増築，校地拡張（現中央公民館の所）	昭 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講堂として移管
昭 11. 4.29	校旗寄贈（古谷剛次郎氏）	昭 44. 2.21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
昭 15	日野 2800 番地（現在地）に土地 900 余坪，新校舎建築開始。（戦時中軍徴用）	昭 44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる
昭 23. 4.25	新校舎に移転完了	昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級（肢体不自由学級）設置，5 月 17 日開級。
昭 25. 4. 1	東京都指定実験学校となり，教育課程の研究発足 2 7 年 3 月 5 日発表	昭 47. 2 都市計画神明上区画整理事業開始，校庭南側一部縮少，遊具移動
昭 28. 8.22	80 周年記念プール竣工	昭 47. 5 ビデオ一式購入（ビデオコーダー，ビデオカメラ，ビデオモニター等）
昭 38.11. 3	日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更。	昭 48. 4 授業研究校
昭 40, 4	防音校舎三期をもって完成	昭 48.11 創立百周年記念祭
昭 43. 4. 1	日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題	昭 49. 4 授業研究校
		昭 50. 4 授業研究校

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
1. 日 野 義 順	明 6. 5 ～ 明 9. 7
2. 国府田 学	明 9. 7 ～ 明 11. 3
3. 小 川 則 要	明 11. 4 ～ 明 15. 3
4. 鈴 木 宗 也	明 15. 4 ～ 明 16. 8
5. 上 野 謙 松	明 16. 9 ～ 明 18. 3

- | | |
|-----------|--------------|
| 6. 二見友三郎 | 明18.4～明19.4 |
| 7. 八木岡寛制 | 明19.5～明21.10 |
| 8. 佐野鶴松 | 明21.11～大5.3 |
| 9. 古谷剛次郎 | 大5.4～大12.1 |
| 10. 河合平作 | 大12.2～大15.3 |
| 11. 古谷剛次郎 | 大15.4～昭11.1 |
| 12. 宮川海三 | 昭11.2～昭18.3 |
| 13. 貫井半蔵 | 昭18.4～昭23.8 |
| 14. 小池嘉一 | 昭23.9～昭34.3 |
| 15. 尾崎半次郎 | 昭34.4～昭37.3 |
| 16. 五十嵐光 | 昭37.4～昭38.3 |
| 17. 木村清 | 昭38.4～昭41.3 |
| 18. 吉田辰次 | 昭41.4～昭44.3 |
| 19. 下田忍 | 昭44.4～昭50.3 |
| 20. 溝呂木桂次 | 昭50.4～現在 |

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (1) 科学性を身につける子ども | (2) 豊かな心情をもつ子ども |
| (3) つよい意志をそだてる子ども | (4) じょうぶな体をつくる子ども |
- 年度の重点 「考える力をのばす」

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア、各教科 授業研究を通して深く考えながら学ぶ子どもを育成する。

イ、道徳 「考える子どもの育成」について、道徳の時間における指導法の研究をする。

ウ、特別活動 児童が主体的に受けとめ、よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

(2) 生活指導の重点

児童が主体的に受けとめ、よく考えて行動する子どもの育成につとめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級 訪問学級	計
学級数	5	4	3	3	4	3	1	23
男	96	79	59	67	75	78	(3年1)(2年2) (1年1)	458
女	90	61	54	57	63	53	(2年1)	379
計	186	140	113	124	138	131	5	837

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	55	校 長	50.4.1	理 科	経 営
2	石 井 三 士	44	教 頭	49.4.1	国 語	経 営
3	田 中 隆 夫	23	1 の 1	50.4.1	社 会	図書館
4	深 沢 美知子	25	1 の 2	〃	算 数	視聴覚
5	高 木 映 子	40	1 の 3	47.4.1	国 語	教 務
6	吉 成 千津子	25	1 の 4	49.4.16	理 科	給 食
7	辻 田 静 江	45	1 の 5	43.4.1	図 工	生活指導主任
8	斎 木 昭 朗	41	2 の 1	41.9.16	社 会	特 活
9	畠 中 異	63	2 の 2	37.4.1	国 語	特 活
10	久保田 由 子	32	2 の 3	50.4.1	国 語	教 務
11	落 合 茂 子	47	2 の 4	〃	社 会	教育相談
12	清 雲 よ志子	54	3 の 1	44.4.1	音 楽	保 健
13	森 秀 伸	25	3 の 2	50.4.1	体 育	生活指導
14	武 川 俊 子	25	3 の 3	48.4.1	国 語	特 活
15	伊 藤 千恵子	22	4 の 1	50.4.1	社 会	生活指導
16	野 口 すみ子	34	4 の 2	〃	算 数	図書館
17	片 野 茂 夫	31	4 の 3	46.4.1	理 科	視聴覚
18	上 山 洋一郎	45	5 の 1	42.4.1	道 徳	教務主任
19	岡 本 朋 子	22	5 の 2	50.4.1	算 数	特 活
20	三 平 恵 子	24	5 の 3	48.4.1	国 語	生活指導
21	守 屋 ふ み	52	5 の 4	46.4.1	家 庭	図書館
22	古 屋 光 男	45	6 の 1	49.4.1	理 科	教 務
23	松 沢 志津子	29	6 の 2	50.4.1	図 工	生活指導
24	酒 井 実	25	6 の 3	47.4.1	体 育	視聴覚
25	宮 岡 和 恵	27	音 楽	45.4.1	音 楽	教 務
26	酒 井 栄 一	62	図 工	42.4.1	図 工	生活指導, 視聴覚

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
27	奈 良 悦 子	43	家 庭	41.4.1	家 庭	給 食
28	増 田 実	26	体 育	48.4.1	体 育	保 健
29	高 瀬 三 郎	59	訪 問	46.4.1	算 数	教育相談
30	大 嶋 真理子	25	訪 問	49.4.1	体 育	教育相談
31	清 水 妙 子	33	養 護	49.4.1	体 育	保 健
32	上 田 博 文	39	事 務	47.4.1	事 務	事 務
33	蓮 池 守 一	42	指導主事	48.4.1	社 会	市教委勤務

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	不 詳
昭和41年度	教材の系統制について
昭和42年度	学校運営の能率化
昭和43年度	学校運営の能率化，教育環境の整備
昭和44年度	教育環境の整備と活用
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導
昭和46年度	考える子どもの育成（教科・道徳・特別活動を通して）
昭和47年度	考える子どもの育成（学年経営・学級経営・指導の重点・重点研究の3本柱）
昭和48年度	「考える力をのばす」
昭和49年度	「考える力をのばす」
昭和50年度	「考える力をのばす」

9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む。
- 教育環境の整備
学校花壇，教材園，自然園等の充実

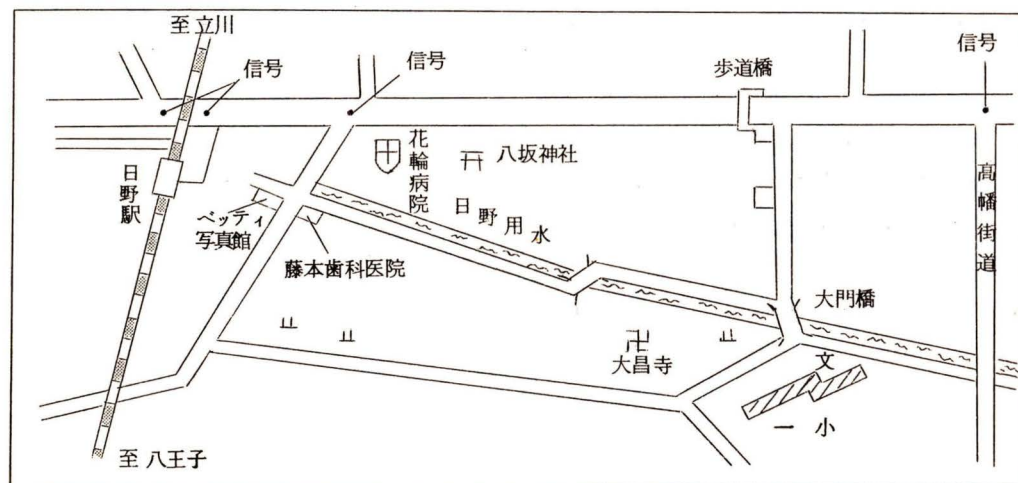
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別
昭和37年度	古屋 光男	理 科	研 究 員	昭和45年度	松井 玉江	養 護	研 究 員
昭和42年度	上山洋一郎	道 徳	"	昭和46年度	青柳 俊夫	体 育	"
"	村上 澄江	"	"	昭和47年度	安藤 和枝	給 食	"
昭和44年度	石井 三士	国 語	"	昭和48年度	越村 清治	社 会	"
"	奈良 悦子	家 庭 科	"	昭和50年度	高木 映子	教育方法	"

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	338	53.6	運 輸 通 信	31	4.9
公 務 員	81	12.9	農 業	12	1.9
自 宅 商	41	6.5	無 職	2	0.3
自 宅 工	23	3.7	自 営 業	59	9.4
サ ー ビ ス 業	28	4.4	そ の 他	7	1.1
自 由 業	8	1.3		630	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 小 学 校
所 在 地 日 野 市 東 豊 田 2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851
順 路 中央線 豊田駅下車 徒歩10分
京王線 南平駅下車 徒歩17分

校 長 氏 名 永 井 雅 夫

教 頭 氏 名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

明 7. 3 神奈川県 9 大区 4 区 豊田村 尋常小学校として創設，戸長山口平太夫氏長屋を仮校舎にする。

年月不詳 善生寺本堂を校舎とし，上下 2 等級に分け，下等小学校は満 6 才より 9 才，上等小学校は満 10 才より 13 才までとする。

明 12. 2 豊田 1320 番地善生寺の西隣に新校舎建築。

明 26. 4 東京府に編入される。

明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。

昭 17. 豊田 218 番地に新校舎建築。

昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立

昭 27.12 第一次増築 2 階建 8 教室 276 坪 拡張校地 366 坪

昭 30. 4 日野町日野第二小学校と校名変更

昭 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室 168 坪 拡張校地 366 坪

昭 38.11 日野市立日野第二小学校と校名変更

昭 43. 6 防音改築第 1 期工事完成

昭 44. 3 防音改築第 2 期工事完成

昭 45. 2 日野市指定研究「教材教具の整備と活用」研究発表をおこなう

昭 46. 2 体育館工事落成

昭 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置

昭 46. 5 全教室テレビ配置

昭 46.12 体育倉庫新設

昭 48. 3 安全のために西側に通用門設置

昭 49. 3 新校舎増築（8 教室）

昭 49.11 創立 100 周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	27.10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	47. 4 ～ 50. 3
永 井 雅 夫	50. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- (1) 豊田の里といわれた中央線と浅川に囲まれた静かな農村も，農家が 4 % と勤労者住宅地帯と豊田駅付近の小商店街とにかわった。
- (2) 学校前の都道をはじめ，学区内の道路はどこも交通事情激化の波におされ，通学路も危険にさらされ，児童の安全な遊び場がなくなってしまった。
- (3) PTA の会員の質も大きく変わり，先生まかせの学校のこともから，父母参観のあとなどと，相当つっこんだ質問もできるようになる。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

(ア) 指導内容を精選し、指導の効果をたかめる。

(イ) 授業研究を行い、指導法の研究を実践する。

イ、道徳

学校の教育目標と道徳との関連をはかり、効果的な指導を行なう。

ウ、特別活動

(ア) 集団生活をととして心身の調和的発達を図る。

(イ) 自発的、自治的な活動をととして豊かな自主性、社会性を育成し、個性の伸長を図る。

(ウ) 特に学級指導の時間を生かし、人間関係を深め、実践的態度を育てる指導を行う。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア、学校における基本的行動様式を身につけさせる。

イ、健康安全指導を計画的に行なう。

(3) その他の配慮事項

ア、計画を緻密にし、手だては簡明具体的にし、全職員がとりくみ易いように努力する。

イ、チームワークを主体とした指導を行ない、協力的な指導に努める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	3	3	4	3	21
男	69	75	68	62	61	67	402
女	68	72	53	56	75	66	390
計	137	147	126	118	136	133	792

7. 教職員氏名

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	永 井 雅 夫	54. 6	校 長	50.4.1	経 営	
2	近 内 信 輝	51. 3	教 頭	47.4.1	経 営	
3	倉 石 桂	65. 4	専 科	40.4.1	理 科	教 務
4	松 井 慶 吾	51.11	2 - 3	46.4.1	国 語	教務主任
5	赤 石 亨	51. 1	6 - 1	42.4.1	国 語	研究部主任
6	高 島 和 子	48. 1	2 - 1	45.4.1	国 語	図 書 館
7	石 岡 信 行	50. 1	4 - 1	45.4.1	算 数	指導部主任
8	石 原 八重子	45.11	5 - 4	47.4.1	道 徳	教育相談
9	峰 岸 サ ヨ	48. 9	5 - 1	42.4.1	国 語	生活指導主任
10	亀 山 恵之助	45. 6	3 - 1	47.4.1	社 会	教務副主任
11	川 崎 照 子	47. 1	4 - 3	47.4.1	算 数	給食主任

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
12	大 場 と み	43. 4	専 科	48.4.1	音 楽	教 科 書
13	田 村 利 樹	40. 7	3 - 3	44.4.1	国 語	備 品
14	河 島 努	40. 3	1 - 1	46.4.1	体 育	統 計
15	鶴 田 久美子	39. 5	専 科	45.4.1	図 工	生活指導
16	宮 坂 恵美子	32. 1	2 - 4	49.4.1	社 会	図 書 館
17	塚 本 喜美子	31.11	1 - 4	49.4.1	算 数	給 食
18	沢 本 年 人	31. 2	5 - 3	50.4.1	社 会	営 繕
19	紺 屋 富 夫	30. 5	6 - 2	50.4.1	国 語	特 活
20	芳 賀 アサ子	27. 2	専 科	46.4.1	算 数	教 科 書
21	島 田 美代子	27. 2	1 - 2	46.4.1	算 数	視 聴 覚
22	田 中 容 子	26. 5	4 - 2	47.4.1	算 数	特 活
23	佐々木 正 典	25. 0	6 - 3	49.4.1	算 数	視 聴 覚
24	樋 口 静 江	24. 4	5 - 2	49.4.1	体 育	学 籍
25	高 橋 淑 子	23. 6	2 - 2	49.4.1	社 会	学 籍
26	佐 藤 恵 子	22. 9	3 - 2	49.4.1	音 楽	特 活
27	佐 多 千鶴子	22. 0	1 - 3	49.4.1	体 育	特 活
28	倉 林 紀 子	35. 6	養 護	46.9.1	養 護	保 健
29	伊 藤 功	30. 1	事 務	48.4.1	事 務	事 務

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導，国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導，数と計算領域の指導
昭和48年度	数と計算領域の指導，器械運動の段階的指導
昭和49年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和50年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究

9. 本校の特色

- 児童の体位は標準程度であるが体力に優れる。このことは地域の自然環境および家庭の協力によるものと考えられる。
- また児童の心情はすなおであり、態度もまじめである。

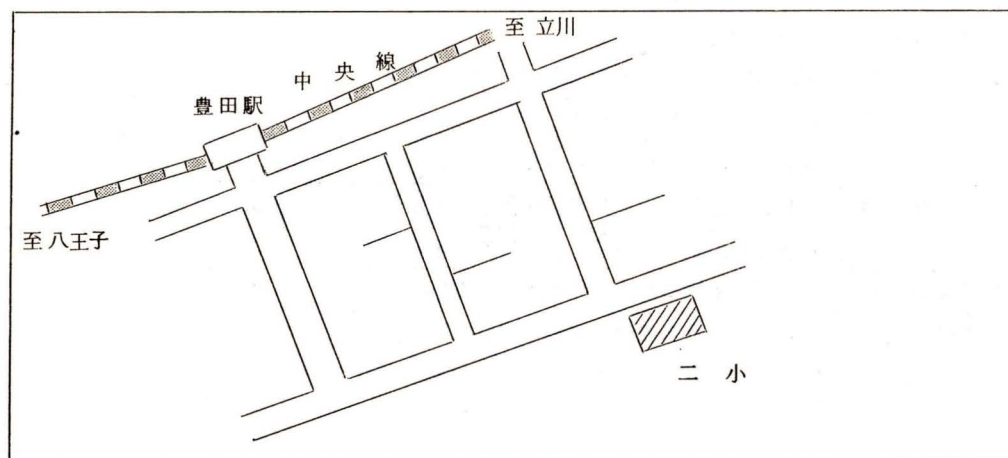
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和 43 年度	赤 石 亨	給 食	研 究 員
昭和 44 年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
"	小 林 繁 人	学級経営	研 究 生
昭和 46 年度	亀 山 恵之助	特別活動	研究員（日野四小）
昭和 36 年度	近 内 信 輝	社 会	研究生（小平四小）

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
企 業 経 営 者	1 4	2	労 務 的 従 業 者	5 6	9
専 門 技 術 的 職 業	1 1 1	1 8	サ ー ビ ス 従 業 員	3 0	5
管 理 的 職 業	5 6	9	農 林 漁 業 従 事 者	2 1	4
小 企 業 者	5 8	1 0	そ の 他	2 2	4
事 務 的 職 業	2 3 5	3 9	計	6 0 6	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 小 学 校
所 在 地 日 野 市 日 野 台 2 丁 目 1 番 地 1 号
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 1 0 1
順 路 中 央 線 日 野 駅 下 車 徒 歩 1 5 分

校 長 氏 名 岩 井 庄 三

教 頭 氏 名 多 昌 直 之

1. 沿革の概要

昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年 340名、教室4、全年2部授業

昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9
4年生迄2部授業

昭 25. 7. 18 校章制定

昭 25. 9. 19 4教室増築、教室数13、
3年まで2部授業

昭 27. 4. 15 4教室増築、教室数17、
2年まで2部授業

昭 27. 6. 10 校歌制定

昭 28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増
築、教室数23、2部授業
解消される。

昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更

昭 32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を
増築、教室数25、児童数
869名

昭 33. 8. 3 給食調理室完成

昭 33. 8. 3 大小プール落成

昭 34. 3. 校地1100坪拡張

昭 34. 5. 11 34年度東京都小学校理科
教育研究協力学校に指定さ
れる。

昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置され
る。

昭 35. 6. 10 開校10周年記念日を迎え記
念式、祝賀会を催す。

昭 37. 4. 5 校門完成

昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い、日野市

立日野第三小学校と校名を
変更。

昭 39. 6. 2 放送室、用務員室完成

昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式

昭 42. 9. 1 3年以上新校舎使用開始、
順次に木造旧校舎解体

昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野
台2丁目1番地1号

昭 44. 12. 20 学校北側の外柵落成

昭 45. 6 プレハブ2教室落成

昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定

昭 46. 4. 20 プレハブ2教室増設

昭 47. 4. 1 プレハブ2教室増設

昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成
プレハブ4教室撤去

昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎(5教室、職員
室、校長室、事務室、放送
室など)竣工

2. 歴代校長 氏 名

高 野 忠 正 昭 25. 6. 10 ~ 26. 3. 12
(事務取扱)

高 野 忠 正 昭 26. 3. 13 ~ 27. 9. 30
(校長)

尾 崎 半次郎 昭 27. 10. 1 ~ 34. 3. 31

五十嵐 光 昭 34. 4. 1 ~ 37. 3. 31

塚 本 正 昭 37. 4. 1 ~ 41. 3. 31

池 田 瑞 男 昭 41. 4. 1 ~ 47. 3. 31

岩 井 庄 三 昭 47. 4. 1 ~ 50. 3. 31

平 松 健太郎 昭 50. 4. 1 着 任

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸，甲州街道沿いに位置し，海拔 800 m の日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり，台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだてて立川市，南は多摩丘陵，西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育は，憲法及び教育基本法に基づいて，民主的な社会人としての人間形成の基礎作りにある。

- 健康で明るい子ども
- よく考える子ども
- 責任を果たす子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

主体的に考え，学習にとりくむこどもの育成

- 友だちと協力して学習をすすめることができる。
- 自分の意見を積極的に述べたり，質問したりすることができる。
- 自分から課題をみつけて解決のため努力することができる。

イ 道徳

道徳的判断が行動化されるこどもの育成

- 先生や友だちに対してきちんと挨拶ができる。
- 公共物の後始末をきちんとすることができる。
- 心身障害学級と仲よく協力して学校生活ができる。

ウ 特別活動

主体的に活動にとりくむこどもの育成

- 児童活動を主体的にすすめ，特に集会活動の企画や運営ができる。
- 係活動や清掃活動に積極的にとりくむことができる。
- 低，中，高学年相互に縦の協力助け合いができる。

(2) 生活指導の重点

社会生活のきまりを身につけ主体的に実践できるこどもの育成

- 廊下や道路での正しい歩行ができる。
- 先生や友だちの話を静かに聞くことができる。
- 物を大切に扱い，後始末がきちんとできる。

(3) その他の配慮事項

- 心身障害児学級と一般学級との教師相互，児童相互の交流の場を積極的に設け，障害をもつ児童に対して，正しい認識と理解を深める。
- 交通安全日，避難訓練を月 1 回実施し，安全教育の推進をはかるとともに安全対策に万全を期す。
- 校舎建築完了を契機として，校舎内外の環境整備と美化に努める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ひばり	計
学級数	5	6	5	5	4	3	2	30
男	107	113	103	97	74	69	9	572
女	101	113	79	89	93	54	8	537
計	208	226	182	186	167	123	17	1,109

7. 教職員

※年令は昭和51年3月現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	平 松 健太郎	51	校 長	昭50.4.1	学校経営	
2	多 昌 直 之	48	教 頭	48.4.1	学校経営	
3	戸 塚 春 男	52	図 工	41.4.1	図 工	生活指導主任, 給食事務
4	山 口 和 子	49	1 の 1	50.4.1	図 工	教務, 営繕
5	森 甫	48	音 楽	43.4.1	音 楽	研究推進委員長, 校外補導
6	橋 本 美千代	47	2 の 1	42.4.1	家 庭	校外指導, 庶務
7	井 上 保	46	6 の 1	44.4.1	社 会	教務主任
8	藤 本 憲 康	46	3 の 1	47.4.1	体 育	教務
9	本 保 陽 子	46	1 の 5	44.4.1	道 徳	校外指導, 教務事務
10	高 野 浩	44	4 の 1	42.4.1	理 科	校外指導, 教務事務
11	種 田 嘉 枝	41	3 の 5	49.4.1	算 数	校外補導, 保健事務
12	三 村 礼 子	41	5 の 1	50.4.1	国 語	教務
13	蔵 元 幸 二	34	3 の 2	50.4.1	社 会	給食主任, 給食事務
14	麻 生 文 雄	34	ひばり3	50.4.1	図 工	安全指導, 教育相談 要保・準保
15	川原田 和 子	32	6 の 2	49.4.1	算 数	学校行事, 校具
16	吉 川 都 子	32	5 の 4	42.4.1	算 数	各種委員会, 教務事務
17	中 原 正 子	31	4 の 2	49.4.1	音 楽	清掃指導, 清掃用具
18	有 馬 由紀子	31	3 の 2	48.4.1	国 語	教務, 校具
19	飯 田 国 代	30	4 の 4	48.4.1	国 語	教務, 職員福祉
20	西 川 征 矢	30	2 の 5	48.4.1	体 育	集会活動, 備品
21	矢 野 百合子	30	1 の 4	49.4.1	図 工	清掃指導, 要保・準保
22	森 田 隆 子	29	ひばり1	46.4.1	家 庭	保健指導
23	西 山 伸	29	ひばり2	48.4.1	図 工	清掃指導, 職員福祉
24	石 田 悦 代	28	3 の 5	49.4.1	算 数	地区児童会, 諸集金
25	長 沼 良 子	27	2 の 6	48.4.1	家 庭	清掃指導, 清掃用具

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
26	山 田 一 夫	27	1 の 4	昭 47.4.1	音 楽	特活主任, P T A書記
27	井 上 明 子	26	2 の 3	47.4.1	図 工	校外補導, 保健指導, 保健事務
28	中 村 美 子	26	5 の 2	47.4.1	図 工	校内生活指導, 教育相談 教務事務
29	渡 辺 静 枝	26	1 の 2	48.4.1	図 工	給食指導, 給食会計
30	浜 野 美 広	26	6 の 3	48.4.1	社 会	代表委員会, 校具
31	林 和 子	26	1 の 3	48.4.1	算 数	給食指導, 給食会計
32	高 野 ちひろ	26	3 の 3	49.4.1	国 語	教 務
33	天 野 正 枝	25	家 庭	46.9.1	家 庭	校内生活指導, 職員福祉
34	佐 藤 民 男	25	理 科	49.4.1	理 科	教務, 営繕
35	篠 原 正 人	25	4 の 3	50.4.1	国 語	代表委員会, 募金など
36	天花寺 敬 子	24	2 の 2	49.4.1	国 語	クラブ活動, 保健事務
37	足 立 光 江	24	ひばり1	50.4.1	図 工	校内生活指導 教育相談, 保健事務
38	梅 原 秀 明	23	3 の 4	50.4.1	理 科	教育相談, 校具
39	関 口 真 理	23	養 護	48.4.1	体 育	保健指導, 保健事務
40	石 川 聖 子	27	事 務	47.4.1	事 務	一般事務

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	道 徳
昭和41年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を国語科, 理科を通して究明し, 学力の充実を期す。
昭和42年度	児童の思考を高めるための授業の進め方を究明し, 学力の充実を期す。
昭和43年度	情緒の安定をはかり, 基礎的生活態度を育成する。
昭和44年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和45年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和46年度	情緒の安定をはかり, 基本生活態度を育成する。
昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむこどもの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。
昭和49年度	主体的に考え行動するこどもの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和50年度	主体的に考え行動するこどもの育成をめざす授業のすすめ方。

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで, 決まったことや言われたことはよくするが, やや主体性を欠き, ねばり強くやりぬこうとするたくましさがない。

- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また特殊学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

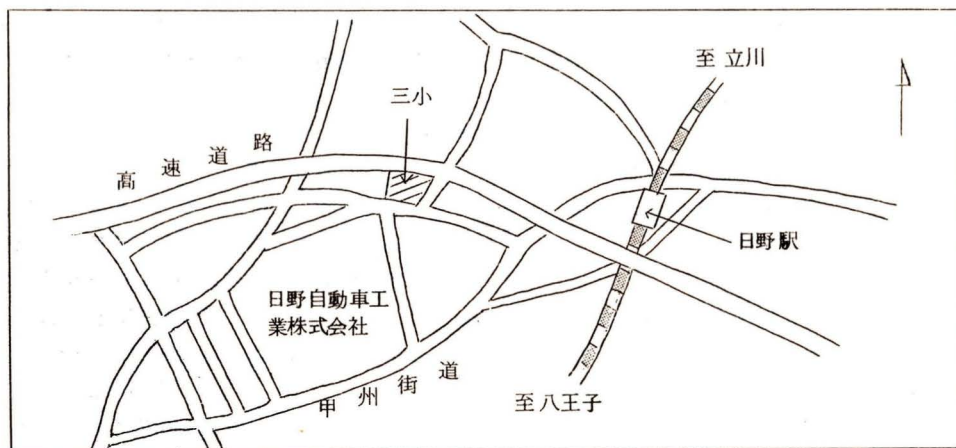
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和33年度	松 村 典 孝	国 語	研 究 員
昭和37年度	溝呂木 桂 次	理 科	〃
昭和37年度	広 瀬 邦 夫	社 会	研究派遣生
昭和38年度	原 田 成 大	特 殊	研 究 員
昭和41年度	松日楽 敬 治	理 科	〃

11. 保護者の職業一覧（※昭和50年4月23日現在）

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	521	63.4	農 業	15	1.8
公 務 員	72	8.8	教 職 員	14	1.7
自 宅 商	63	7.7	医 師	5	0.6
自 宅 工	38	4.6	無 職	4	0.5
運 輸 交 通 業	32	3.9	そ の 他	30	3.7
建 築 関 係 業	27	3.3	計	821	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田 430 番地
電 話 0425 - 81 - 0038
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩 7 分
立川駅北口から多摩動物公園行バス 四
小前下車 徒歩 2 分

校長氏名 内 藤 達 夫

教頭氏名 大 島 昭 子

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎
21. 11. 下田小学校
41. 3 日野小学校下田分校場
29. 8. 18 校地決定 4259.14 坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を
開校記念日とする。
昭 30. 12. 22 校章制定
30. 12. 25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32. 11. 20 学校給食開始
35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
36. 3. 26 第三期校舎落成式
36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を
開校記念日とする。
39. 6. 10 校地拡張及防音校舎に改築
が決定
40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成
41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了
14 教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立 11 周年
下田学舎創立 92 周年記念式
典
43. 11. 27 統計教育研究指定校として
研究発表会をする。(都、
市指定校)
45. 3. 31 体育館落成
防音校舎 7 教室増築完成
46. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置
46. 8. 31 理科室給排水、配電設備設
置
47. 6. 30 裏庭花だん新設
47. 9. 30 体育倉庫新設、校長室、保
健室移転、印刷室新設

昭 49. 2. 7 事務室設置、飼育舎新設
49. 9. 15 新校舎と体育館の渡り廊下
改修、危険物倉庫新設、給
食室一部改修

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～	年 月
浦 上 増太郎	昭 30. 3. 29	～	36. 3. 31
田 中 善 次	36. 4. 1	～	44. 3. 31
森 巖	44. 4. 1	～	47. 3. 31
内 藤 達 夫	47. 4. 1	～	現 在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯、9 地区 1900 戸である。甲州街道から約 1 km 南にへだたった多摩川あたりにくらし、田畑に囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域である。万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が漸次進められ田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

地域社会の特性を生かし、児童の実態を把握し、個性と能力に即し、児童の日常生活を基盤として次の事項を目標とする。

1. 丈夫な身体で 健康安全教育
2. いつも元気に 明朗で活動的な人間の育成
3. 何事も自分で考え 真実を求め科学する心の育成

4. 仲よく 人間尊重と協力奉仕する民主的社會人の育成

5. 学びましょう 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア、学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。

イ、あらゆる生活場面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習意欲を高めると共に、計画的な体力作りを推し進める。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。

イ. 道徳

(ア) 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。

(イ) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ. 特別活動

各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。

・児童活動 … 児童の自主的、実践的な態度を育て個性の伸長をはかる。

・学級指導 … 統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。

・学校行事 … 行事の効果的な運営を工夫すると共に集団への連帯感や規律ある行動の実践をはかる。特に体育的行事の狙いを明確にし、計画的な指導と児童の主體的参加を伸ばすようにする。

(2) 生活指導の重点

集団生活をととして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しくするために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

ア. 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

イ. 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

ア. 日課時程の一単位時間を40分とする。

イ. 朝の児童集会活動を充実し、教師と児童、児童間の心の結びつきと体力の向上に努める。

ウ. 児童とともに環境の美化につとめる。

エ. 本年度の研究主題

子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	3	3	3	20
男	75	70	66	52	68	77	408
女	63	72	52	68	60	54	369
計	138	142	118	120	128	131	777

7. 教職員

(※ 年令は昭51.3現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	内 藤 達 夫	55	校 長	47.4.1	学校経営	
2	大 島 昭 子	49	教 頭	49.4.1	学校経営	
3	仲二見 洋 子	48	1 - 1	42.4.1	算 数	生活指導
4	地 主 敏 江	27	1 - 2	48.4.1	社 会	保 健
5	飯 田 竹	32	1 - 3	48.4.1	国 語	図 書 館
6	川 崎 愛 子	26	1 - 4	47.4.1	理 科	視 聴 覚
7	堀 内 弘	31	2 - 1	43.4.1	理 科	図 書 館
8	越 村 あや子	27	2 - 2	49.4.1	体 育	教育相談
9	板 谷 敏	47	2 - 3	46.4.1	図 工	特活主任
10	古 谷 二三子	48	2 - 4	39.4.1	家 庭	図書館主任
11	佐々木 茂 登	51	3 - 1	48.4.1	国 語	特 活
12	笹 岡 佐和子	39	3 - 2	50.4.1	音 楽	給 食
13	斉 藤 弥 生	29	3 - 3	47.4.1	算 数	給 食
14	杉 本 瑛 二	49	4 - 1	44.4.1	体 育	道 徳
15	色 川 和 代	29	4 - 2	47.4.1	社 会	視聴覚主任
16	窪 田 正 子	30	4 - 3	43.4.1	国 語	視 聴 覚
17	上 野 森 良	45	5 - 1	43.4.1	体 育	生活指導主任
18	菊 地 敬 子	26	5 - 2	50.4.1	国 語	生活指導
19	遠 藤 綾	50	5 - 3	48.4.1	理 科	保 健
20	渡 辺 世津子	27	6 - 1	49.4.1	社 会	特 活
21	高 倉 教 行	47	6 - 2	45.4.1	国 語	教務主任
22	日下部 芳 子	55	6 - 3	43.4.1	家 庭	給食主任
23	志 賀 定 一	26	理 科	48.4.1	理 科	視 聴 覚
24	村 田 那智子	37	音 楽	46.4.1	音 楽	道 徳
25	渡 辺 芳 郎	53	図 工	39.4.1	図 工	生活指導
26	能 登 久 子	29	養 護	42.4.1	保 健	保健主任
27	大 淵 隆 夫	30	事 務	48.4.1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行，指導案作成の研究
昭和42年度	都，市研究協力校，統計教育
昭和43年度	同 上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる
昭和45年度	読み，解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか。
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう → 算数（計算，文章題）
昭和48年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究 → 国語（かん字の指導）
昭和49年度	” （指導計画の作成，指導法の工夫）
昭和50年度	” （ ” ” ）

9. 本校の特色

本校は過去数年，統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため，昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。児童の実態についていえば，まじめにこつこつと努力する面はみられるが，自らの力で思考し，自らの力で解決しようとする力が十分育っていないようである。今年度は特に特別活動における児童の自主性を伸ばすことに力を入れると共に，体育的行事や日常生活における体力作りももり上げ，身心両面における児童の主体性の伸長をめざして研究に取り組んでいる。

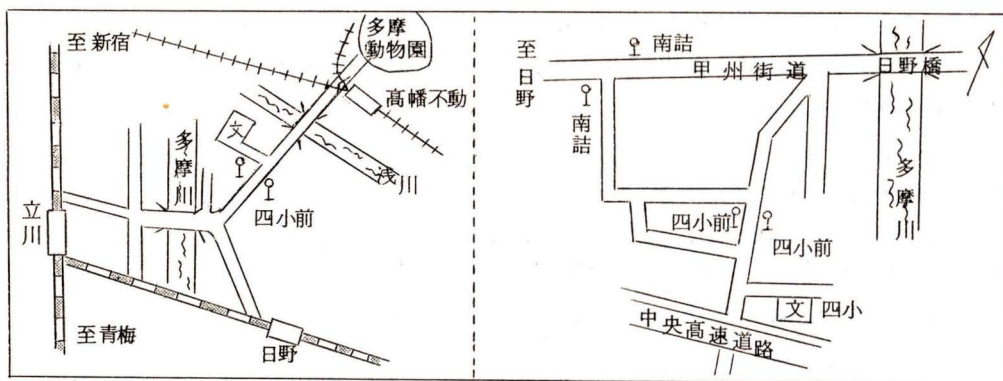
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和32年度	高 瀬 三 郎	算 数	研 究 員
昭和32年度	新 井 忠三郎	音 楽	”
昭和37年度	井之下 茂	体 育	”
昭和38年度	加 藤 隆 輔	図 工	”
昭和42年度	渡 辺 芳 郎	図 工	”
昭和46年度	亀 山 恵之助	特 活	”
昭和49年度	上 野 森 良	国 語	”

11. 保護者の職業

	会 社 員	公 務 員	教 員	交 通 ・ 運 輸	土 建 業	農 業	工 員	自 宅 工	自 宅 商	そ の 他	無 職	合 計
1 年	37	6	2	5	0	0	9	6	3	2	0	70
2 年	33	4	1	3	7	1	4	5	2	3	1	64
3 年	36	7	1	2	0	3	13	8	7	4	0	81
4 年	40	5	2	5	0	6	12	10	8	10	0	98
5 年	49	7	3	6	4	6	16	11	10	13	0	125
6 年	46	10	4	5	0	9	8	11	4	6	0	105
合 計	241	39	13	26	11	25	62	51	34	38	2	543
%	44.1	7.1	2.4	4.8	2.0	4.6	11.4	9.4	6.3	7.0	0.6	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 五 小 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 6-21-1
電 話 0425-81-0407 (代)
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車

校長氏名 三 井 知 夫

教頭氏名 深 沢 真 人

1. 沿革の概要

昭34. 4. 1 日野市立日野第五小学校開校。初代校長に増島光一就任。

昭34. 4. 6 日野第二小学校の3教室(児童73名) 日野第三小学校の5教室(児童169名)を借用して授業開始。

昭34. 6. 8 第1期工事完成(鉄筋コンクリート2階建, 普通教室10, 特別教室3, 管理室5), 9学級274名 新校舎に移る。

昭35. 9.13 第2期工事完成(鉄筋コンクリート平家建, 普通教室8, 小講堂1) 2部授業解消

昭36. 4. 1 増島光一校長定年勇退。浦上増太郎第二代校長に就任

昭36. 5.31 第三期工事完成(鉄筋コンクリート2階建, 普通教室6, 特別教室1)

昭36. 8.28 大プール, 小プール竣工

昭38. 2.20 校章制定

昭38. 4. 4 仮教室1完成

昭39. 3.11 校歌発表会

昭39. 3.25 卒業記念として校旗寄贈を受く

昭39. 4. 1 浦上増太郎校長定年勇退, 福寿文雄第三代校長に就任

昭39. 4. 6 芝山分校7学級(1~3年)263名で発足

昭40. 4. 1 芝山分校は日野市立第六小学校として独立

昭41. 4. 1 仮教室2完成

昭42. 2.23 都・市研究協力校発表会

昭42. 4. 1 福寿文雄校長転出, 星野正男校長就任

昭43. 3.20 校舎改修工事着工

昭43. 5.20 体育館, 新校舎増設(2階建10教室)

昭44. 3. 3 創立10周年記念式典

昭47. 4.11 星野正男校長転出, 荒井一男校長就任

昭49. 4. 1 荒井一男校長転出, 三井知夫校長就任

昭49. 8.21 放送施設工事着工

昭49.10. 1 給食室改修工事着工

昭50. 1.23 第二理科室工事着工

2. 歴代校長

氏 名	年 月	年 月
増 島 光 一	昭34.4.1	昭36.3.31
浦 上 増太郎	昭36.4.1	昭39.3.31
福 寿 文 雄	昭39.4.1	昭42.3.31
星 野 正 男	昭42.4.1	昭47.3.31
荒 井 一 男	昭47.4.1	昭49.3.31
三 井 知 夫	昭49.4.1	現 在

3. 地域の環境

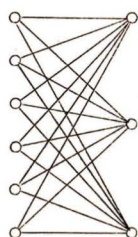
昭和 33 年日本住宅公団により日野台地が切り開かれ、多摩平団地誕生。この中に第五小学校がある。南は中央線、北は国道 20 号線（甲州街道）にはさまれ、バス網が発達していて交通は便利である。

団地の住宅以外に分譲住宅、都営住宅などがかかえ、付近には日野自動車など 4 つの大会社があり近代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場など整備され、立木、芝生にかこまれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標

心身ともに強健で
自主性と創造性に富み
勤労と責任を重んじ
規律正しく協力して
社会生活に貢献する
児童の育成を期する



心とからだをきたえます

よく考えて学びます

なかよく力を合わせます

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

児童の思考過程を重視しながら、自主協力学習の指導法の研究を通じて基礎学力の伸長を期する。

イ. 道徳

道徳教育の全体計画の改善をはかり、協調の精神を基盤とした道徳的心情を豊かにし、実践意欲を高める。

ウ. 特別活動

本校の特別活動の年間指導計画に基づき、児童の望ましい集団活動とその実践を通して、自主性、協調性をもった個性豊かな人間形成に努める。

(2) 生活指導

学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を実践指導を通じて身につけさせる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	訪問学級
学級数	5	5	4	5	5	4	28	1
男	91	99	78	95	91	66	520	5
女	91	95	69	92	90	83	520	2
計	182	194	147	187	181	149	1,040	7

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	三 井 知 夫	50	校 長	49.4.1	学校経営	
2	深 沢 真 人	51	教 頭	46.4.1	学校経営	
3	長 沢 佳都子	40	1-1	49.4.1	算 数	視聴覚,生活指導
4	高 津 恵 子	25	1-2	50.4.1	音 楽	視聴覚,給 食
5	福 地 保	46	1-3	41.4.1	理 科	教務,教育環境
6	針 田 和 子	28	1-4	50.4.1	理 科	図書館,生活指導
7	逸 見 黎 子	32	1-5	47.4.1	体 育	保健安全,保 健
8	井 尻 武 子	46	2-1	41.4.1	音 楽	教育相談,生活指導
9	西 川 朝 子	29	2-2	46.4.1	国 語	図書館,保健
10	小 俣 政 治	61	2-3	42.4.1	特 活	保健安全,保健
11	高 田 真 澄	24	2-4	49.4.1	理 科	視聴覚,給食
12	藤 森 三 治	34	2-5	46.4.1	体 育	視聴覚,生活指導
13	白 井 啓 子	26	3-1	47.4.1	家 庭	視聴覚,給食
14	中 川 金 作	50	3-2	44.4.1	特 活	教務,生活指導
15	塩 津 孝 子	28	3-3	47.4.1	図 工	視聴覚,給食
16	松 村 タケ子	49	3-4	46.4.1	道 徳	保健安全,保健
17	赤 池 正 人	39	4-1	43.4.1	特 活	教務,生活指導
18	前 川 花 子	48	4-2	39.4.1	国 語	保健安全,保健
19	岡 田 充 生	30	4-3	43.4.1	理 科	教務,教育環境
20	藤 崎 健 児	47	4-4	45.4.1	算 数	教務,教育環境
21	関 根 敦 子	43	4-5	43.4.1	国 語	図書館,給食
22	山 内 春 美	49	5-1	50.4.1	算 数	教育相談,生活指導
23	大 竹 三 郎	49	5-2	45.4.1	国 語	教務,保健
24	前 川 せ つ	48	5-3	47.4.1	社 会	教育相談,生活指導
25	白 石 俊 二	34	5-4	50.4.1	特 活	図書館,教育環境
26	内 藤 まつ代	47	5-5	45.4.1	道 徳	教務,教育環境
27	生 田 彰	50	6-1	50.4.1	社 会	教務,保健
28	中 村 大	44	6-2	45.4.1	理 科	教務,生活指導
29	田 中 博	27	6-3	47.4.1	体 育	視聴覚,教育環境
30	長 井 千代子	26	6-4	49.4.1	特 活	図書館,保健
31	古 川 明 子	26	訪 問	50.4.1	国 語	心障教育,保健
32	野 村 菜穂子	23	訪 問	50.4.1	体 育	心障教育,教育環境
33	浜 野 優 子	31	音 楽	46.4.1	音 楽	保健安全,保健
34	厚 坊 ヒデ子	41	音 楽	47.4.1	音 楽	心障教育,教育環境
35	本 莊 正 雄	62	図 工	41.4.1	図 工	視聴覚,教育環境
36	林 茂 子	30	家 庭	43.4.1	家 庭	教務,給食
37	小 島 典 子	40	養 護	50.4.1	保 健	保健安全,保健
38	川 崎 浩	30	事 務	46.4.1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化(市) 教材教具資料の収集と活用，基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力(都)(市)，花壇の整備(都)
昭和42年度	道徳の指導計画の作成，指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備，基本的行動様式の実践，体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導 特に特別教育活動との関連で計画の再検討と特活の年間計画の作成
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和46年度	各教科の学習における児童の思考力の伸長をはかるくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき児童の望ましい集団生活を通して実践的態度を育てる。
昭和48年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究
昭和49年度	思考力を伸長するための指導法の研究
昭和50年度	思考力の伸長と自主協力学習の指導法の研究

9. 本校の特色

本校は公団住宅のこの地への進出に伴い設立され、新しい学校建築の様式をとり入れて建てられた学校である。当時の五小は少人数で静かな環境の中で広い校庭を使い理想的教育活動をめざしていた。その後児童の増加にともない、8回にわたる増改築を繰り返えし、創立当時の意図とは違った様相を呈すようになった。しかし校地内には手入れのゆきとどいた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるようにと環境の整備ができている。

児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位体格のものが多く、肥満児は最近減少してきている。

学校では地域や児童の実態を考え別掲のような教育目標をたて、この目標を学年相応にかみくだき、学年会を中心にして、創意工夫を凝らした日々の教育実践をして、成果をあげ父母の信頼を得ている。

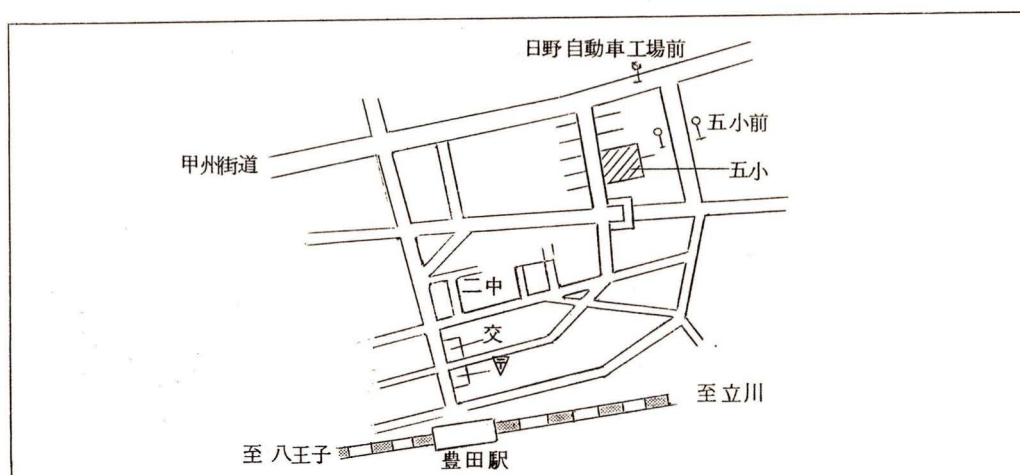
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別	年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別
昭和33年度	三井 知夫	国 語	研 究 員	昭和45年度	三浦 勝也	特 活	研 究 員
昭和36年度	石川 実	国 語	〃	昭和47年度	藤崎 健児	算 数	〃
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	〃	昭和49年度	福地 保	教 育 経 営	〃
昭和39年度	堀 フサ子	給 食	〃	昭和49年度	赤池 正人	算 数	〃
昭和40年度	関口 忠子	家 庭	〃	昭和50年度	大竹 三郎	書 写	〃
昭和41年度	渋谷 義一	理 科	〃	昭和39年度	大熊 喜一	算 数	研 究 生
昭和45年度	小板橋五佐男	算 数	〃	昭和42年度	渋谷 義一	理 科	〃

11. 保護者の職業一覧

職 種	家 庭 数	%	職 種	家 庭 数	%
会 社 員	544	67.9	自 宅 工	17	2.1
公 務 員	77	9.6	そ の 他	50	6.2
教 職 員	46	5.7	無 職	4	0.5
自 宅 商	64	8.0	計	802	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 六 小 学 校
 所 在 地 日 野 市 多 摩 平 3 丁 目 21 番 地
 電 話 0425-81-4686・0366
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩 12 分
 京王バス 小西六裏門下車 3 分

校 長 氏 名 安 積 利 治

教 頭 氏 名 小 野 寺 東 雄

1. 沿革の概要

昭 39. 4. 1	日野第五小学校芝山分校として設置 児童 1 年～ 3 年 7 学級 263 名	昭 47. 4	「考えさせる授業への手だて」発足
昭 40. 4. 1	日野第六小学校として開校 初代校長として平山小学校 長加々美良英就任 14 学級 児童数 515 名 教職員 21 名	昭 47. 5. 6	日野市科学センター校 2 年 目
昭 40. 9. 6	プール完成 (6 コース 25 m)	昭 47. 6. 10	校庭東隅に自然林造成
昭 42. 2. 21	校歌の発表会	昭 48. 3. 10	小鳥小屋、自転車置場設置
昭 43. 2. 22	児童の体力づくりの研究発表会	昭 48. 4. 1	「考えさせる授業への手だて」2 年目
昭 43. 3. 31	校長加々美良英退職	昭 48. 4. 1	日野市科学センター校 3 年 目
昭 43. 4. 1	国立市国立第一小学校校長 峰岸敬次郎第 2 代校長として就任	昭 49. 4	南校舎 3 階増築 (普通教室 5, 音楽室・管理室 4)
昭 43. 6. 19	南校舎 (普通教室 11, 職員室, 校長室) 完成	昭 49. 4	「考えさせる授業への手だて」3 年目
昭 43. 11. 6	第 13 回学研教育賞を受ける。	昭 49. 4	日野市科学センター北部セ ンター校
昭 44. 3	校地の土どめ工事完成	昭 49. 4	「ふれあう授業方式」発足
昭 45. 2. 28	屋内体育館完成	昭 49. 5	南門完成
昭 45. 3. 16	落成式挙行 (学校, PTA 共催)	昭 49. 7. 12	児童の登下校はすべて南門
昭 46. 3. 31	校長峰岸敬次郎滝合小学校 長として転出	昭 49. 8. 31	北校舎黒板塗替 19 教室
昭 46. 4. 1	中野区上高田小学校新海圭 三第 3 代校長として就任	昭 49. 10. 26	給食調理室増改築完成
昭 46. 4. 1	日野市科学センター校	昭 50. 3. 18	49 年度都愛鳥モデル校に 指定
昭 47. 2. 28	正門前舗装, 北西門取付	昭 50. 3. 31	校長新海圭三中野区仲町小 学校へ転出
昭 47. 3	「児童の社会性育成の実践 指導」発表 (市研究協力 校)	昭 50. 4. 1	日野第二小学校校長安積利治 第四代校長として就任
昭 47. 3. 25	プレハブ 3 教室増設	昭 50. 4. 1	「考えさせる授業への手だて」4 年目
		昭 50. 4. 1	「ふれあう授業方式」2 年目
		昭 50. 4. 1	「自主学習」の試行開始

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月	年 月
加々美 良 英	昭 40. 4. 1	～ 昭 43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭 43. 4. 1	～ 昭 46. 3. 31
新 海 圭 三	昭 46. 4. 1	～ 昭 50. 3. 31
安 積 利 治	昭 50. 4. 1	～ 現 在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。最近、学校の西の旭が丘地区に住宅が増加しつつある。

4. 学校の教育目標

- (1) たくましい身体と心をきたえる。 (2) 考えながら学ぶ。 (3) みんなと仲よく。
(4) がんばりぬく心を養う。 (5) しっかり働く。 (6) 生き物を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

- ・ 「考えさせる授業への手だて」をさらに追求し普遍化をはかる。
- ・ 自主学習の基本要項を確立し、意図的に試行する。
- ・ 教材の精選と集約に留意する。

イ. 道 徳

- ・ 児童の感動を尊重し、心豊かな人間の育成をめざす。

ウ. 特別活動

- ・ 自主協調
- ・ 好ましい集団作りを主体的にとりくませる。

(2) 生活指導の重点

- ・ 「学校のきまり」をたいせつにする子の指導。
- ・ 「けがのない日」への積極的な試み。

(3) その他の配慮事項

- ・ 六小ハンドブックの実践、修正に心がける。
- ・ 委員会、学年、係は年間計画をたて、効果的な運営につとめる。
- ・ 教師、児童、父母相互の信頼を高め、地域社会との結びつきを一層深めるための手だてを改善する。

6. 児童数 (50. 4. 10)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	6	6	5	5	5	5	32
男	112	128	83	85	88	104	600
女	123	99	100	100	106	102	630
計	235	227	183	185	194	206	1,230

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	研究教科	そ の 他
1	安積 利治	58	校 長	50.4.1	経 営	経営
2	小野寺東雄	49	教 頭	49.4.1	経 営 理 科	経営
3	清水 辰巳	38	1 - 1	49.4.1	体 育	くらし委員, 学年主任
4	原田美智子	30	1 - 2	47.4.1	社 会	研究委員, 視聴覚
5	永見 明子	25	1 - 3	48.4.1	社 会	研究委員, 視聴覚
6	根岸 優子	29	1 - 4	50.4.1	国 語	からだ委員, 図書
7	佐藤 和子	26	1 - 5	47.4.1	図 工	環境委員, 保健
8	福田いづみ	28	1 - 6	45.4.1	図 工	つどい委員, 学校図書館主任
9	小野 博子	48	2 - 1	44.4.1	理 科	つどい委員, 学年主任
10	阪本 緑	36	2 - 2	45.4.1	図 工	研究委員, 給食
11	高橋 孝子	32	2 - 3	48.4.1	理 科	からだ委員, 給食
12	上條 浩子	30	2 - 4	44.4.1	図 工	くらし委員, 扶助費
13	比田井茂子	26	2 - 5	49.4.16	国 語	環境委員, 教科書
14	秋永 悦郎	45	2 - 6	49.4.1	国 語	つどい委員長, 国語主任, 教務, 補教, 教科書, 学校行事主任
15	今野すみ子	43	3 - 1	47.4.1	社 会	つどい委員, 学年主任
16	野口 昭平	49	3 - 2	49.4.1	理 科	環境委員長, 教務
17	岡 茂美	25	3 - 3	49.4.1	国 語	からだ委員
18	長田 正夫	35	3 - 4	45.4.1	社 会	研究委員, 社会科主任
19	広沢フサ子	37	3 - 5	43.4.1	道 徳	くらし委員, 学校教育相談
20	川田 浩子	40	4 - 1	50.1.16	算 数	くらし委員, 算数主任
21	山崎 充子	34	4 - 2	50.4.1	国 語	つどい委員
22	草刈 喜一	41	4 - 3	46.4.1	体 育	からだ委員, 体育主任, 学年主任, 給食主任
23	落合貴美江	29	4 - 4	49.4.1	国 語	研究委員
24	青柳 礼子	29	4 - 5	49.4.1	国 語	環境委員
25	清水しずか	44	5 - 1	40.4.1	道徳(家庭)	くらし委員, 道徳主任, 学年主任, 安全教育主任, 視聴覚主任
26	越村 清治	31	5 - 2	50.4.1	社 会	研究委員
27	老沼 義晴	26	5 - 3	47.4.1	算数(体育)	からだ委員長
28	林 克巳	25	5 - 4	49.4.1	算 数	環境委員
29	鶴留 節子	29	5 - 5	48.4.1	社 会	つどい委員
30	斉藤八重子	46	6 - 1	43.4.1	体育(家庭)	からだ委員, 家庭科主任, 学年主任, 保健主任
31	西条 淑子	55	6 - 2	42.4.1	算 数	くらし委員長, 生活指導主任, 特活主任
32	山添 邦男	32	6 - 3	47.4.1	社 会	研究委員長, 研究主任
33	鹿島田恭江	38	6 - 4	50.4.1	理 科	環境委員, 理科主任
34	来間 志信	34	6 - 5	43.4.1	算 数	つどい委員
35	曾我 哲夫	44	5・6年	43.4.1	算 数	研究委員, 教務主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	研究教科	そ の 他
36	曲田 春子	24	音 楽	49.4.1	音 楽	環境委員，音楽主任，給食
37	嶋 真理子	24	音 楽	50.4.1	音 楽	くらし委員，入退学
38	長沢 和子	52	図 工	46.4.1	図 工	つどい委員，図工主任，入退学
39	上山美智子	39	養 護	40.4.1	保 健	からだ委員，保健
40	伊東 淳司	28	事 務	49.4.1	事 務	事務，管財

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道德の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高め思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして（市研究協力校）
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	” （継続研究）
昭和49年度	” （継続研究）
昭和50年度	” （継続研究）

9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴なって新設された団地校であり，大規模校である。
- (2) 児童は細長型，都会型の体位をしめし，ねばり強さに欠け，父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く，父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童，教職員一体となって，花だん，自然林，情操池を作成し，学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に，校内研修活動に力を入れている。授業研究を4年間継続している。
- (6) 「ふれあう授業」として，全校で協力授業をしている。
- (7) 児童が主体的，自主的に学習するよう学年の発達に応じて計画的に指導している。

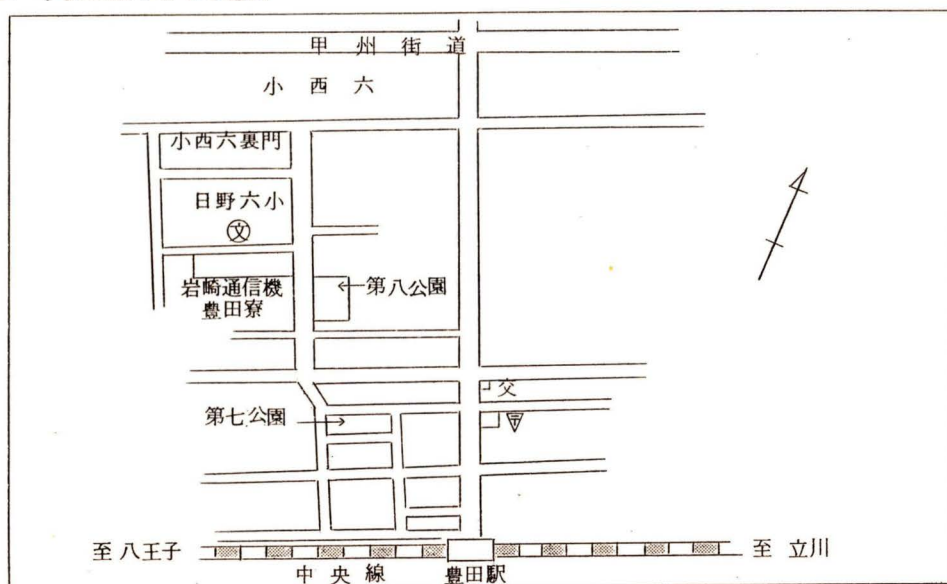
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和 35 年度	黒 沢 保 雄	社 会	研究生（教育大）
昭和 39 年度	”	社 会	教 育 研 究 員
昭和 43 年度	岩 尾 照 夫	算 数	研究生（学大）
昭和 43 年度	上 山 美智子	養 護	教 育 研 究 員
昭和 45 年度	高 田 敏	給 食	”
昭和 48 年度	藤 田 孝 彦	特 活	”
昭和 42 年度	小野寺 東 雄	理 科	”
昭和 45 年度	秋 永 悦 郎	国 語	”
昭和 40 年度	野 口 昭 平	道 徳	”
昭和 48 年度	越 村 清 治	社 会	”
昭和 50 年度	長 田 正 夫	社 会	”
昭和 50 年度	草 刈 喜 一	給 食	”

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
農 業	0	0	団 体 職 業	5 6	5.8 0
工 業	2 4	2.4 9	会 社 員	6 4 2	66.5 3
商 業	5 2	5.3 9	医 師	8	0.8 3
運 輸 交 通 業	2 0	2.0 7	そ の 他	6 6	6.8 4
国 家 公 務 員	3 4	3.5 2	無 職	5	0.5 2
地 方 公 務 員	5 8	6.0 1	計	9 6 5	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
所 在 地 日 野 市 高 幡 402 番 地
電 話 0425-91-0409.0410
順 路 京王線 高幡不動駅下車北へ徒歩4分

校 長 氏 名 星 野 正 男

教 頭 氏 名 梅 田 茂

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明11.11 三沢 701 番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭16. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭30.10 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭38.11 校名を日野市立潤徳小学校と変更(90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成)
- 昭40.12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭44. 2 屋内体育館落成
- 昭44. 9 日野市立第八小学校分離

- 昭44.10 百草台分校併設
- 昭45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催。
- 昭49. 4 普通教室9教室、学校図書館(2教室分)増築
- 昭47. 4 プレハブ教室増築
- 昭48. 4 プレハブ教室増築(4教室)
- 昭48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭49. 4 日野市立南平小学校分離

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 ~ 年 月 |
|------------|-----------------|
| 初 大塚四郎右衛門 | 創 立 |
| 2 覚 井 諦 暁 | 明19.12 ~ 明11.11 |
| 3 和 田 作太郎 | 明11.11 ~ 明15.11 |
| 4 土方 喜久太郎 | 明15.11 ~ 明17. 2 |
| 5 宮 倉 保五郎 | 明17. 2 ~ 明19.10 |
| 6 小 宮 太之助 | 明19.10 ~ 明20.10 |
| 7 須 崎 和 蔵 | 明20.10 ~ 明31. 2 |
| 8 小 宮 弥一郎 | 明31. 2 ~ 明34. 4 |
| 9 加 藤 菊次郎 | 明34. 4 ~ 明36. 1 |
| 10 佐 藤 良 輔 | 明36. 1 ~ 明42. 4 |
| 11 沖 倉 与 一 | 明42. 4 ~ 明43. 4 |
| 12 荒 木 田大夫 | 明43. 5 ~ 明45. 3 |
| 13 小 宮 弥一郎 | 明45. 4 ~ 大12. 3 |
| 14 平 杉 蔵 | 大12. 4 ~ 大13. 3 |
| 15 矢 沢 久 司 | 大13. 3 ~ 大14. 9 |
| 16 小 泉 栄 一 | 大14.10 ~ 昭 3. 3 |
| 17 広 井 博 | 昭 3. 4 ~ 昭 7. 9 |

18	重 松 正 顕	昭 7. 9 ～ 昭14. 7
19	鈴 木 慶 蔵	昭14. 7 ～ 昭22. 2
20	赤 坂 元 春	昭22. 2 ～ 昭27. 9
21	塚 本 正	昭27.10 ～ 昭37. 3
22	尾 崎 半次郎	昭37. 4 ～ 昭41. 3
23	塚 本 正	昭41. 4 ～ 昭43. 3
24	溝呂木 桂 次	昭43. 4 ～ 昭47. 3
25	星 野 正 男	昭47. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に丘陵地帯には公団住宅や分譲住宅の造成が盛んに行なわれ、田園にも都営団地や住宅がふえ、過密化の傾向にあり、農業に従事する保護者の割合は約3%である。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

敬 愛	健康・安全	・心とからだをきたえます。
	自由・責任	
自 由	明朗・快活	・仲よく力を合わせます。
	不撓・不屈	
勤 勞	創意・くふう	・よく考えて学びます。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各 教 科

児童にあった内容を選定して、学習効果を高める。

- ・学習過程を重視し、児童の思考力を伸ばす。
- ・指導方法をくふうし、教具を整備活用する。

イ. 道 徳

児童の実態に応じて道徳性を高める。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・勤労を尊び進んで物事をやりぬく態度を育成する。

ウ. 特別活動

児童の自主性、創造性を育てる。

- ・自分たちの問題に気づき、力を合わせて自分たちの手でこれを解決しようとする実践態度を養う。
- ・学級指導の内容を精選し、児童の態度、適応指導を進める。

- ・学級会での正しい話し合いのしかたを身につけさせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

学年、学級における生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・学校における基本的行動様式を身につけさせる。
- ・児童ひとりひとりを見つめ、教師と児童との心の交流をはかる。
- ・安全指導を計画的に行なう。

(3) その他の配慮事項

1. 40分授業を考慮して、ゆとりのある生活時程を設定し、教育的に有効に活用する。
2. 望ましい学習環境の整備に努力する。
3. 学年を中心にした授業研究を重視し、併せて普通学級における心身障害児の問題解決にあたる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	6	5	5	5	5	5	31
男	135	112	111	107	96	87	648
女	112	110	111	93	119	94	639
計	247	222	222	200	215	181	1,287

7. 教 職 員

番号	氏 名	年 齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 正 男	59	校 長	47.4.1	経営 国語	
2	梅 田 茂	48	教 頭	47.4.1	経営 道德	
3	渡 辺 孝 雄	39	1 - 1	50.4.1	算 数	環境整備主任 算数主任
4	川原田 和 子	30	2	46.4.1	体 育	
5	大 石 年 志	29	3	49.4.1	”	体育主任
6	佐 藤 ユ ウ	40	4	42.4.1	社 会	図書主任
7	小 橋 奉 夫	31	5	50.4.1	算 数	
8	三 浦 みのり	45	6	49.4.1	国 語	保健, 国語主任
9	古 谷 孝 太	45	2 - 1	48.4.1	道 德	研究・道德主任
10	斉 木 茂 子	23	2	50.4.1	社 会	
11	高 橋 茂 子	31	3	49.4.1	算 数	
12	椿 坂 俊 夫	33	4	50.4.1	体 育	P T A 庶務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
13	土 方 淳 子	28	2 - 5	45.4.1	理 科	
14	茅 野 とめ子	29	3 - 1	46.4.1	算 数	
15	小 村 満紀子	37	2	48.4.1	音 楽	
16	斉 藤 巳 吉	45	3	49.4.1	体 育	生活指導主任
17	小笠原 康 夫	29	4	44.4.1	”	
18	高 井 くめ子	31	5	48.4.1	図 工	
19	小 川 雪 子	48	4 - 1	47.4.1	”	
20	石 原 美 代	27	2	47.4.1	体 育	
21	後 藤 楚 子	37	3	45.4.1	図 工	
22	間 瀬 悦 子	25	4	47.4.1	国 語	
23	小 山 節 子	31	5	46.4.1	算 数	
24	青 木 良 子	53	5 - 1	48.4.1	図 工	
25	松 田 英 明	26	2	49.4.1	社 会	社会科主任
26	川 井 矩 子	34	3	48.4.1	体 育	視聴覚主任
27	中 島 ちよ子	24	4	48.4.1	算 数	
28	渡 辺 みち子	24	5	48.4.1	国 語	P T A庶務
29	中 野 弥 生	28	6 - 1	47.1.1	理 科	
30	小 竹 寧	50	2	49.4.1	算 数	教務主任
31	森 清 晃	48	3	47.4.1	理 科	行事・理科主任
32	伊 藤 清 子	45	4	45.4.1	家 庭	給食主任
33	河 野 千 秋	39	5	48.4.1	社 会	
34	内 山 美知子	42	音 楽	50.4.1	音 楽	音楽主任
35	小 堀 こうこ	26	”	47.4.1	音 楽	
36	小 口 清 二	37	図 工	47.4.1	図 工	図工、管材主任
37	石 川 成 子	35	家 庭	45.9.16	家 庭	家庭科主任 P T A会計
38	松 井 玉 江	46	養 護	49.4.1	養 護	
39	橘 田 晟	38	事 務	46.4.1	事 務	庶務会計主任
40	牧 野 誠	25	”	50.4.1	”	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和41年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和42年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和43年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和44年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和45年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和46年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和47年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用
昭和48年度	各教科の指導内容を精選し、指導課程をくふうして思考力を伸ばす
昭和49年度	学年を中心とした授業研究と併せて普通学級における心身障害児の問題解決

9. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和35年度	斎 藤 宏	社 会	研 究 員
昭和38年度	斎 藤 イ ク	学校給食	”
昭和38年度	天 野 七 郎	”	”
昭和42年度	天 野 七 郎	算 数	”
昭和43年度	坂 井 和 子	教育方法	”
昭和45年度	村 上 悦 子	音 楽	”
昭和46年度	な し		
昭和47年度	清 水 七 郎	教育方法	研 究 員
昭和47年度	新 沼 英 樹	理 科	”
昭和48年度	な し		
昭和49年度	伊 藤 清 子	学校給食	研 究 員

10. 本校の特色

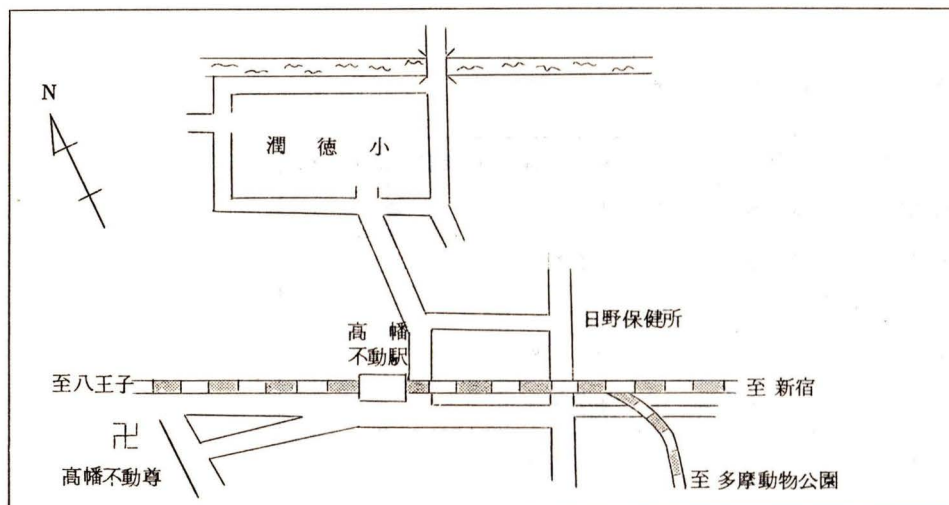
本校は明治6年5月12日に開校以来本年をもって百弍年を迎え輝かしい伝統と歴史にはぐくまれまた多摩丘陵の宅地造成にともなうベットタウンとしての新興住宅地として転入の児童・父母との融和のなかに、新しい時代に即応した社会人の育成にあたっている。

本市第二の大規模校として、さまざまな困難な条件のなかで全職員一丸となって真の教育の理念達成をめざし邁進している。

10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	217	23.0	サービス従事者	37	4.0
管理的職業	94	9.9	農林，漁業従事者	21	2.3
事務的職業	236	25.0	その他	40	4.3
自営業	69	7.3			
労務従事者	229	24.2	計	943	100

11. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 平 山 小 学 校
所 在 地 日 野 市 平 山 4 - 8 - 6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線 平山城址公園下車 徒歩8分
▽ 191

校 長 氏 名 小 野 晁 教 頭 氏 名 石 井 富 蔵

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校
(真心学舎といい修業年限は
8カ年)
- 明17 平山598番地に新築移転。
- 明20. 校名を平山尋常小学校と改め
る。
- 明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と
改める。
- 明41. 尋常科を6カ年, 高等科を2
カ年とする。
- 昭16. 4 国民学校令の施行により七生
村立平山国民学校と改める。
- 昭22. 4 新学校教育制度の実施により
七生村立平山小学校と改める。
- 昭32. 2 日野町, 七生村合併により日
野町立平山小学校と改める。
- 昭37. 2 東京都給食研究協力校として
研究発表。
- 昭38.11 市制施行により日野市立平山
小学校と改める。
- 昭42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育
館の落成により, 平山4-8
-6に移転する。
- 昭44 日野市研究協力校として「児
童の体力の向上」について研
究発表。
- 昭45. 3 防音鉄筋校舎9教室および機
械室工事完成。
- 昭46. 3 滝合小の新設に伴う学区変
更, 平山小学区は浅川の南側
の地区となる。

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年 月 ~ 年 月 |
|---------|-----------------|
| 梁 義 伯 | 明 6. 5 ~ 明12. 1 |
| 大 沢 教之助 | 明12. 1 ~ 明20. 3 |
| 石 井 芳 丸 | 明20. 4 ~ 明30.55 |
| 吉 永 信 丸 | 明30. 6 ~ 明35. 5 |
| 小 宮 弥一郎 | 明35. 6 ~ 明45. 3 |
| 古 谷 障 司 | 明45. 4 ~ 大 2. 5 |
| 勝 又 房太郎 | 大 2. 5 ~ 大 4.5 |
| 平 杉 蔵 | 大 4. 6 ~ 大 9. 3 |
| 上 田 富 弥 | 大 9. 4 ~ 大15. 3 |
| 杉山 喜知太郎 | 大15. 4 ~ 昭 6. 3 |
| 石 川 雄 丸 | 昭 6. 4 ~ 昭11. 2 |
| 鳥 羽 照 司 | 昭11. 2 ~ 昭13. 3 |
| 石 谷 倉太郎 | 昭13. 4 ~ 昭21. 3 |
| 飯 塚 節 三 | 昭21. 3 ~ 昭22. 3 |
| 田宮五郎右衛門 | 昭22. 4 ~ 昭28. 3 |
| 森久保 惣 治 | 昭28. 4 ~ 昭34. 3 |
| 高 橋 本 義 | 昭34. 4 ~ 昭37. 3 |
| 加々美 良 英 | 昭37. 4 ~ 昭40. 3 |
| 後 藤 正 太 | 昭40. 4 ~ 昭42. 3 |
| 安 積 利 治 | 昭42. 4 ~ 昭47. 3 |
| 小 野 晁 | 昭47. 4 ~ 現 在 |

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市
に接する平地, 田んぼ, 畑等の農地も残っ
ており, 自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年, 団地, 都営住宅, 造成地住宅等市
街化されつつあり, 他地域からの転入者が
多く, 児童数も急激に増加しつつある。

4. 教育目標

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① 健康安全教育的充実 | (1) 健康で 明るい子ども |
| ② 学力の充実 | (2) よく考えて さいごまでやりぬく子 |
| ③ 自主性の育成 | (3) 進んでよいことをする子ども |
| | (4) 力を合わせて働く子ども |

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア、各教科

- 指導の効率を高めるため、指導内容の精選、教材教具のくふう、指導事例の交換を重視し、学年会の研修活動を中心としてすすめる。
- さらに校内研修活動の体制を確立し、より効率化をはかる。

イ、道徳

- 日常生活の望ましい行動様式を育てる。
- 自主性の育成につとめ、教材教具を整備し、機器を活用して実態に即した徳目を精選して指導する。

ウ、特別活動

- 行事・学級指導をととし、交通安全教育の指導を徹底する。
- 児童会活動・係活動を通して自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活を通して、教師対児童・児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合うようつとめる。
- 安全教育にとくに留意して、児童ひとりひとりが自覚するよう指導する。

(3) その他の配慮事項

- 前年に引き続き、児童にゆとりある学校生活を送らせ、教師対児童・児童対児童の心の交流をはかる。
- 放課後の時間をくふうし、教材研究・学年会等にあてて指導の効率化をはかる。さらに年間10回の授業研究を実施し研究をすすめる。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	わかくさ	計
学 級 数	4	4	4	4	4	3	1	24
男	97	95	75	67	75	66	7	482
女	75	75	61	70	69	39	4	393
計	172	170	136	137	144	105	11	875

7. 教 職 員

(年令は 51 年 3 月末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小 野 晁	57	校 長	47.4. 1	経 営	
2	石 井 富 蔵	59	教 頭	46.4. 1	経 営	
3	関 恒 夫	47	1 - 1	45.4. 1	図 工	生活指導主任
4	田 美枝子	30	1 - 2	50.4. 1	国 語	給食指導
5	阿 部 二三子	27	1 - 3	50.4. 1	国 語	図書館
6	多 久 江 美	23	1 - 4	50.4. 1	家 庭	図書館
7	月 成 カズ子	26	2 - 1	47.4. 1	算 数	図書館
8	小 林 和 子	32	2 - 2	49.4. 1	図 工	保健部
9	岩 井 豊 子	55	2 - 3	41.4. 1	社 会	研究部主任
10	高 橋 史 郎	27	2 - 4	48.4. 1	体 育	視聴覚, 教育相談
11	長 尾 節 子	56	3 - 1	45.4. 1	理 科	給食事務部主任
12	落 合 陽 子	26	3 - 2	48.4. 1	図 工	図書館
13	河 野 珠 恵	29	3 - 3	47.4. 1	算 数	教務部
14	綿 貫 清 江	24	3 - 4	49.4. 1	音 楽	教務部
15	安 達 美 武	30	4 - 1	44.4. 1	社 会	教務部
16	会 田 尚 子	39	4 - 2	44.4. 1	算 数	渉外部主任
17	甘 利 信 子	28	4 - 3	49.4. 1	音 楽	教務部
18	赤 松 紀 子	34	4 - 4	44.4. 1	国 語	給食指導
19	佐々木 実 幸	28	5 - 1	50.4. 1	国 語	心身障害指導
20	信 夫 清 彦	31	5 - 2	48.4. 1	体 育	保健部主任
21	大 上 琢 磨	44	5 - 3	50.4. 1	体 育	視聴覚
22	碩 みよの	24	5 - 4	49.4. 1	国 語	教務部
23	溝 江 恵美子	34	6 - 1	39.4. 1	国 語	児童会指導
24	川 上 昇 一	31	6 - 2	45.4. 1	道 徳	視聴覚
25	和 田 文 雄	42	6 - 3	43.4. 1	体 育	教務主任
26	大 鳥 ルミ子	38	わかくさ	48.4. 1	図 工	心身障害教育
27	中 沢 芙美子	38	わかくさ	50.4. 1	体 育	教育相談
28	安 藤 晴 代	26	わかくさ	49.6. 1	体 育	心身障害教育
29	吉 川 郁 子	41	理 科	44.4. 1	理 科	教務部
30	立 花 せつ子	29	音 楽	50.4. 1	音 楽	図書館
31	藤 田 富治郎	30	図 工	48.4. 1	図 工	クラブ, 委員会活動
32	加 藤 千恵子	26	体 育	49.4.16	体 . 音	教務部
33	小 林 ふと子	28	養 護	49.4. 1	養 護	保健, 養護
34	田 中 義 之	29	事 務	44.4. 1	事 務	庶務, 経理部主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	同 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳，体育（道徳，体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる） 市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）
昭和47年度	同 上
昭和48年度	同 上
昭和49年度	交通安全教育・安全対策の推進（地域の実態に即した）
昭和50年度	国語の指導

9. 本校の特色

- 教育目標第一の柱「健康安全教育の充実」に重点をおき，地域の実態に即し交通安全教育の推進をはかっている。昨年度に引き続き東京都教育委員会より交通安全推進地区推進学校の指定を受け，その研究に取り組んでいる。環境は約131㎡の大花壇・教材園，約100㎡の芝生園があり，児童の心情を暖める場を形成している。また，職員の手になるタイヤ山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。なお，昭和48年度から特殊学級1学級が併設された。

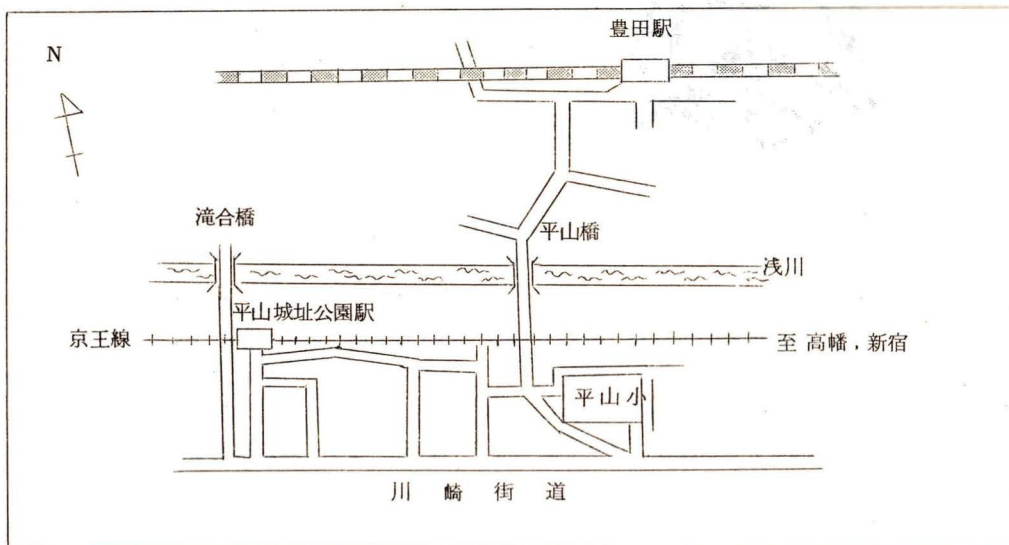
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和40年度	小 野 晃	道 徳	都研究員
昭和49年度	和 田 文 雄	体 育	都研究員
昭和50年度	大 上 琢 磨	体 育	都教育現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企業経営者	27	4	労務従事者	87	13
専門・技術的職業	80	12	サービス従事者	80	12
管理的職業	46	7	農林漁業	20	3
小企業者	46	7	そ の 他	27	4
事務的職業	239	36	無 職	14	2

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 七 小 学 校
所 在 地 日 野 市 神 明 上 区 画 整 理 地 域 内 106 街 区
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 国 電 中 央 線 日 野 駅 下 車 徒 歩 約 10 分
▽ 191

校 長 氏 名 星 野 武 之

教 頭 氏 名 大 熊 喜 一

1. 沿革の概要

- 昭46.12 ・七小開校促進委員会を、第五小学校PTAを母体として発足。以後、小委員会を14回にわたって開催し、七小開校に伴う諸問題について協議。
- 昭47. 3 ・市議会において、七小建設に伴う案件承認。
- 昭48. 4 ・日野市立日野第七小学校として開校。日野第一小学校および日野第七小学校の学区域を定め、児童数384名、12学級の規模で開校。
- ・トラックをのぞく運動場全面にティフトワーフ（洋芝）の植付け完了。
- 昭48. 5 ・プール建設工事着工
- 昭48. 6 ・校章制定『ひの七小』を、いちょうの葉で図案化したものである。植樹計画にいちょうの木を多くいれ、将来、いちょうの木が七小のイメージに合致することを夢見たものである。
- 昭48. 7 ・体育館建設工事着工
- 昭48. 8 ・プール建設工事完了。10日プール開き、水泳指導開始。体育倉庫も完成。
- ・フェンス建設工事着工。
- 昭48. 9 ・校旗制定。校章を金糸、銀糸で表示。紫の布地にはえてあざやか。
- 昭48.11 ・第1次植樹計画完了。いちょうの並木、さくら、とうじゅろ、ヒマラヤすぎ、つつじ、さつき

など。学校らしくなる。

- 昭48.12 ・プールのフェンス完成。
- ・校歌制定。作詩，作曲，国立音楽大学教授 岡本敏明先生。
- 昭49. 2 ・体育館建設工事完了。体育倉庫を付設。
- 昭49. 3 ・日野市立日野第七小学校『校舎および体育館の落成記念式』と『校歌発表』
- ・3月1日を開校記念日に制定。校舎および体育館の落成記念式を記念。
 - ・第1回、卒業証書授与式。卒業生 2学級 45名。（男24，女21）
- 昭49. 4 ・開校2年日，入学児77名，児童数398名，12学級の規模で始業。
- ・西洋木づた，B棟の南面と西面に植付け。
 - ・第1次植樹の樹木，活着。いちょう並木のつつじ，鮮かなレッド，2列咲きそろろう。
- 昭49. 5 ・東通用門わきに学級園6，観察池と水田各1。正門わきに花壇，裏庭に焼却場完成。それぞれに区画の美をくふう。
- ・洋芝，順調に成長。再び，トラックをのぞく校庭全面が緑でおおわれる。
 - ・強風で，体育倉庫の屋根がとぶ。ただちに，修理復元。
- 昭49. 6 ・第1次避難場所に，集合場所の看板を設置。

- 昭49. 9 ・夏季休業中の工事完了。音楽室の2重防音と換気扇の取付け。飼育小屋の建設。
給食室の前室の床、防塵フィルター・網戸の取付け。玄関の水道取付け。砂場の
新設。駐車場のくさり取付け。
・西側通用門内の通路にじゃり敷き。
- 昭50. 2 ・運動場のトラックと芝の境にれんがなどで仕切り取付け。

2. 歴代校長

初代 星野武之 昭和48年4月～現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅から線路ぞいに徒歩10分。二つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の日野市神明上区画整理地域内の呼称が示すように、校舎の北側に少々住宅がたちはじめたほかは、東側、そして南側には、樹木、雑草、畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の95%は、中央線の鉄路でへだてられた西側の台地に居住している。この地域は、こゝ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに分譲住宅という順に急速にふくらんできた町である。あちこちに林があり、樹木が散在するこの地域は児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5kmのところに日野消防署がある。将来、日野市の庁舎をこの地に建て市の中心街とする青写真ができています。また、現在整理中の宅地造成の作業がここ数年のうちに完了すると聞いている。

校舎の東側校地に、これからの人口増を予想した校舎増築の構想ができています。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ○ みんなと仲よく がんばります。 | ○ 心とからだを きたえます。 |
| ○ 深く考えて 学びます。 | ○ いきものを だいじにそだてます。 |

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科

- ムリ、ムダ、ムラのない授業の創造をはかる。（授業の効率化を目ざして～第1段階）
- 学習過程をととして、児童の主体性を育て、思考を高める。（学習～教授過程の改善とくふう）

(2) 道徳

- 指導法にくふうを加えながら、児童の道徳心情と態度の向上をはかる。
- 特に、本校児童の実態から、自主・自律の心、動植物愛護の心、向上心、努力心の向上に重点をおく。

(3) 特別活動

- 児童の自主的、自発的活動の場を設定し、自主、自発の心を育てる。
- 集団活動に、積極的に参加する態度を育てる。

(4) 生活指導

- 安全指導の徹底をはかる。
- 望ましい生活習慣の育成に努める。
- 望ましい友だち関係の育成に努める。

6. 児童数 (昭和50年4月15日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
男	35	38	35	35	38	29	210
女	41	37	33	42	34	29	216
計	76	75	68	77	72	58	426

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	星 野 武 之	51	校 長	48.4.1	経営・国語	
2	大 熊 喜 一	47	教 頭	"	経営・生指	
3	成 井 朝 雄	47	○ 1-1	"	○理科・体育	施設主任
4	加 藤 美知子	25	1-2	"	○算数・家庭	(学校教育相談係)
5	斉 藤 イ ク	66	2-1	"	音楽・家庭	給食主任
6	小 室 恒	30	○ 2-2	"	○社会・国語	視聴覚主任
7	堀 内 美恵子	30	3-1	"	国語	
8	舞 田 章 子	46	○ 3-2	"	図工・体育	保健主任
9	西 田 悦 子	24	4-1	49.4.1	算数・理科	
10	小板橋 五佐男	47	○ 4-2	48.4.1	算数・○道徳	教務主任
11	田 森 脩 詮	47	○ 5-1	"	○国語・算数	図書主任
12	栄 久 子	28	5-2	"	○特活 ○家庭	(教育方法研委員)
13	上 田 憲 二	28	○ 6-1	"	理科・体育	
14	嶋 貫 博	29	6-2	"	○体育・社会	(社会科スライド作成委員)
15	池 田 宏 子	30	音 楽	"	○音楽	
16	岩 崎 正	35	○図 工	"	○図工	生活指導主任
17	佐 藤 麻砂子	25	養 護	"	保健	(教育相談研修員)
18	吉 村 達 也	28	事 務	"	事務	

※ 年令は、昭和51年3月31日現在 ○印は主任

8. 研究主題の推移

昭和48年度	学習環境の整備	～学級経営の創意くふう～
昭和49年度	学習環境の整備	～効率を高めるためのむだのない授業～
昭和50年度	学習環境の整備	～効率を高めるためのむりむだのない授業～

9. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進めている。

開校3年め。児童数426名、12学級、1学級平均約35名という本校は、日野市における最小規模の学校である。開校後1年間で、校庭の芝、プール、フェンス、植樹、体育館と、施設・設備のほとんどが完成した。2年めは、その充実・活用につとめてきた。本年度は、発展を旨とする年である。

小さな学校でも大きく見えるように、ますます児童・父母・教職員がひとかたまりになって学校づくりに励んでいる。

(2) 自然環境に恵まれている。

学校周辺は、区画整理進行中のため住民が少なく、畑地が点在し、灌木の群れも見られ緑が多い。児童朝会のとき、耳をすますと野鳥のさえずりがさわやかに聞こえてくる。南には多摩丘陵、西には奥多摩の山並、富士山なども眺められるすぐれた自然環境である。

(3) 校庭緑化の一環として、校庭に芝が植えられている。

この芝は、ティフトワーフといって、校庭用としてきわめて適切な洋芝だといわれている。さか立ちする子、でんぐりかえしをする子、寝ころんで天を仰ぐ子、走っても歩いてもころんでもふわとしたソフトな感触が返ってくる。緑のマットとなり、時には、緑のじゅうたんとなって子どもたちの心まではぐくんでくれる。

将来を見とおして、校庭に整然と植えられた、いちょう、さくら、ひまらやすぎ、とうじゅうろ、つつじ、さつき、たまいぶきといった樹木と調和して、体育面ではもちろんのこと、情操面でのすぐれた環境となっている。

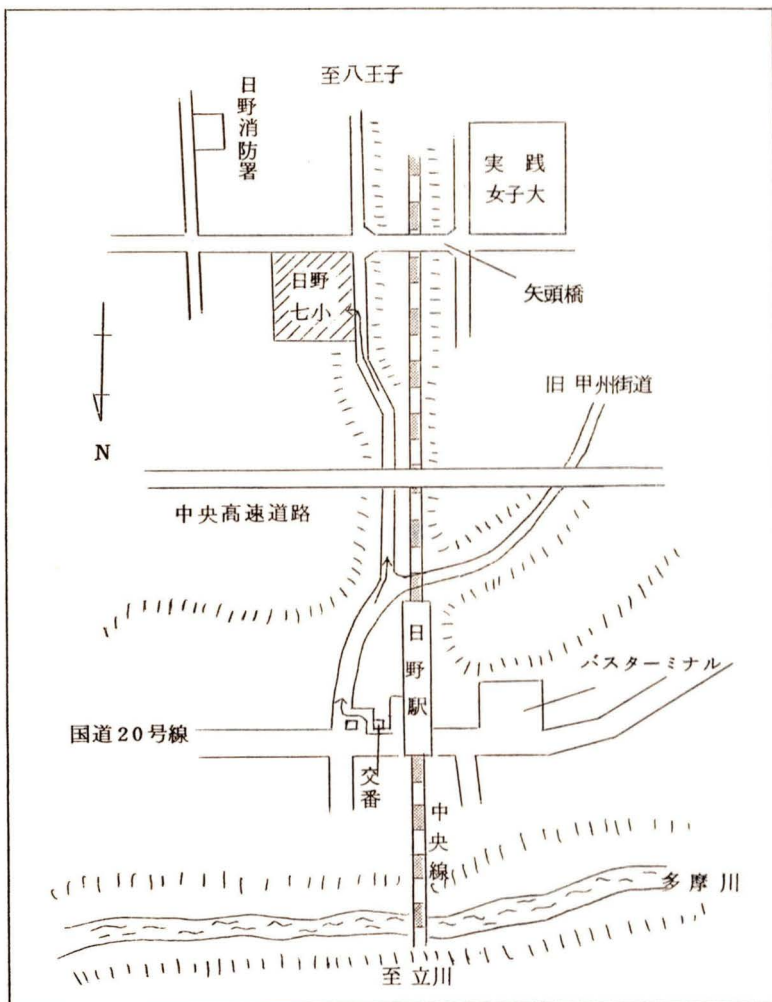
10. 都教育研究員・研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和50年度	岩 崎 正	図 工	研 究 員
昭和48年度	田 森 脩 詮	国 語	〃
昭和45年度	小坂橋 五佐男	算 数	〃
昭和38年度	斉 藤 イ ク	学校給食	〃
昭和36年度	星 野 武 之	生活指導	研究生（東京大学）
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	〃 （ 〃 ）

11. 保護者の職業一覧 （昭和 48年 5月 1日 調査）

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	2	0.7	労 務 従 事 者	59	20.6
専門・技術的職業	61	21.3	サービス業従事者	21	7.3
管 理 的 職 業	33	11.5	農 林 漁 業	0	0
小 企 業 者	28	9.8	そ の 他	9	3.1
事 務 的 職 業	74	25.4	無 職	1	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 八 小 学 校
所 在 地 日 野 市 三 沢 200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線 高幡不動駅より東へ15分

校 長 氏 名 岡 本 省 吾

教 頭 氏 名 和 田 国 平

1. 沿革の概要

昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
- 44. 8. 1 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
- 44. 8. 16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行なう。
- 44. 11. 1 開校式挙行 11月1日開校記念日と決定。
- 44. 11. 25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
- 45. 1. 15 公募により八小の校章決定
- 45. 3. 25 第一回卒業式挙行 56名の卒業生を送る。

昭和45年度

- 45. 4. 1 学級増の14学級となりプレハブ2教室増築。
- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。

- 45. 5. 28 PTA奉仕により校庭の植樹作業を行なう。
- 45. 6. 15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行なった。
- 45. 7. 15 日野第八小学校の校旗ができた。
- 45. 7. 16 25m6コースの新プールが完成し、落成式並びにプール開きを行なう。
- 45. 9. 7 新校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
- 45. 12. 20 校地のまわりの棚が完成した。
- 46. 3. 25 第2回卒業式挙行 67名の卒業生を送る。

昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109名の一年生が入学した。
学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側にプレハブの教室を増築した。
- 46. 4. 10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間体育並びに集会を行なうことにした。
- 46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育研究等に関する他県より本校参観は7件にのぼった。
- 46. 7. 21 市の社会教育のための校庭解放が本年度より実施されるこ

とになった。

- 46. 9.15 体育館工事が開始され、47年1月31日に完成した。
- 46.12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで、練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行なう。市及び市外の参加者約100名で盛会裡に終了した。
- 47. 2.15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
- 47. 3. 6 来年度の学級増に伴なうプレハブ2教室が完成した。
- 47. 3.25 第3回卒業式を新体育館において挙行し、5学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

昭和47年度

- 47. 4. 6 第3回入学式を行ない、159名の一年生が入学した。1学級増の4学級となる。全校児童数は681名で、昨年より3学級増の18学級となった。プレハブ5教室使用。
- 47. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ、年間15回の研究会をもった。
- 47. 6.20 南側丘陵地に600世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約250名の転入者があった。
- 47. 9. 1 本校舎8教室の増築工事が開始され48年3月に完成した。
- 47.10.20 本校南側の程久保川(4m)の改修工事がはじまり、48年5月に完成した。(巾13.5m)
- 48. 3.24 第4回卒業式を挙行し、94名の卒業生を送る。

昭和48年度

- 48. 4. 6 第4回入学式を行ない146名入学、学級数25
- 48. 6.20 日野市教育委員会の授業研究委託研究校となり、本年度の研究の中心を「授業の記録と分析」におき、研究校参観や校内研究等を実施する。
- 48.11.19 創立後はじめての学芸会を体育館で開催した。
- 49. 3. 1 人、車道をわけたモダンな校門が完成した。
- 49. 3.25 第5回卒業式を挙行し、105名の卒業生を送る。

昭和49年度

- 49. 4. 6 第5回入学式を挙行し191名が入学した。学級数25。昨年度より4学級増となりプレハブ5教室を使用する。
- 49. 5.15 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「授業記録をもとに分析する能力を高め、毎日の授業に生かす」におき研究を進める。
- 49. 6.29 VTR一式を購入し、視聴覚教育の充実を図る。
- 49. 8.15 仮設2教室が増設され、図書室及び会議室兼教材室として使用する。
- 49. 8.31 放送機を取り替える。
- 49. 9.10 さく井より都市水道水に切り替える。
- 50. 1.20 校地拡張及びさくの移動。西門通学路の整備完了。
- 50. 2.20 第3期増築工事(普通教室6、教材室2、配膳室3、非常階段)及び付帯工事として職員更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板等が設置された。

2. 歴代校長

氏 名 年 月 ～ 年 月

金 子 武 夫 昭和44.8～昭和48.3

岡 本 省 吾 昭和48.4～ 現 在

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のはぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・4カ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

- (1) 健康でたくましい子
- (2) 美しく、ゆたかな心の子
- (3) 深く考え、やりぬく子
- (4) 力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度の努力点

- (1) きれいな学校
- (2) 明るいあいさつ
- (3) 正しいことば

6. 本年度指導の重点

- (1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア、各教科

- ① 児童の発達段階能力に応じた学習形態をくふうし、ひとりひとりに目標をもたせ意欲的に活動させる。
- ② 考えるための効果的な発問をくふうする。
- ③ 教材、教具の活用を図る。

イ、道徳

- ① 低学年は学校のきまりや礼儀作法を身につけさせる。
- ② 中学年は協力や忍耐について内面的に深める。
- ③ 高学年は責任感を養い、親切を実践させる。

ウ、特別活動

学校生活を豊かにするために、児童の意欲的な活動をする力を育てる。特に学級指導は月別に指導内容を明確にし、学級における好ましい人間関係と健全な生活態度をつくる。

エ、養護・訓練

清潔検査、うがい、手洗い、歯みがきの実践指導を通して児童の発達段階に応じた衛生思想の普及徹底を図る。

- (2) 生活指導

- ① 職員が協力して全児童の生活指導に関心をもち、生活目標の徹底を図る。
- ② 学校内外における安全指導を徹底し無事故を目標として努力する。

(3) 同和教育

本年度の重点

地域の実態を正しく把握する。同和教育問題解決に意欲的に取り組む教師の体制作りと地域社会への啓もう活動に重点をおく。

7. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	5	4	5	4	3	27
男	120	99	89	90	86	64	548
女	108	105	75	93	77	68	526
計	228	204	164	183	163	132	1074

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	教 科	そ の 他
1	岡 本 省 吾	55	校 長	48.4. 1	経 営	
2	和 田 国 平	47	教 頭	50.4. 1	経 営	
3	渡 辺 和 子	33	1 - 1	48.4. 1	家 庭	研究
4	飯 田 幸 次	53	1 - 2	44.8.16	算 数	教務主任
5	松 崎 千恵子	49	1 - 3	49.4. 1	音 楽	学年主任
6	秋 山 照 子	33	1 - 4	46.4. 1	図 工	図書館
7	長 田 裕 子	39	1 - 5	44.8.16	家 庭	視聴覚
8	則 友 圭 子	36	1 - 6	50.4. 1	国 語	庶 務
9	安 斎 満里子	43	2 - 1	50.4. 1	社 会	庶 務
10	伊 藤 量 子	22	2 - 2	50.4. 1	算 数	保 健
11	平 山 毅	42	2 - 3	45.4. 1	道 徳	学年主任
12	中 川 元 美	33	2 - 4	47.4. 1	理 科	生 活
13	中 島 寿 子	32	2 - 5	48.4. 1	社 会	給 食
14	矢 作 道 子	27	3 - 1	49.4. 1	理 科	教 務
15	浜 辺 和 子	20	3 - 2	50.4. 1	算 数	生 活
16	近 藤 正 晴	46	3 - 3	44.8.16	国 語	学年主任
17	池 田 康 雄	25	3 - 4	48.4. 1	理 科	研 究
18	水 谷 辰 夫	24	4 - 1	48.4. 1	社 会	庶 務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	教 科	そ の 他
19	石 川 耀 子	42	4 - 2	49.4. 1	体 育	保健主任
20	佐 藤 章 吾	50	4 - 3	44.8.16	社 会	生活指導主任
21	渥 美 秀 子	31	4 - 4	49.4. 1	算 数	図書館
22	橋 本 允 子	34	4 - 5	45.4. 1	国 語	図書館
23	安 室 清 治	27	5 - 1	46.4. 1	体 育	生 活
24	小 沢 信	45	5 - 2	50.4. 1	道 徳	視聴覚
25	内 藤 康	41	5 - 3	44.8.16	体 育	教 務
26	比 企 通 男	30	5 - 4	50.4. 1	体 育	生 活
27	柳 沼 敏 夫	49	6 - 1	44.8.16	理 科	学年主任
28	伊 藤 フサ子	36	6 - 2	48.4. 1	国 語	給 食
29	間 瀬 静 夫	28	6 - 3	48.4. 1	体 育	生 活
30	北 原 恒 雄	26	音 楽	49.9. 1	音 楽	教 務
31	市 川 忝 子	46	音 楽	47.4. 1	音 楽	研究主任
32	小 島 シ ゾ	62	図 工	44.8.16	図 工	業 間
33	長 浜 和 子	33	家 庭	44.8.16	家 庭	教 務
34	佐 藤 ヒサ子	32	養 護	50.4. 1	養 護	保 健
35	郷 原 敦	30	主 事	44.8.16	事 務	事務主任
36	伊 佐 弘 江	40	休 職	44.8.16	養 護	

9. 本校研究主題の推移

昭和44年度	体育科の効果的指導法の研究
昭和45年度	授業の効率を高める体育指導
昭和46年度	日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。 研究テーマ 「授業の効率を高める体育指導」 “機械運動を中心にカードの作成と活用”
昭和47年度	○ 教材教具の効果的な活用 ○ 授業の効率を高める体育指導 練習カードの作成と活用
昭和48年度	○ 教材教具を効果的に活用する授業研究
昭和49年度	○ こどもがよろこんで楽しく学習するように指導するにはどうしたらよいか (授業分析)
昭和50年度	○ こどもが主体的に学習できる授業のくふう。

10. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力を入れている。校章をかたどった花壇，顔がうつるくらいに磨きあげられた床などは自慢できる特色である。
- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中にありながら，体位体力は全国平均より劣っていた。そこで創立以来，「たくましいからだづくり」を目標にかかげ，体育の授業，業間体育などの研究に力を入れ，年々向上している。
- (3) 600世帯の西武団地の完成に伴ない，年間200名あまりの転入生があった。児童数は創立当時の2倍になり，なお増加中である。

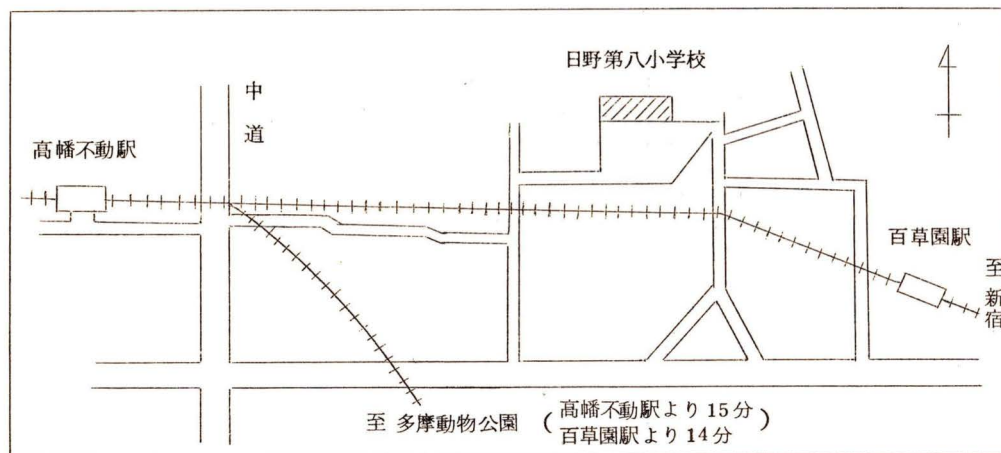
11. 都教育研究員

45年度	内 藤 康	「授業の効率を高める体育指導」
47年度	近 藤 正 晴	「疑問をもちながら読む読書指導」
48年度	平 山 毅	道 徳
49年度	内 藤 康	「体育」研究派遣生

12. 保護者の職業一覧

職 業 分 類	家庭実数	%	職 業 分 類	家庭実数	%
専 門 的 技 術 者	67	8.4	商 工 業 従 事 者	47	7.3
経 営 管 理 者	97	17.2	農 林 漁 業 従 事 者	13	1.6
一 般 事 務 従 事 者	367	48.4	サ ー ビ ス 業	18	2.2
公 務 員	73	9.1	そ の 他	12	1.5
保 安 サ ー ビ ス 業	6	0.6	無 職	3	0.3
運 輸 業	35	3.9			
技 術 従 事 者	58	4.5	計	796	100

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 百 草 台 小 学 校
所 在 地 日 野 市 百 草 999
電 話 0425-91-0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行き
バスにて5分 百草センター下車

校 長 氏 名 村 田 安 正

教 頭 氏 名 松 日 榮 敬 治

1. 沿革の概要

昭44. 8 校舎新築起工
44.12. 1 日野市立潤徳小学校百草台
分校として潤徳小校内で授
業開始。
45. 4. 1 日野市立百草台小学校とし
て新校舎に移転開校する。
学級数8, 児童数118,
教職員16, 市職員3
45. 6. 1 開校式挙行, 6月1日を開
校記念日とする。
45. 9. 1 高幡台団地の入居により児
童数増加296名となり, 学
級数11, 教職員17となる。
46. 3. 8 校旗, 校歌発表会を開き3
月8日を制定記念日とする。
46. 3.25 第一回卒業式挙行
卒業生 34名
46. 4. 1 社会増による教室不足のためプレハブ6教室増設
46. 4. 6 児童数604, 学級数16,
教職員23, 市職員3となる。
46. 4.30 校地北側の埋立工事完了
46. 7.31 プール工事完了, 大プール
小プール, シャワー, 更衣
室, 機械室等竣工
46.12.15 体育館新築工事着工
47. 1.31 給食調理室および周辺の舗
装工事竣工
47. 2.12 調理室火入れ式挙行, 調理開始
47. 3.25 第二回卒業式挙行
卒業生 44名
47. 3.31 高幡台小学校の新設にとも
なう学区変更により高幡台

団地および周辺の児童は高
幡台小学校へ転校。
昭47. 4. 1 高幡台小学校の新設により
児童数416, 学級数12,
教職員18となる。
47. 6.17 体育館落成式挙行。
48. 1.31 図工室南側と北側に花だん
竣工
48. 2. 1 投てき板が完成
48. 3.17 校庭南の土手につつじ園が
完成
48. 3.24 第三回卒業式挙行
卒業生 43名
48. 4. 6 児童数463, 学級数13
48. 9.26 校舎増築工事開始
49. 3.25 第4回卒業式挙行 卒業生
39名
49. 3.31 増築7教室竣工
49. 4. 6 児童数541, 学級数16
教職員数24名
50. 3.25 第5回卒業式挙行
卒業生 48名
50. 4. 7 児童数613名 学級数17
職員数25名

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～	年 月
初代 岡本 省吾	45.4.1	～	48.3.31
2代 村田 安正	48.4.1	～	現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりにはまだ緑も多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクレーションの人々でにぎわう。

自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

- 元気で じょうぶなこども
- 進んで 働くこども
- よく考え 正しいことをやりぬくこども
- 思いやりがあり 助け合っていくこども

5. 指導の重点

- 各教科
思考力を高めるための授業に重点をおく。
- 道徳
利己的なせまい考えをすてて、他人のことを思いやる精進を養い、その実践化をはかる。
- 特別活動
児童活動と学級指導に重点をおき指導計画の実践につとめる。
- 生活指導
 - ・ 集団生活のエチケットをきびしく教え、社会生活の秩序と協力の精神を養う。
 - ・ 学校美化、清掃をととして公共物愛護と勤労の精神を養う。

6. 児童数 (50.5.1現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	4	4	2	3	2	2	17
男	79	79	50	56	33	31	328
女	81	57	37	37	46	27	285
計	160	136	87	93	79	58	613

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	村 田 安 正	53	校 長	48.4.1	経 営	
2	松日楽 敬 治	49	教 頭	50.4.1	経 営	
3	菊 池 悦 子	34	1 - 1	45.9.1	国 語	評 価
4	藤 井 泰 蔵	25	1 - 2	50.4.1	国 語	学校環境

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
5	村 松 徹 二	48	1 - 3	46.4.1	理 科	教務主任
6	根 上 節 子	28	1 - 4	45.4.1	国 語	学校環境
7	幸 野 嘉 子	49	2 - 1	46.4.1	算 数	教務, 補教割当
8	若 月 美登里	24	2 - 2	49.4.1	理 科	学校環境
9	田 中 鈴 子	27	2 - 3	48.4.1	国 語	準保関係
10	中 川 和 代	26	2 - 4	48.4.1	社 会	教科書事務
11	肥 高 重 男	48	3 - 1	45.4.1	生活指導	教育相談
12	山 浦 幸 子	37	3 - 2	50.4.1	算 数	給食事務
13	信 夫 頼 子	30	4 - 1	46.4.1	図 工	図書館
14	永 井 一 郎	39	4 - 2	49.4.1	理 科	代表委
15	大 羽 かほる	27	4 - 3	49.4.1	国 語	生活指導主任
16	荻 沢 モト子	48	5 - 1	45.4.1	図 書	給食主任, 安全
17	佐 藤 昭 彦	40	5 - 2	49.4.1	体 育	教務, 備品
18	鈴 木 淳 子	24	6 - 1	49.4.1	音 楽	放送, 安全
19	三 浦 勝 也	46	6 - 2	49.4.1	特 活	研修主任
20	千 台 健 治	24	理 科	49.4.1	理 科	視聴覚
21	飯 島 睦 子	34	音 楽	49.4.1	音 楽	教務
22	佐 藤 カズ子	29	図 工	45.4.1	図 工	入退事務
23	佐々木 加津子	43	養 護	45.4.1	保 健	庶務主任 PTA担当
24	浜 田 洋 一	34	事 務	48.4.1		管財事務
25	斉 藤 茂	44	組合専従	45.4.1		

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	作文指導の系統
昭和47年度	作文の力をのばす指導
昭和48年度	考える力をつけるための授業
昭和49年度	授業を通して思考力を高める
昭和50年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方

9. 本校の特色

在学児童のおよそ95パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区域がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

開校以来5年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年2

～3学級増の見込みで、数年先には、30学級からの大規模校となる見通しである。激変する本校では教育上の内容、環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。なお50年度は校舎増築を予定している。

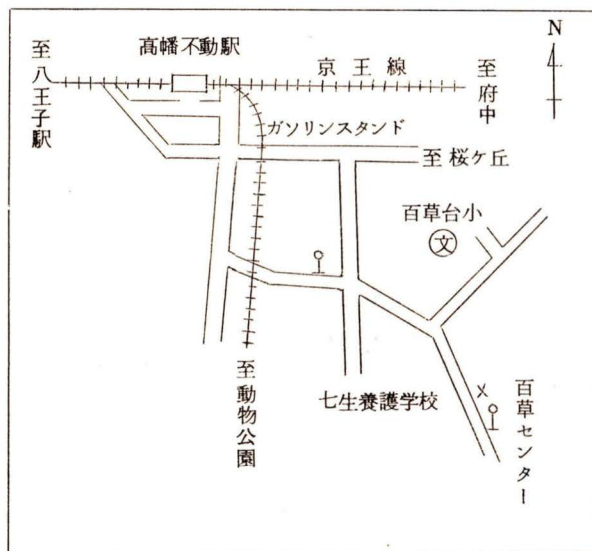
10. 都教育研究員，研究生歴

区 分	年 度	教科・領域	氏 名	場 所
研 究 員	37年度	社 会	村 田 安 正	都 研
派 遣 生	37年度	理 科	永 井 一 郎	学 大
研 究 員	41年度	理 科	村 松 徹 二	都 研
研 究 員	45年度	特 活	三 浦 勝 也	都 研
研 究 員	49年度	保 健	佐々木 加津子	都 研
現代化委員	49年度	理 科	松日楽 敬 治	都 教 委

11. 保護者の職業一覧

職 業	自 由 業				勤 め 人				無 職
	商 業	工 業	自由業	その他	会社員	公務員	各 種 人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.6	15.4	6.0	4.7	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 滝 合 小 学 校
所 在 地 日 野 市 西 平 山 2 の 3 の 1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校 長 氏 名 鈴 木 英 夫

教 頭 氏 名 深 尾 真

1. 沿革の概要

- 昭46.4.1 平山2720番地に開校
(学校長 峰岸敬次郎
児童728人 20学級)
- 46.6.1 開校記念日
- 46.12.1 校章、校歌制定
- 47.2.25 落成式挙行

2. 歴代の校長

1. 峰岸敬次郎 昭46.4～昭50.3
2. 鈴木 英夫 昭50.4～現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川の北側に点在する静かな農家をはさんで浅川よりに平山団地、中央線沿いに鉄道官舎がならび、新旧入りみだれた景観をもっているのが本校の学区である。
- (2) 中央線北側の住宅地域も一部分学区域に加わり、田んぼに囲まれた学校付近とは相対した様相をなしている。しかし、学校西側には宅地造成も始まり、やがて住宅に囲まれた学校に生まれ変わるであろう。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

ア. 特別教室、資料室等の利用を有効に教材教具を効果的に使用する指導法の研究をする。

イ. 授業研究を自主的におし進め、特に体育の授業を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

(2) 道徳

ア. 人命はもちろん、動植物の生命を尊重し、それに基づく健康の増進と安全教育に努力する。

イ. たがいに信頼し、協力し合い、実践活動を重視する。

ウ. やさしい心をもって、動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

ア. 生活指導、保健、給食指導等と密接な連絡のもと、職員共通理解の上に立って活動を進める。

(4) 生活指導の重点

ア. 日々の授業はもちろん、各種の集会等において、時間を守る。すなわち時をたいてつにすることを身につけさせる。

イ. 学校と家庭の連絡を密にして、安全対策、生活指導を進める。

ウ. 自分の所有物をはじめ学校の公共物や建築物等にいたるまで、ものをたいせつにする習慣の形成をはかる。

6. 児童数と学級数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	5	5	5	5	5	4	29
男	110	109	106	106	89	88	608
女	97	85	93	104	93	64	536
計	207	194	199	210	182	152	1,144

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	鈴 木 英 夫	52	校 長	50.4.1	経 営	
2	深 尾 真	51	教 頭	50.4.1	経 営	
3	赤 松 昭 子	31	1 - 1	46.4.1	図 工	児・厚生
4	野 村 るり子	24	1 - 2	48.4.1	図 工	教科書
5	槇 圭 子	28	1 - 3	48.4.1	音 楽	教育調査
6	内 藤 洋 子	31	1 - 4	48.4.1	図 工	校 具
7	橋 本 清	49	1 - 5	46.4.1	体 育	営 繕
8	石 井 和 子	47	2 - 1	49.4.1	社 会	給 食
9	秋 野 美津子	28	2 - 2	46.4.1	音 楽	校 具
10	小笠原 本 江	33	2 - 3	46.4.1	理 科	生活指導
11	伊 礼 道 子	33	2 - 4	46.4.1	図 工	給 食
12	岩 尾 照 夫	46	2 - 5	48.4.1	算 数	生活指導
13	渡 辺 か ほ	39	3 - 1	46.4.1	国 語	図書館
14	木 村 貴 子	30	3 - 2	50.4.1	国 語	図書館
15	鈴 木 ナヲ	54	3 - 3	47.4.1	社 会	児・転出入
16	野 崎 賛	29	3 - 4	49.9.1	算 数	施 設
17	清 水 輝 夫	58	3 - 5	46.4.1	道 徳	教務, 給食集金
18	柿 沢 鎮 子	45	4 - 1	46.4.1	社 会	学級指導
19	熊 谷 三 起	51	4 - 2	46.4.1	図 工	教育調査
20	田 辺 友 子	27	4 - 3	50.4.1	算 数	教室備品
21	小 林 桂 子	24	4 - 4	48.4.1	家 庭	教室備品
22	芦 沢 美知子	24	4 - 5	49.4.1	家 庭	児・転出入
23	西 田 敦 子	36	5 - 1	46.4.1	国 語	図書館
24	愛 甲 秀 人	27	5 - 2	47.4.1	理 科	視聴覚

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
25	矢 島 道 子	31	5 - 3	49.4.1	理 科	教科書
26	田 中 健	23	5 - 4	50.4.1	体 育	一般備品
27	山 口 武 彦	43	5 - 5	46.4.1	社 会	学校行事，補教
28	伊 藤 恵 造	49	6 - 1	46.4.1	社 会	教 務
29	小田切 みさき	23	6 - 2	49.4.1	道 徳	校 具
30	川 井 龍 介	31	6 - 3	46.4.1	体 育	児童活動
31	川 上 美穂子	38	6 - 4	46.4.1	国 語	視聴覚
32	鳥 飼 政 喜	51	図 工	46.4.1	図 工	教育計画，補教
33	村 越 正	39	理 科	46.4.1	理 科	視聴覚
34	岡 田 あつ子	26	音 楽	47.4.1	音 楽	公文書
35	萩 原 章 子	29	家 庭	50.4.1	家 庭	教室備品
36	田 島 佳 子	33	保 健	46.4.1	養 護	保 健
37	藤 井 悦 子	27	事 務	47.4.1	事 務	事 務

8. 研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには，その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室，資料室等の利用を有効に，教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

昭和48年度

授業研究を自主的におし進め，児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和49年度

授業研究を自主的におし進め，特に体育の授業を重点的にとりあげ，児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和50年度

児童の創造性，思考力の発展をめざし，各教科における系統的，効果的な指導法の研究を深め，授業研究をとおして児童ひとりひとりが主体的に学習を進められるような授業をめざす。

9. 本校の特色

- (1) 校地面積21,391㎡という中学校なみの広さに，二の字型のA棟B棟と音楽，図工室は各2を備え，市のモデル校的存在になっている。
- (2) 児童は全般的に素朴，純情，素直さ等の美点をもつ反面，一部の児童の中には粗野，粗雑な面がある。

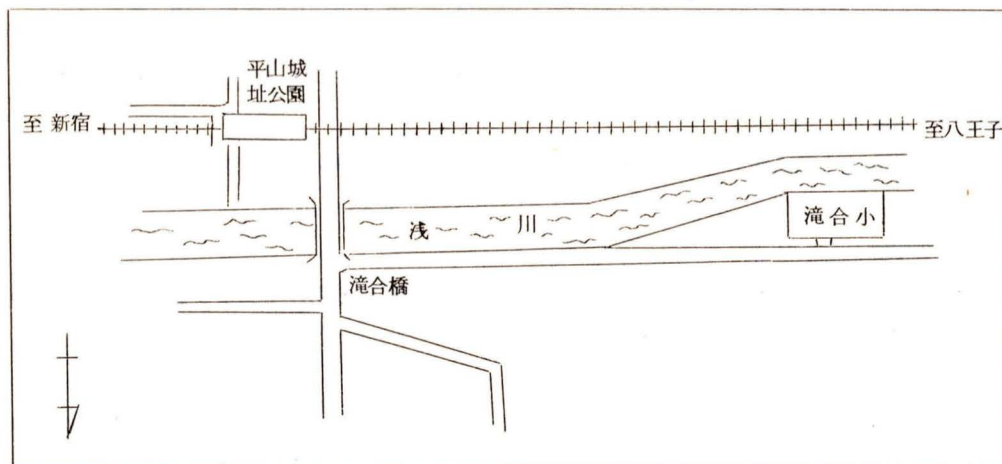
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	都研究員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	都研究生（都研究所）
昭和48年度	岩 尾 照 夫	算 数	都研究生（学芸大）

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
農 業	3	0.3	会 社 員	521	60.5
工 業	21	2.4	医 師	7	0.8
商 業	38	4.4	公 社 職 員	61	7.0
運 輸 交 通 業	36	4.1	そ の 他	55	6.3
国 家 公 務 員	29	3.3	無 、 職	3	0.3
地 方 公 務 員	87	10.1	計	861	99.5

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 高 幡 台 小 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 550
電 話 0425-91-7011
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 高幡台団地下車

校 長 氏 名 手 代 木 和 夫

教 頭 氏 名 渋谷 義 一

1. 沿革の概要

- 昭46. 8. 7 校舎新築工事起工
47. 3.10 校舎完成
47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校。
鉄筋三階建校舎 普通教室
12, 特別教室4, 特別室9,
学級数12, 児童数402名,
教職18名, 市職員2名
47. 5.27 高幡台小学校PTA設立総会
47. 6.24 開校式
本日を開校記念日とする。
47. 8. 1 プール完成, プール開き挙
48. 2.24 校旗, 校歌制定
48. 3.24 第1回卒業式
卒業生 男18, 女15,
計33
48.10. 6 体育館落成式, 体育選手模
範演技
49. 3.25 第二回卒業式
卒業生 男18, 女28
計46
49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室9, 図書室1, 職
員室改造工事
50. 3.25 第三回卒業式
卒業生 男29, 女26
計55

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～	年 月
平 松 健太郎	昭47.4.1	～	50.3.31
手代木 和 夫	50.4.1	～	現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校および団地から眺められる景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にいそしむ農家の人々もあり、静かなよい環境といえる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・あたたかい心で 助け合うこども
- ・よく考え、自分からやりぬくこども
- ・働くことのすばらしさを身につけたこども
- ・健康で明るいこども

- ① すけあう子
- ② んがえる子
- ③ たらく子
- ④ くましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童の発達段階にあわせて学年目標を作成し、実践化を推進する。

学校目標の評価を具体的、数量的に表わし、教育目標改善の資料を作成する。

指導の重点を「あたたかい心で助け合う子ども」とし、授業研究を通して指導の徹底化をはかる。

事務の合理化をはかり、職員研修につとめ、教育効果の向上につとめる。

5. 指導の重点

ア、教科

- みんなが助け合って楽しく学習できるよう学級づくりをくふうする。
- ひとりひとりが学習に興味をもち、よくわかる授業とするために授業研究を推進する。
- 計画、指導、評価を一元化し、指導の効率を高める。

イ、道徳

「あたたかい心で助け合う子ども」に主題をおき、重点的に指導する。

視聴覚教材の利用等を積極的に行ない、指導の効率を高める。

ウ、特別活動

クラブ活動、児童会活動等の児童活動における他学年との交流を盛んにし、助け合う心を育てる。

エ、生活指導

「学校のきまり」をみんなが大切にし、楽しい学校生活が送れるようにする。

情操豊かな子どもを育てるために明るい学校、清潔な学校づくりをめざした指導を重視する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	4	4	3	3	2	21
男	94	70	72	47	52	31	366
女	89	83	64	44	46	30	356
計	183	153	136	91	98	61	722

7. 教職員

番号	氏名	年令	担任	本校就任年月日	研究教科	校務分掌
1	手代木 和 夫	57	校長	50.4.1	理科	
2	渋谷 義 一	48	教 頭	47.4.1	理科	
3	末 継 逸 夫	50	1 - 1	47.4.1	社 会	教務主任
4	岩 崎 英 夫	23	1 - 2	50.4.1	算 数	教 務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
5	渋谷 範 子	28	1 - 3	47.4.1	道 徳	教務
6	本 間 幸 子	26	1 - 4	48.4.1	図 工	給食主任
7	玉 置 順 子	29	1 - 5	50.4.1	算 数	給食
8	村 越 裕 子	39	2 - 1	47.4.1	国 語	図書
9	佐 藤 慎 一	25	2 - 2	48.4.1	算 数	生活指導
10	鈴 木 園 子	26	2 - 3	47.4.1	国 語	生活指導
11	安 西 利 江	32	2 - 4	47.4.1	算 数	生活指導
12	坂 口 田鶴子	54	3 - 1	50.4.1	国 語	庶務主任
13	松 沢 千枝子	25	3 - 2	49.4.1	算 数	給食
14	赤 井 光 子	29	3 - 3	47.4.1	図 工	図書, 教務
15	土 方 邦 男	30	3 - 4	47.4.1	音 楽	教務
16	岡 善 実	45	4 - 1	48.4.1	社 会	教務
17	青 柳 佳 子	30	4 - 2	47.4.1	社 会	生活指導
18	増 田 静 香	26	4 - 3	47.4.1	国 語	給食
19	川 上 卓 一	28	5 - 1	49.4.1	理 科	生活指導
20	貝 沢 道 子	25	5 - 2	49.4.1	国 語	教務
21	佐久間 久美子	44	5 - 3	49.4.1	理 科	教務
22	中 村 笙 子	33	6 - 1	47.4.1	国 語	図書
23	須 藤 貞 雄	50	6 - 2	49.4.1	体 育	教務
24	江 口 耕 一	42	理 科	49.4.1	理 科	生活指導主任
25	河原田 桂 子	43	音 楽	47.4.1	音 楽	生活指導
26	辻 田 六 郎	61	図 工	47.4.1	図 工	保健主任
27	山 口 重 雄	26	体 育	50.4.1	体 育	庶務
28	細 井 聖 子	50	保 健	47.4.1	養 護	保健
29	石 田 義 一	41	事 務	47.4.1	事 務	事務
30	岡 江 フミ子	26	休 職	47.4.1		

8. 研究主題の推移

昭和47年度	資料の整備と活用
昭和48年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について
昭和49年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究
昭和50年度	・「あたたかい心で助け合う子ども」の育成について ・授業研究

9. 本校の特色

- ・団地校であることから、家庭の生活程度が平均している。児童の知能程度も比較的高い。反面に閉鎖的で協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を旨として研究を進めようとしている。
- ・開校四年目で整備されていない面が多く、将来の校舎増築などとも関連して、継続的、計画的な校内の環境整備が望まれている。一つずつ整備につとめている。

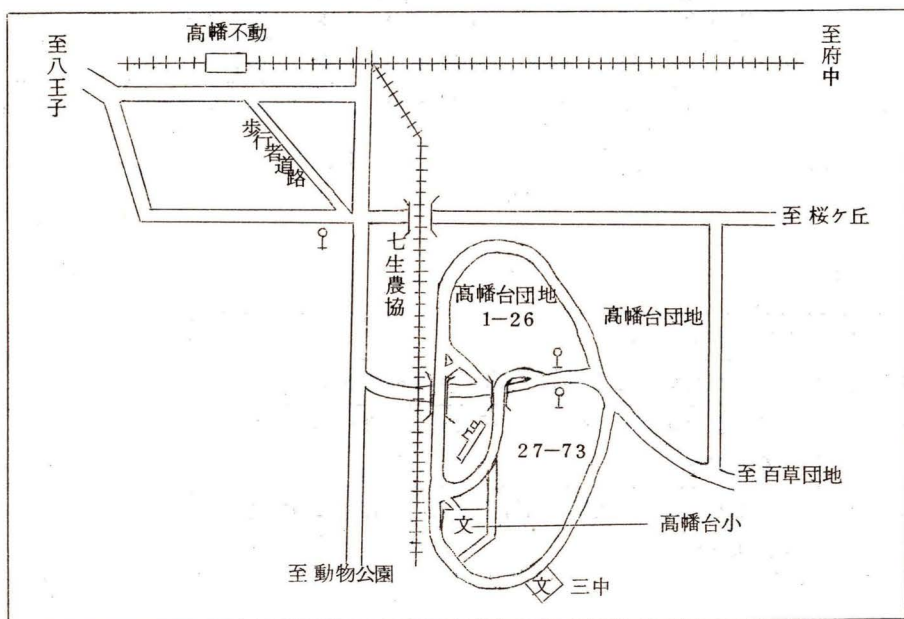
10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和40年度	末 継 逸 夫	特殊教育	研 究 員
昭和41年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義 一	理 科	研 究 生

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	413	70	報 道 関 係	19	3
公 務 員	37	5	各 種 技 師	18	3
教 員	20	4	会 社 役 員	17	3
運 輸	23	4	団 体 職 員	9	2
工 員	3	1	そ の 他	11	2
自宅商・自宅工	17	3	計	583	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 南 平 小 学 校
所 在 地 日 野 市 南 平 230
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩10分

校 長 氏 名 黒 沢 保 雄

教 頭 氏 名 古 谷 洋 太

1. 沿革の概要

- 昭48.12.17 日野市教育委員会において
南平小学校設置を決定。
- 48.12.26 日野市議会において、南平
小学校設置を可決。
- 48.12 ～ 仮称「南平小学校」開設準
備委員長に潤徳小星野正男
校長以下11名の委員を決定。
潤徳小PTAと協力し、小
委員会を20数回にわたり開
催開校諸準備をすすめる。
49. 2.19 仮設校舎の建設着工
49. 3.25 仮設校舎完成。プレハブ教
室11、音楽室1、校長・
事務室1、職員室1、教材
室1。他に潤徳小新館に4
教室。更に保健室、用務員
室をクラブハウスに設置。
49. 4. 1 日野市立南平小学校開校。
学級数15、児童数535名、
教職員22名、市職4名
49. 4. 5 仮設校舎校地整理完了。
49. 4. 6 第1学期始業式、第1回入
学式挙。新1年122名
49. 5. 4 本校舎工事着工。総工費
22,0166万円。敷地面積
26535㎡。鉄筋コンクリ
ート四階建 防音校舎
4,456㎡
49. 5.22 南平小学校PTA設立総会
開催。
- 7.10 校樹として「スズカケの木」
を決定。校旗・校章図案の
もととする。

- 昭49.11.15 本校舎完成 普通教室20、
特別教室5（理、音、家、
図、図書）、その他保健室
給食室、校長室、職員室、
事務室、用務員室等。
- 11.22 校歌、校旗、校章の制定お
よび発表会を潤徳小体育館
にて挙。当日を本校開校
記念日として制定。
- 11.29 本校舎へ移転。
- 11.30 校庭（運動場）整備完了、
進入路舗装完了、正門・フ
ェンス取付完了。全児童登
校授業開始。
- 12.31 体育館完成。
50. 2.14 校舎、体育館落成式挙。全
記念行事、全祝賀会挙。全
- 3.25 第1回卒業式挙。卒業生
67名
- 3.31 校庭、花だんへ植樹
4. 7 第2回入学式挙。入学児
童118名
- 4.30 大小プール完成

2. 歴代校長

黒 沢 保 雄 昭49.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、
前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なん
べいだい）、みなみが丘、鹿島台、川崎街道
をはさんで南平中（なか）、下（しも）（昔か
らの唯一の集落）、京王線と浅川ぞいにはさ
まれた向島の六地区で構成され、比較的まと

まった学区域であり地区の把握がしやすい。南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然材あり、田畑、果樹園等自然条件にめぐまれ、西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、教育的環境としては最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自然性・創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行なう。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 教職員の学校経営への積極的参加をととして、教師、児童の自発性、創造性を高め、よい校風づくりをはかる。
- たくましい心身を育てる教育環境づくりをすすめる。
- 「考えさせる授業」をととして、教育内容・方法の改善をはかる。
- 教師、児童の心の交流をととし、情操豊かで、最後までやりぬく子どもの育成をはかる。

5. 指導の重点

(1) 各教科

- 「考えさせる授業」の指導法をくふうし、目標、内容、方法の一貫化と教材教具の整備活用をはかる。
- 児童の自発的学習意欲を高めるくふうをする。

(2) 道徳

- 人間尊重の精神を根本におき、おもいやりの心をたいせつにする指導を計画的にすすめる。
- 各教科、領域との連けいを深め、内面化、実践化をはかる。

(3) 特別活動

- 実践活動をととして、よい校風づくりに児童の自発性、創造性をうながす指導をすすめる。
- 児童が積極的に楽しく参加できる特別活動の全体計画を樹立する。

(4) 生活指導

- 明るく清潔な学校をめざした指導をすすめる。
- 「学校のやくそく」をみんながたいせつにし、主体的に行動する子どもを育成する。
- 安全生活に心がけ、けがのない日、事故のない日をめざし、くふうする。

6. 児童数 (50.4.10現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	2	3	3	2	16
男	68	66	43	56	48	32	313
女	50	57	35	45	52	38	277
計	118	123	78	101	100	70	590

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	黒 沢 保 雄	50	校 長	49.4.1	社 会	
2	古 谷 洋 太	49	教 頭	49.4.1	理 科	
3	金 井 信 房	60	1-1	49.4.1	図 工	財務
4	杉 田 佳代子	24	1-2	49.4.1	国 語	視聴覚
5	和 田 いさを	33	1-3	49.4.1	視 聴 覚	視聴覚主任
6	藤 田 孝 彦	43	2-1	50.4.1	生活指導	生活指導主任
7	高 橋 昭 子	49	2-2	49.4.1	音 楽	給食主任
8	宇 土 悦 子	31	2-3	49.4.1	理 科	給食
9	清 水 征 子	31	3-1	49.4.1	理 科	生活指導
10	坂 井 和 子	51	3-2	49.4.1	図 書 館	図書館
11	清 水 七 郎	44	4-1	49.4.1	特 活	研究指導主任
12	杉 本 順 一	23	4-2	50.4.1	体 育	生活指導
13	当 間 糸 子	45	4-3	50.4.1	図 書 館	図書館主任
14	佐々木 守 夫	45	5-1	50.4.1	体 育	保健主任
15	坂 本 富 子	28	5-2	49.4.1	理 科	生活指導
16	進 真 郎	48	5-3	49.4.1	体 育	教務主任
17	逸 見 政 一	37	6-1	49.4.1	体 育	財務主任
18	河 村 令 子	27	6-2	49.4.1	算 数	図書館
19	村 上 悦 子	38	音 楽	49.4.1	音 楽	視聴覚
20	加 納 博 之	47	図 工	49.4.1	図 工	教務
21	塚 本 純 子	31	家 庭	49.4.1	家 庭	庶務
22	土 屋 良 子	22	養 護	49.4.1	保 健	保健
23	田 辺 正 志	28	事 務	49.4.1	事 務	事務

8. 研究主題の推移

昭和50年度

9. 本校の特色

- (1) 児童、父母ともに学校を信頼し、協力的である。
- (2) 児童、父母の経済的、社会的地位が比較的安定しており、要・準保護家庭がすくない。

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

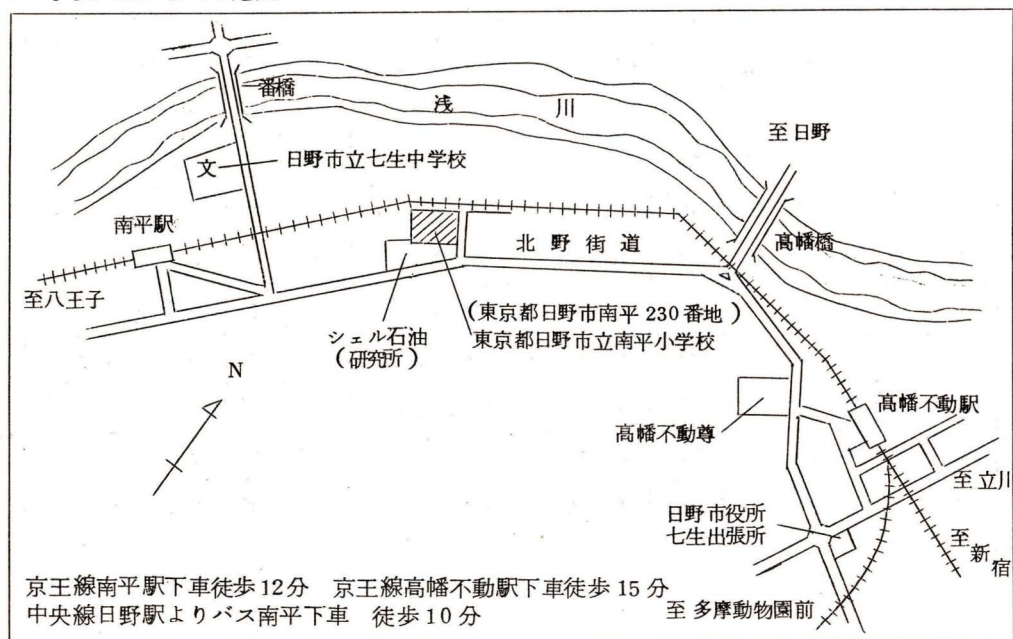
年 度	氏 名	教科領域	研究員、 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研究員、 研究生別
昭和35年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 生	昭和47年度	清水 七郎	特 活	研 究 員
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 員	昭和45年度	古谷 洋太	図 工	研 究 員
昭和42年度	坂井 和子	教育方法 (図書館)	研 究 員	昭和48年度	藤田 孝彦	特 活	研 究 員
昭和45年度	村上 悦子	音 楽	研 究 員				

11. 保護者の職業一覧

49. 5調べ

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会 社 員	217	54	各 種 技 師	12	3
公 務 員	41	10	会 社 役 員	16	4
教 員	13	3	団 体 職 員	7	2
運 輸	18	4	農 業	9	2
工 員	5	1	建 設 業	16	4
自 宅 商・工	33	8	そ の 他	9	2
報 道 関 係	9	2			
サ ー ビ ス 業	3	1	合 計	408	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 一 中 学 校

所 在 地 日 野 市 日 野 2 6 1 4

電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 0 9

順 路 国 電 日 野 駅 下 車 徒 歩 1 0 分

校 長 氏 名 東 恭 朝

教 頭 氏 名 佐 野 和 夫

1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置認可
日野中学校と称する。
23. 3.24 第一回卒業式挙行（卒業生
43名）
24. 4. 1 校歌制定
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改
称
32. 3.22 校旗制定
37. 1.17 標準服実施の決定、37年度
より実施
37. 9.17 新校舎（鉄筋防音）落成
38. 9. 9 プール落成
- 38.11. 3 日野市制施行、市立日野第
一中学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
- 42.11. 4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付
- 44.10.23 プレハブ校舎完成
46. 6.30 校庭夜間照明灯設置
（社会教育）
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2.29 体育館への渡り廊下建設
48. 3.10 校舎増築（普3、特別2）
完成、特別教室への渡り廊
下完成
49. 6.30 プール循環装置完成
- 49.10.26 プール脱衣所完成
50. 3.20 第28回卒業式挙行（卒業生
281名、通算7399名）
50. 3.26 体育倉庫完成
50. 4.12 プレハブ二階建校舎完成

2. 歴代校長

- 初代 町田勘之助 昭22. 4 ~ 25.9（死去）
- 2代 飯塚 節三 25.10 ~ 37.3
- 3代 大沢 彰 37. 4 ~ 40.3
- 4代 大沢 量作 40. 4 ~ 45.3
- 5代 安部 達郎 45. 4 ~ 49.3
- 6代 東 恭朝 49. 4 ~ 現 在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第
四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が
発達し甲州街道ぞいの宿場町として栄えて来
た。近年郊外の住宅、工場（羽田ヒューム管、
雪印乳業、オリエント時計）、特に中小企業
家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

なお、日野市の中心地区として、市役所、
警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に農
林省、水産（淡水）研究所、蚕業研究所があ
る。

4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、真
理と平和を求める人間となるために学び、希
望に満ちた社会をめざしてつぎの目標を定め
ます。

- (1) よく考え、やりぬく人（主体性）
- (2) 協力し、全体につくす人（連帯性）
- (3) 心豊かで 思いやりのある人（人間性）
- (4) 進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標達成のための基本方針と指導の重点

(1) 基本方針

- 教育内容の組織 思考力や創造力の育成をめざし、基本事項の精選，集約化をはかる。
- 授業時数の配当 自主的な態度，社会連帯の精神・豊かな心情と積極的な体力の育成をめざし特別活動，音楽，美術は，標準時数以上を実施する。
- 指導方法 自発的態度を助長し，思考力を育成するため，表現や発表の機会を常にとり入れる。
- 諸条件の整備 教育内容の組織化と効率化をめざし，教育機器の活用を検討する。

(2) 指導の重点

① 各教科

- 積極的に学習する姿勢を育てる。
- 発表の場や表現の機会を多くする。
- 学習の計画を立てさせ，復習，予習の習慣をつける。
- よく考える態度を養い学力伸長をはかる。
- 指導内容の精選，指導法の改善に努める。

② 道徳

- ひとりひとりを尊重する態度を養う。
- きまりを守り行動する態度を伸ばす。
- 感謝する気持を育てる。

③ 特別活動 ・教師の指導態勢を十分整え，自発的自律的活動を伸ばす。

生徒活動 ・クラブ活動に参加し，自主的な活動を伸長する。

- ・学級の基盤に立った生徒会活動，委員会活動を重視し，自主的な活動を伸長する。

学級活動 ・望ましい人間関係を育て，健全な生活態度を形成する。

学校行事 ・活動の場を明確にし，自主性を育てる。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	しあわせ学級			計
				1 年	2 年	3 年	
学級数	8	8	7	1		1	25
男	165	156	133	0	2	4	460
女	157	164	159	3	2	5	490
計	322	320	292	3	4	9	950

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	担任教科	分 掌 , そ の 他
1	東 恭 朝	50	校 長	49.4.1		
2	佐 野 和 夫	47	教 頭	47.4.1	技 術	
3	阿 藤 貞 夫	38	1 A	44.4.1	保健体育	教務部庶務係
4	渡 辺 礼 子	39	1 B	41.10.1	英 語	教務部学籍記録係
5	星 勝	37	1 C	46.4.1	音 楽	研究部企画係
6	能 瀬 典 子	30	1 D	50.4.1	国 語	図書視聴覚部視聴覚係
7	星 貞 裕	24	1 E	48.4.1	理 科	生活指導部生徒会係
8	宮 田 和 子	44	1 F	48.4.1	理 科	図書視聴覚部図書係
9	天 野 義 雄	42	1 G	47.4.1	社 会	教務部時間割係
10	鈴 木 美代子	44	1 H	50.4.1	数 学	保健部保健係
11	市 場 正 史	43	1年所属	42.4.1	数 学	生活指導部クラブ係 一年学年主任
12	宇津木 十四男	48	"	47.4.1	国 語	生活指導部安全係
13	黒 木 利 武	49	"	45.4.1	英 語	事務部主任
14	真 船 治 美	40	"	45.4.1	保健体育	教務部時間割係
15	笠 井 素 子	38	" しあわせ学級	47.4.1	心障教育	事務部
16	宮 田 隆	26	2 A	48.4.1	保健体育	生活指導部生活係
17	阿 部 敬	47	2 B	43.4.1	音 楽	教務部企画係
18	設 楽 益 穂	38	2 C	49.4.1	社 会	生活指導部生徒会係
19	山 本 節 子	35	2 D	41.4.1	数 学	生活指導部クラブ係
20	森 田 与一郎	22	2 E	50.4.1	国 語	教務部学籍記録係
21	福 井 温 子	48	2 F	42.4.1	国 語	教務部時間割係
22	岡 田 文 彦	35	2 G	44.4.1	数 学	研究部企画係
23	大 山 正 昭	45	2 H	43.4.1	英 語	図書視聴覚部主任
24	山 浦 宏	49	2年所属	45.4.1	社 会	事務部営繕係, 二年学年主任
25	立 川 泰 司	47	"	47.4.1	理 科	生活指導主任
26	養 輪 博 美	27	"	48.4.1	保 健	保健部給食係
27	土 屋 智恵子	27	"	47.4.1	美 術	事務部営繕係
28	森 田 寿 子	54	" しあわせ学級	43.4.1	心障教育	保健部, しあわせ学級主任
29	萩 原 晃	38	3 A	48.4.1	理 科	生活指導部生徒会係
30	内 堀 範 子	28	3 B	47.4.1	英 語	保健部給食係
31	逸 見 敏	37	3 C	46.4.1	美 術	生活指導部安全係
32	大 山 裕 子	28	3 D	46.4.1	社 会	生活指導部生徒会係
33	福 島 良 樹	26	3 E	47.4.1	理 科	生活指導部美化係
34	岩 村 武	26	3 F	50.4.1	社 会	教務部庶務係
35	筒 井 ハ ル	53	3 G	45.4.1	家 庭	教務部時間割係

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	担任教科	分 掌 . そ の 他
36	羽 生 幸 一	42	3年所属	45.4.1		保健部主任，三年学年主任
37	長谷川 忠 男	42	"	48.4.1	数 学	教務主任
38	山 賀 典 雄	46	"	46.4.1	技 術	研究主任
39	大 貫 米 子	42	"	44.4.1	国 語	図書視聴覚部図書係
40	伊 藤 利 子	30	"	46.4.1	保健体育	事務部営繕係
41	山 田 茂 徳	28	しあわせ学級 養護教諭	48.4.1	心障学級	教務部
42	小 谷 澄 江	26	養護教諭	45.4.1		保健部
43	古 塚 淳 夫	32	主 事	49.4.1		事務室主任
44	前 田 徹	43		50.4.1		充当指導主事（市教委）
45	城 所 京 子	37		50.4.1	美 術	
46	小 杉 洋 子	24		50.4.1	美 術	
47	木 村 隆 文	23		50.4.1	技 術	
48	木 村 留美子	26		50.4.1	音 楽	
49	矢ヶ崎 和 子	42		50.4.1	英 語	
50	山 本 和 夫	22		50.4.1	保健体育	

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか（教科について）
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか（教科以外について）
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について
昭和49年度	教科における指導法の改善について
昭和50年度	教科における指導法の改善について

9. 本校の特色

掲げられた教育目標の具現化の一つとして，昨年度来，次の二点に特に意を用いている。

- (1) 教科における指導法の改善について 学習の意欲を高め，よく考える態度を養う。をテーマに授業研究にとりくんで三年目。他校参観や校内での授業研究をもとに，資料の収集や整理にとめている。
- (2) 情操の育成を図るために，教室・廊下などの掲示指導に意を用い，また，校舎内外の美化のた

めに全校いっせいに清掃を実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となつてつとめている。

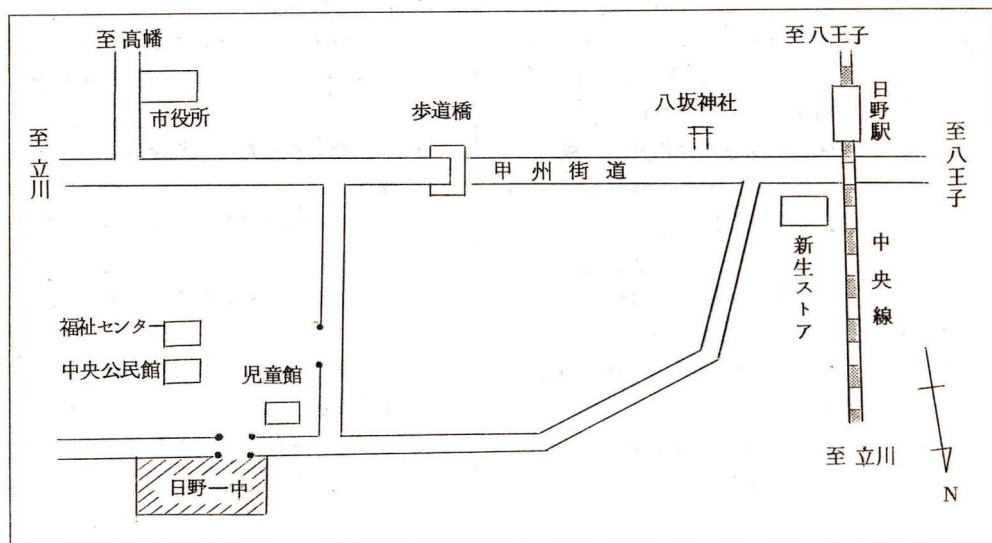
10. 都教育研究員・研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和35年度	佐 野 和 夫	職 業	研究員（豊島区高田中）
昭和43年度	立 川 泰 司	特 活	研究員（八王子市横山中）
昭和43年度	長谷川 忠 男	数 学	研究員（福生市福生一中）
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	研究員
昭和46年度	岡 田 文 彦	進路指導	研究員
昭和46年度	萩 原 晃	特 活	研究員（墨田区両国中）
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研究員
昭和47年度	岩 村 武	教育方法	研究員（昭島市清泉中）
昭和48年度	阿 藤 貞 夫	保 体	研究員
昭和49年度	天 野 義 雄	特 活	研究員
昭和49年度	五十嵐 公 恵	国 語	（現代化委員）
昭和50年度	逸 見 敏	美 術	研究員
昭和50年度	岡 田 文 彦	進路指導	（現代化委員）

11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的、技術的職業	102	10.7	技 能 的 職 業	300	32.2
管 理 的 職 業	110	11.6	運輸・通信の職業	57	6.0
事 務 的 職 業	215	22.6	サービスの職業	18	2.0
販 売 的 職 業	63	6.6	無 職 ・ そ の 他	35	3.7
農 業 ・ 漁 業	44	4.6	計	950	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4 丁 目 5 の 2
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 5 6 , 0 2 6 2
順 路 中 央 線 豊 田 駅 下 車 徒 歩 1 0 分

校 長 氏 名 飯 田 卯 吉

教 頭 氏 名 長 谷 川 辰 美

1. 沿革の概要

昭 29 年 設立認可，開校式，入学式（生徒 200 名）
第二期工事八教室増築落成
昭 31 年 第三期工事竣工落成
昭 32 年 第一回卒業式（卒業生 204 名）
昭 33 年 校旗，校歌制定
昭 34 年 産業教育研究校に指定される。
昭 35 年 特別教室（工作，調理，理科）竣工落成
昭 36 年 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会，修学旅行研究発表会
昭 37 年 プール竣工落成
昭 38 年 保健体育研究発表会
昭 39 年 普通教室 3 教室竣工，創立 10 周年記念式典挙行
昭 40 年 体育館竣工
昭 41 年 防音校舎第一期工事完成（6 教室）
昭 42 年 防音校舎第二期工事完成（18 教室），プール用更衣室工事完成
昭 43 年 南校舎前，境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭 44 年 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟（2 室）増設
昭 45 年 プレハブ一棟（2 室）増設
昭 46 年 プレハブ一棟（2 室）増設
昭 47 年 プレハブ二棟（10 棟）増設
昭 48 年 四中新設のため 34 学級より 25 学級に縮小
昭 48 年 創立 20 周年記念式挙行
校舎改修工事（内装）

昭 49 年 南校舎 3 階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。調理室床塗装。体育館屋根修理，外装，中庭，池整備。

2. 歴代校長

初代 橋本 貫一 昭 29.3.31 ~ 30.9.30
二代 増山 恒 昭 30.10.1 ~ 41.3.1
三代 飯田 栄一 昭 41.4.1 ~ 46.3.31
四代 河村俊一郎 昭 46.4.1 ~ 48.3.31
五代 飯田 卯吉 昭 48.4.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

学区は 3000 世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれを取りまき，東南部になお農業地域を残し，本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし，民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだ，節度ある自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い，奉仕の態度を身につける。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

・学習指導

- 指導法を研究し，授業効果を高め，基礎学力の充実を期す。
- 学び方を指導し，自ら学びとる学習の態

度を育成し、学力の向上をはかる。

・生活指導

○基礎的生活習慣の確立、生徒との交流を深める。

・進路指導

○系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 学校経営方針

東京都日野市教委の指向する教育指導目標の徹底に努めると共に、地域の父母との心の交流をはかり、特に社会的連帯意識を育てる教育の具現に着目する。

昭和48年度の生活指導に視点をあてた。昭和49年度は校舎内外の環境整備と美化に全力を集中した。本年度はこの基盤の上に立ち授業研究に全職員協力してあたり、基礎学力の充実と心身共に健康な個性、豊かな人間形成に創意工夫にあたる。そのために次の事項に重点をおく。

- (1) 教師は「授業で勝負する」の再確認。
- (2) 授業研究の積極的推進。
- (3) 職員の服務の厳正。
- (4) 公私を問わず物資の愛護と消費習慣の是正指導。
- (5) 学校は「教育遊び」の場でないことに留意する。

7. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	9	8	8	25
男	189	152	154	495
女	173	188	166	527
計	362	340	320	1,022

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	研究教科	校 務 分 掌
1	飯 田 卯 吉	60	校 長	48.4.1		経営管理
2	長谷川 辰 美	48	教 頭	48.4.1	英 語	校務一般
3	広 瀬 昭	44	1 - 1	48.4.1	英 語	庶務部長
4	佐 藤 光 子	44	1 - 2	50.4.1	音 楽	生徒指導部（生徒会指導本部）
5	伊 東 道 雄	23	1 - 3	50.4.1	国 語	生徒指導部 （生徒会指導・専門委員会）
6	森 紀 子	34	1 - 4	45.4.1	社 会	教務部（時間割）
7	飯 島 利 三	36	1 - 5	48.4.1	技 術	学習指導部（視聴覚）
8	石 田 洋 子	29	1 - 6	46.4.1	英 語	保健指導部（安全教育）

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	研究教科	校 務 分 掌
9	井 田 武	46	1 - 7	41.4.1	国 語	学習指導（道徳・学活）
10	和 田 啄 子	38	1 - 8	47.4.1	保・体	教務部（転出入）
11	原 島 弘	43	1年主任 1 - 9	46.4.1	保・体	生徒指導部 （生徒指導・教育相談）
12	小 林 初 子	38	1 年	46.4.1	美 術	教務部（時間割）
13	福 地 和 子	36	1年副主任 1 年	47.4.1	理 科	保健指導部（清掃）
14	稲 川 正 義	47	1 年	44.4.1	理 科	生徒指導部長
15	内 田 耕一郎	44	1 年	48.4.1	数 学	学習指導部 （視聴覚・教育機器）
16	秦 好 一	51	1 年	42.4.1	社 会	庶務部（学校園、ミルク）
17	内 藤 美 代	24	2 - 1	50.4.1	英 語	保健指導部（調査統計、清掃）
18	上 田 嘉 令	30	2 - 2	47.4.1	音 楽	学習指導部（視聴覚・放送）
19	三 島 敏 史	26	2 - 3	49.4.1	理 科	生徒指導部（クラブ）
20	大 石 幸 雄	36	2 - 4	46.4.1	保・体	生徒指導部（生徒指導）
21	高 崎 雅 子	40	2 - 5	46.4.1	国 語	学習指導部（図書館）
22	北 田 昇 司	27	2 - 6	47.4.1	理 科	教務部（時数集計・評定・報時）
23	石 渡 和 子	47	2年副主任 2 - 7	47.4.1	国 語	教務部（教科書）
24	安 原 実	28	2 - 8	48.4.1	社 会	生徒指導部（生徒会指導・本部）
25	佐 藤 実枝子	52	2年主任	46.4.1	英 語	教務部（時間割）
26	筆 吉 則 子	31	2 年	49.4.1	家 庭	学習指導部（学活・進路）
27	山 村 泉 二	48	2 年	44.4.1	社 会	庶務部（営膳・施設・就学援助）
28	渡 辺 勉	50	2 年	44.4.1	数 学	生徒指導部（生徒指導）
29	北 野 義 昭	29	3 - 1	48.4.1	美 術	庶務部（営膳・施設・備品）
30	橋 本 紘 一	34	3 - 2	43.4.1	英 語	学習指導部長
31	武 藤 光 哉	48	3年副主任 3 - 3	47.4.1	社 会	学習指導部（進路・放送）
32	柳 井 佐和子	35	3 - 4	42.4.1	保・体	保健指導部長
33	永 谷 豊	42	3 - 5	47.4.1	技 術	生徒指導部（生徒指導）
34	千 田 正 之	37	3 - 6	43.4.1	保・体	生徒指導部（生徒指導）
35	渡 辺 恵 敏	40	3 - 7	46.4.1	理 科	生徒指導部（生徒会指導）
36	村 上 敏 雄	40	3 - 8	47.4.1	音 楽	教務部（諸帳簿）
37	西 村 敦 子	36	3 年	47.4.1	家 庭	教務部（行事印刷）
38	森 川 亮	44	3 年	48.4.1	数 学	教務部長
39	由 佐 豊 子	33	3 年	47.4.1	国 語	学習指導部（掲示）
40	古 莊 斗糸子	36	3 年	45.4.1	数 学	保健指導部（清掃）
41	我 妻 要	51	3年主任	42.4.1	国 語	生徒指導部（生徒会指導）
42	須 藤 節 子	28	養護教諭	45.4.1	養 護	保健指導部（企画・応急・安全）
43	佐 藤 博 助	55	主 査	49.4.1	事 務	庶務部，事務部長
44	清 水 亀 喜	53	講 師	50.4.1	数 学	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任 年 月 日	研究教科	校 務 分 掌
45	篠 田 良 栄	27	講 師	50.4.1	理 科	
46	田 村 静 子	47	”	50.4.1	美 術	
47	本 間 慶 子	38	主 事	36.4.1	事 務	事務部
48	市 川 昌 子	31	”	48.10.15	”	”
49	川 村 道 雄	54	用 務 員	48.4.5		用 務
50	星 野 正 光	64	”	49.4.1		用 務
51	椎 名 小 晴	54	養護教諭	50.4.1	養 護	産休代替(50.4.1～50.7.21)
52	小 松 真		校 医	48.4.1		内 科
53	堀 田 芳 一		校 医	48.4.1		内 科
54	田 中 利 彦		校 医	48.4.1		眼 科
55	清 水 淑 郎		校 医	48.4.1		耳鼻科
56	中 安 彰 夫		歯 科 医	48.4.1		歯 科
57	橋 本 仁		歯 科 医	48.4.1		歯 科
58	井 上 幸 子		薬 剤 師	49.4.1		薬 剤
59	川 角 恵 子	38	講 師	50.4.1	家 庭	

9. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教科の経営について	昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導について
昭和41年度	目標と評価(初年度)	昭和46年度	性教育について
昭和42年度	目標と評価(継続)	昭和47年度	
昭和43年度	環境整備について 市美術教育研究協力校	昭和48年度	
		昭和49年度	授業研究
昭和44年度	環境美化について(継続)	昭和50年度	授業研究

10. 都教育研究員、研究生の出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別
昭和36年度	松本 利雄	社 会	研 究 員	昭和38年度	小林 節夫	美 術	研 究 員
昭和36年度	中村 忠男	数 学	”	昭和39年度	”	美 術	”
昭和37年度	照山宗一郎	技術・家庭	”	昭和40年度	”	美 術	”
昭和37年度	榎本 健三	学校行事	”	昭和40年度	福田 慶圀	英 語	”
昭和38年度	本間 トヨ	保健行事	”	昭和44年度	小林 節夫	美 術	”
昭和39年度	松本 利雄	学校行事	”	昭和45年度	西村美沙子	音 楽	”
昭和39年度	原島 弘	保健体育	”	昭和46年度	高木 宏文	数 学	”
昭和39年度	村上 利雄	音 楽	”	昭和46年度	中村 功	理 科	”

年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別	年 度	氏 名	教科領域	研 究 員 研究生別
昭和 47 年度	成瀬 二郎	理 科	研 究 員	昭和 49 年度	村上 敏雄	音 楽	研 究 員
昭和 47 年度	橋本 紘一	英 語	"	昭和 50 年度	森川 亮	教育経営	"
昭和 48 年度	原島 弘	道 徳	"				

11. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	89	8.7	運輸・通信的職業	19	1.9
管 理 的 職 業	78	7.6	サ ー ビ ス 業	16	1.6
事 務 的 職 業	665	65.1	無 職 ・ そ の 他	20	1.9
販 売 的 職 業	68	6.7			
農 業	13	1.2			
技 能 的 職 業	54	5.3	計	1,022	100

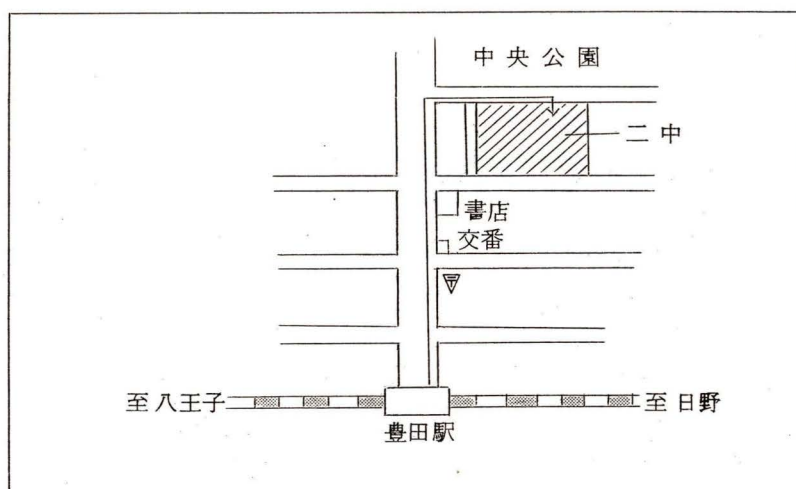
12. 本校の特色

300 世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔 105 m。公害を知らない学校。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。校舎も整備、内装等美化につとめている。

生徒数は 1,022 名。市内 5 中学校で 1,000 名を超えるのは本校のみ。昨年は 24、今年は 25 学級。今後また増加の見込みである。

出身小学校は、二小、三小、五小、六小、七小である。進路は就職者が 2～3 名で、他は全員進学者である。

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 七 生 中 学 校

所 在 地 日 野 市 豊 田 1944

電 話 0425-91-0174・0175

順 路 南 平 駅 (京王線) 下 車 徒 歩 7 分

校 長 氏 名 高 橋 太 一

教 頭 氏 名 古 川 豊

1. 沿革の大要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
- 昭22. 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行2部授業で発足。
- 昭23. 2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行。
- 昭23. 9. 4 新校舎完成、本日より授業開始。
- 昭32.12. 1 P T A結成第1回総会を挙行
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工（東京都費による）
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三三分校設置
- 昭45. 9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三三分校廃止
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46. 5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46. 8.24 プール浄化装置、更衣室完成
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成
- 昭47. 5.22 訪問学級開級式
- 昭47. 7.10 自然観察園完成
- 昭50. 5.20 南校舎西側増築工事完成
訪問学級教室完成

2. 歴代校長

氏 名	年 月	～	年 月
飯 塚 節 三	昭22. 4	～	昭25. 9
増 山 恒	昭25.10	～	昭30.10
飯 島 一 吉	昭30.10	～	昭37. 3
木 村 巧	昭37. 4	～	昭40. 3
芳 西 幸 三	昭40. 4	～	昭44. 3
羽 崎 一 男	昭44. 4	～	昭47. 3
高 橋 太 一	昭47. 4	～	現 在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区域は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区域内には百草園、高幡不動等があり、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

教育基本法と学校教育法の定めるところに
もとづき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の
五つを教育目標とする。

5. 本年度指導の重点

・学習指導

基礎学力の向上

自主的学習態度の養成

・生活指導

学校の教育目標を身につけた中学生らしい
生活態度の育成。生徒の非行化防止と善導

道徳・特別活動の効果的運営。

・進路指導

進学・就職の両面にわたり、自己の希望と適性を考え進路を決定するよう指導する。

・その他

健康の保持増進、交通に対する安全教育の推進。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計		1 年	2 年	3 年	計
学級数	8	7	6	21	訪問学級				
男	196	159	149	504	男	1	1	3	5
女	160	142	117	419	女			1	1
計	356	301	266	923	計	1	1	4	6

7. 職員数

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	高 橋 太 一	56	校 長	47.4.1	理 科	
2	古 川 豊	50	教 頭	50.4.1	英 語	
3	小 松 文 木	44	1 - A	48.4.1	理 科	生活指導
4	山 田 葉 子	26	1 - B	47.9.1	英 語	生活指導
5	小井塚 洋 一	23	1 - C	50.4.1	保 体	視 聴 覚
6	安 藤 ゆき江	35	1 - D	49.4.1	保 体	庶 務
7	三 浦 義 次	38	1 - E	49.4.1	技 術	庶務主任
8	大 石 文 秋	29	1 - F	50.4.1	国 語	図 書
9	内 藤 由紀子	38	1 - G	49.4.1	英 語	生活指導
10	石 井 幸 男	43	1 - H	41.4.1	理 科	保 健
11	佐 藤 良 枝	53	1年主任	42.4.1	国 語	研 究
12	明 石 敏 春	46	1年所属	41.4.1	数 学	教務主任
13	木 下 満 子	44	1年所属	45.4.1	社 会	教 務
14	松 本 節 子	36	1年所属	42.4.1	家 庭	教 務
15	大 藪 和 子	49	2 - A	48.4.1	数 学	教 務
16	新 井 教 旦	38	2 - B	46.4.1	数 学	生活指導
17	釣 晃 敏	32	2 - C	49.4.1	社 会	研究主任
18	佐 藤 栄	31	2 - D	49.4.1	社 会	庶 務
19	猪 井 詔 子	30	2 - E	43.4.1	英 語	生活指導
20	阿 部 晃 一	43	2年主任 2 - F	42.4.1	美 術	図書主任
21	大 串 美根子	24	2 - G	49.4.1	音 楽	教 務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
22	山 辺 文 男	53	2年所属	43.4.1	国 語	生活指導主任
23	成 舞 京 子	40	2年所属	46.4.1	理 科	教 務
24	加 藤 邦 子	36	2年所属	41.4.1	保 体	保 健
25	高 見 登志子	29	2年所属	50.4.1	家 庭	庶 務
26	大 塚 和 子	28	2年所属	44.6.16	養 護	保健主任
27	中 村 剛 紀	33	3 - A	46.4.1	美 術	生活指導
28	山 川 昭 子	43	3 - B	48.4.1	数 学	庶 務
29	荒 井 式 子	44	3 - C	48.4.1	社 会	庶 務
30	海 谷 幸 子	35	3 - D	47.4.1	英 語	教 務
31	伊 藤 秀 則	38	3 - E	49.4.1	保 体	生活指導
32	大 宅 寛	41	3 - F	38.4.1	音 楽	視 聴 覚
33	赤 木 清 福	51	3年主任	39.4.1	国 語	研 究
34	田 中 憲 助	48	3年所属	37.4.1	理 科	視聴覚主任
35	志 村 嘉 信	41	3年所属	38.4.1	技 術	保 健
36	戸 川 二美子	28	3年所属	45.4.1	国 語	図 書
37	御子柴 昭 治	49	訪問学級	47.4.1	特 殊	訪問学級
38	榎 沢 日出子	30	訪問学級	49.4.1	特 殊	訪問学級
39	飯 キ ミ	63	事務主事	22.4.30	事 務	事務主任

8. 本校研究主題の推移

昭和 40 年度	学校行事等の基本的考え方について
昭和 41 年度	学校行事等の調査検討
昭和 42 年度	学校行事等の指導計画作成について ㊦
昭和 43 年度	学校と家庭の協力について（特に家庭訪問） ㊦
昭和 44 年度	効率を高める学級経営のすすめ方について ㊦
昭和 45 年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について㊦
昭和 46 年度	効率をたかめるための指導のあり方について
昭和 47 年度	学級経営の効率的運営について
昭和 48 年度	ひとりひとりを生かす学級経営について
昭和 49 年度	ひとりひとりを生かす学級活動について
昭和 50 年度	生活指導を充実するための学級活動について

9. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。昭和 35 年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は 3.5 %、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

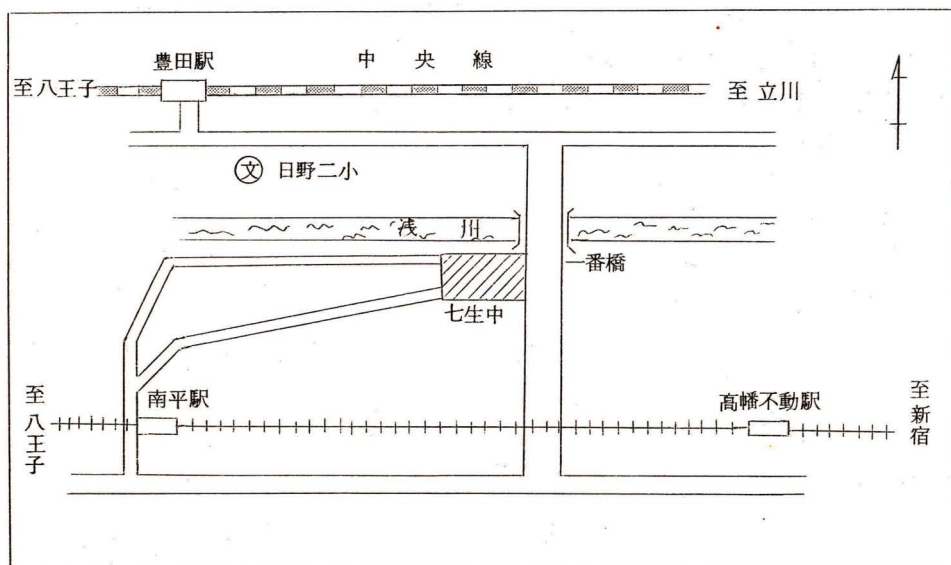
10. 都教育研究員，研究生の出身歴

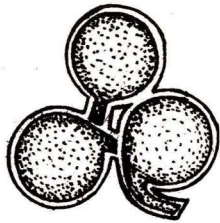
年 度	氏 名	教科領域	研究員，研究生別
昭和34年度	出 水 操	美 術	研 究 員
昭和41年度	城 所 富 子	技術家庭	〃
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃
昭和49年度	山 川 昭 子	数 学	〃
昭和49年度	志 村 嘉 信	技 術	研 究 生

11. 保護者の職業一覧

職 業 名	家庭実数	%	職 業 名	家庭実数	%
会 社 員	525	56.9	自 営 商 業	44	4.8
公 務 員	84	9.1	自 営 農 業	32	3.5
学 校 職 員	32	3.5	自 由 業	40	4.3
鉄道関係 職員	29	3.1	無 職	23	2.5
公 団 職 員	8	0.9	そ の 他	19	2.0
自 営 工 業	87	9.4	計	923	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 650
電 話 0425-91-2228 (代)
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて
高幡台団地下車 徒歩5分

校 長 氏 名 松 延 耕 作

教 頭 氏 名 小 林 節 夫

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始。生徒数26名、教職員数12名。
- 昭45. 7. 7 プール建設工事着工（日野市程久保650）
- 昭45. 9. 4 校舎新築工事着工。（同上）
- 昭45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校、七生中学校内で授業。生徒数44名、教職員14名。百草団地、高幡台団地を学区とする。
- 昭45.10.28 プール工事竣工。
- 昭46. 3.27 校舎新築工事竣工。
- 昭46. 4. 1 学区変更、程久保地区全部、三沢地区上、中を加える。生徒数228名、学級数7、教職員16名、市職員3名、日野市程久保650番地の新校舎に移転。
- 昭46. 7. 1 学区変更、西武百草園団地を加える。
- 昭46.10. 2 開校式挙行。10月2日を開校記念日とする。校章、校歌を発表、制定記念日とする。
- 昭47. 4. 1 生徒数363名、学級数10、教職員19名、市職員4名。
- 昭47. 8.11 体育館建設工事着工。
- 昭48. 1.31 体育館工事竣工。
- 昭48. 3.17 第2回卒業式挙行。卒業生105名。（累計128名）

- 昭48. 4. 1 生徒数455名、学級数12、教職員22名。社会増による教室不足のためプレハブ2教室増設。
- 昭49. 3.15 プレハブ家庭科室工事着工
- 昭49. 3.18 第3回卒業式挙行。卒業生144名（累計272名）
- 昭50. 3.20 第4回卒業式挙行（卒業生142名（累計414名）
- 昭50. 4. 1 校舎増築第二期工事竣工

2. 歴代校長

- 初代 橋本 敏一 昭45.9～48.3
二代 松延 耕作 昭48.4～現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市南部の多摩丘陵地帯に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西武百草園団地および在来の集落である程久保、三沢をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に見渡すことができる。学区内に都立多摩動物公園、明星大学があり、よい環境である。住民の多くは各地より最近移住した者で、その大半は都心へ通勤するサラリーマンである。

4. 教育目標

自ら判断し、責任をもって実行する人となる。

- (1) 基礎学力を充実し、文化を創造する人となろう。
- (2) 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。
- (3) 若人らしい気力、体力を養おう。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア. 各教科

教材を精選するとともに、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ. 他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに責任ある行動ができるように指導内容をくふうする。

ウ. 特別活動

① 小集団を基礎に個人の自発的活動をうながし、学級集団の質を高める。

② 学級学年の活動を母体としての生徒会活動の充実をはかる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア 生活指導 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

イ 進路指導 教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	6	6	5	17
男	122	120	103	345
女	113	107	87	307
計	235	227	190	652

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	54	校 長	48. 4. 1	経 営	
2	小 林 節 夫	46	教 頭	49. 4. 1	美 術	校務一般
3	星 野 明	56	1 - 1	48. 4. 1	国 語	生徒指導 (教育相談)
4	五十嵐 公 恵	44	1 - 2	50. 4. 1	"	進路指導
5	長 島 寿 平	53	1 - 3	45. 10. 1	理 科	"
6	桜 井 絢 子	38	1 - 4	46. 4. 1	保・体	学級会指導
7	安 治 道 夫	56	1 - 5	50. 4. 1	音 楽	教 務
8	富 山 謙 一	30	1 - 6	49. 4. 1	社 会	生徒会指導

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
9	鈴木 信 一	49	一年代表	47. 4. 1	数 学	図書、資料
10	遠 藤 仁	42	一 年 付	45.10.1	英 語	教務
11	佐 藤 恒	44	”	45.10.1	美 術	庶務
12	伊 佐 節 子	38	”	50. 4. 1	養 護	保健指導
13	大 塚 長 栄	46	2 - 1	49. 4. 1	国 語	教務
14	塩 野 邦 夫	44	2 - 2	50. 4. 1	理 科	生徒指導
15	河 野 裕 香	42	2 - 3	45.10.1	音 楽	P.T.A
16	加 島 俊 博	28	2 - 4	50. 4. 1	技 術	生徒会指導
17	宮 尾 文 子	39	2 - 5	50. 4. 1	理 科	保健指導
18	持 田 友 宏	41	2 - 6	45.10.1	社 会	教具、機具
19	綿 引 正 巳	46	2年代表	49. 4. 1	英 語	教務
20	鈴木 幸 子	45	2 年 付	45.10.1	数 学	進路指導
21	北 原 景 昭	42	”	45.10.1	保・体	生活指導主任
22	志 茂 知 之	44	3年代表 3 - 1	47. 4. 1	社 会	庶務
23	細 谷 洋 三	42	3 - 2	48. 4. 1	理 科	P.T.A
24	高見沢 文 男	26	3 - 3	48. 4. 1	数 学	生徒会指導
25	鍛 冶 真 理	24	3 - 4	49. 4. 1	英 語	学級会指導
26	東 郷 隆 盛	49	3 - 5	45.10.1	国 語	図書・資料
27	菊 地 貞 光	37	3 年 付	48. 4. 1	技 術	教務
28	加 藤 常 光	39	”	50. 4. 1	保・体	生徒指導
29	佐 藤 寿 枝	36	”	45.10.1	家 庭	保健指導
30	阿比留 義 朗	30	主 事 (事務)	49. 4. 1	事 務	行政事務
31	鈴木 正 美	47	講 師	50. 4. 1	社 会	
32	丸 山 久 子	44	”	”	”	
33	青 木 洋 子	31	”	”	美 術	
34	瀬 戸 ケイ子	25	”	”	保・体	

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度 評価の改善について

学級活動の組織的研究

昭和47年度 評価について

教育活動（特活を中心としたもの）年間計画の検討

昭和48年度 視聴覚教育機器の取り扱いと利用法の研究

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。校舎落成3年目であるが、施設、設備は一応整って、その活用につとめている。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

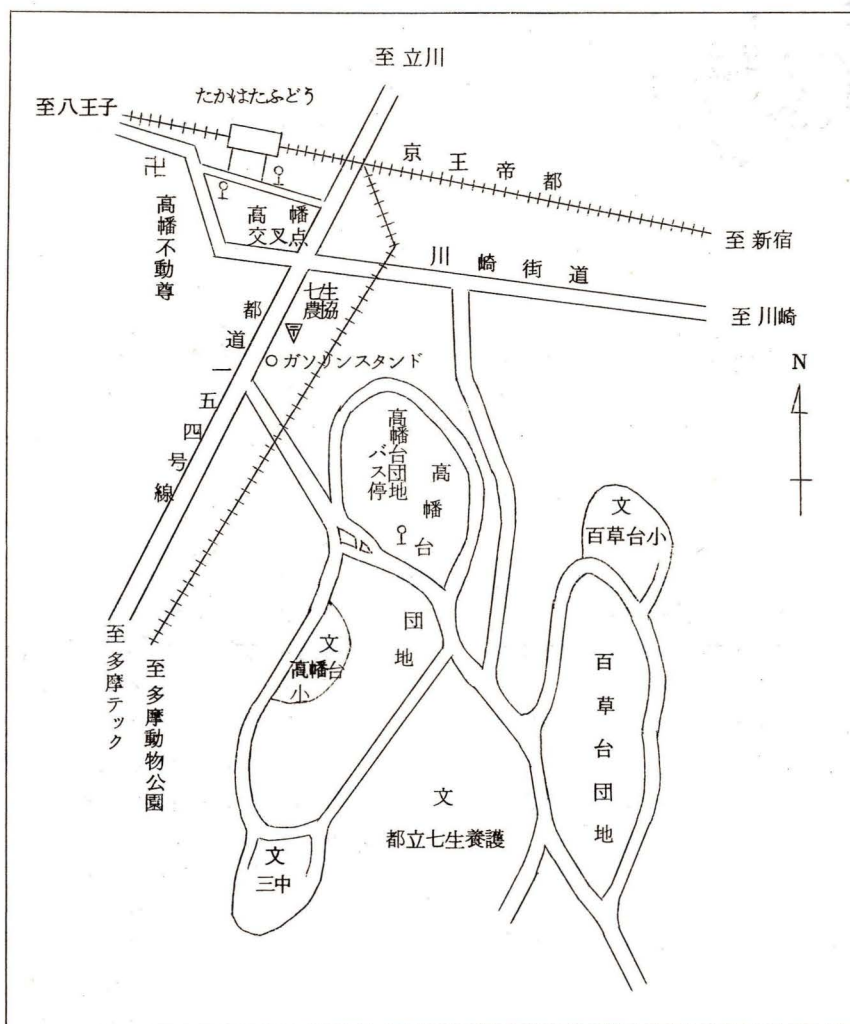
10. 都教育研究員、研究生出身歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研究生
昭和36年度	〃	〃	研究員
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和39年度	〃	〃	〃
昭和40年度	〃	〃	〃
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	〃
昭和44年度	綿 引 正 巳	教育方法	〃
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和45年度	加 島 俊 博	技 術	〃
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	〃
昭和47年度	持 田 友 宏	社 会	〃
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	〃
昭和48年度	小 林 節 夫	美 術	教育現代化委員
昭和49年度	持 田 友 宏	社 会	研究生
昭和49年度	五十嵐 公 恵	国 語	教育現代化委員
昭和50年度	大 塚 長 栄	国 語	研究員
昭和50年度	志 茂 知 之	社 会	教育現代化委員

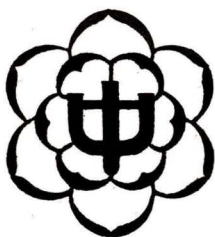
11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的、技術的職業	66	10.9	運輸通信などの職業	12	2.0
管 理 的 職 業	109	18.1	保 安 的 職 業	10	1.7
事 務 的 職 業	301	49.8	サービスの職業	14	2.3
販 売 的 職 業	28	4.6	無 職 ・ そ の 他	14	2.3
農林漁業などの職業	6	1.0			
技 能 的 職 業	44	7.3	計	604	100.0

12. 学校に至るまでの地図



順路：京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車 徒歩5分



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 中 学 校
所 在 地 日 野 市 旭 ガ 丘 2-42
電 話 0425-83-3905
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス(長房団地行) 都立工科短大下車5分

校 長 氏 名 河 村 俊 一 郎

教 頭 氏 名 河 野 寿 忠

1. 沿革の概要

- 昭46.12 市議会全員協議会で四中建設について協議した。
- 昭47. 3.26 市議会は四中建築予算を議決した。
- 5.10 市教育委員会は四中準備委員会をつくった。
- 8.21 四中校舎起工式(工事費19億円。施工小田急建設)
10. 7 市教育委員会は父母対象に学区説明会を開いた。
12. 7 市教育委員会は四中の学区を決定した。
- 12.25 市議会は四中の屋内体育館の予算を議決した。
- 48
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
- 2.10 14学級(1年5, 2年5, 3年4)との認可通知がきた。
- 3.26 都から第四中学校の設立認可の通知がきた。
4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令された。
4. 6 始業式(2年193名, 3年152名)
4. 9 第一回入学式(1年192名 全校生徒537名となる)
- 5.13 プール着工(工費約2,700万円) 施工
- 6.11 プレハブ2教室使用開始
7. 2 屋内体育館完成使用開始
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール落成
- 10.13 校歌作詞完成

- 昭48.10.16 校章決定
- 10.16 教育目標設定
- 11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
- 11.14 PTA規約承認 PTA発足
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭49. 2. 2 標準服制定
2. 9 PTA第一回総会
- 3.18 第一回卒業式(男73,女79)
4. 6 プレハブ3教室使用開始
4. 8 第二回入学式(男129,女122)
- 4.24 佐藤イサ教諭記念造園完成
- 5.30 保健室冷房装置取付
- 6.26 航空写真撮影
7. 1 増築工事開始(校舎3スパン, 体育倉庫・校庭砂場・物置き・機械室)工費約1.6億円 施工 小田急建設
7. 3 保健室 空気清浄装置取付
- 8.14 玄関前, 校門前植樹
9. 6 駐車場舗装
- 9.17 VTR一式購入
- 10.19 玄関前コンクリート舗装
- 昭50. 1. 8 体育倉庫, 砂場完成
- 2.15 PTA規約改正総会
- 3.18 増築完成 学校へ引き渡し
- 3.20 第二回卒業式(男130,女123)
4. 7 自転車置場, 新校舎使用開始
4. 8 第三回入学式(男136,女129)

2. 歴代校長

代 氏 名 期 間

初代 河 村 俊一郎 昭48.4.1 ~ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地（日野台）と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域の開発は日野市の中でもっともおくれているところのひとつであり、人家はほとんどなかったが昭和12年 小西六写真工業(株)（六桜社）、昭和18年富士電機製造(株)の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

その他、平山工業団地、国鉄豊田電車区なども畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近10年間でいじりくく変化している。

4. 教育目標

わたしたちは、平和で民主的な国家、社会の形成者となるために、つぎの目標を定めます。

- 一、進んで学習し、向上する人
- 一、進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 一、進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 自主性・社会性・実践力（気力・知力・体力）の育成と豊かな情操の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は標準時数以上を実施する。
- (4) 図書資料の整備 新校舎落成による図書室の完成にともない、学校図書、各種資料の整備につとめる。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

- ア、進んで学びとる学習態度を育成する。
- イ、基礎学力の充実をはかる。
- ウ、教材の精選、指導法の研究に努める。

(2) 道徳

- ア、基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。
- イ、異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
- ウ、よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

(3) 特別活動

- ア、教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
- イ、自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を養う。

(4) 生活指導

ア、組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。

イ、ひとりひとりの生徒との交流（個別指導）と集団指導とが、互いに補足し合うよう指導をすすめる。

ウ、賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。

エ、すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。

(5) 進路指導

系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する能力を育成する。

(6) その他の配慮事項

ア、学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を推進する。

イ、校内緑化、環境整備と美化に努める。

ウ、生徒指導、生徒会活動、クラブ活動、教職員の諸会議に活用するため、一単位時間は45分とする。

エ、道徳は月曜1校時とし、全校一斉に実施する。

オ、学級活動と学級指導を合わせて水曜1校時に全校一斉に実施する。

カ、クラブ活動は木曜7校時に実施し、なお一層の活動（課外クラブ）も認める。（火・土）

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	6	6	5	17
男 子	136	126	99	361
女 子	129	120	97	346
男女計	265	246	196	707

7. 教職員一覧

（50.4.1現在）

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
1	河 村 俊一郎	54	校 長	48.4.1		
2	河 野 寿 忠	43	教 頭	〃	理 科	
3	丸 山 尙 夫	42	1年主任	〃	数 学	教務（時間割）
4	鈴 木 健 一	26	1 - 1	〃	保 体	生活（生徒会・クラブ）
5	大 野 滢 子	39	2	50.4.1	音 楽	生活（生徒・安全）
6	小 畑 亮	52	3	48.4.1	美 術	庶務主任（営繕・施設備品）
7	小 塚 志乃ぶ	22	4	50.4.1	国 語	生活（清掃・保健）
8	堀 江 富 男	23	5	49.5.1	国 語	生活（生徒会・クラブ）

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	そ の 他
9	柳 沢 美 澄	38	1 - 6	48.4.1	英 語	研究(学活・道德・図書)
10	富 士 堯	42	研究主任	"	理 科	研究主任(研修・研究)
11	国 信 武 司	25	1年所属	"	社 会	教務(教務事務)
12	鈴 木 良 身	43	2年主任 2 - 5	"	技 術	教務(教務事務)
13	木 村 守	41	2 - 1	50.4.1	英 語	生活(安全・保健)
14	藤 野 澄 子	47	2	49.4.1	国 語	教務(教務管理)
15	工 藤 満 春	39	3	"	理 科	研究(教育機器)
16	門 脇 年 子	43	4	"	美 術	研究(道德・学活・研修)
17	辻 和 代	28	6	48.4.1	保・体	生活(生徒会・クラブ)
18	黒 沢 谷五郎	49	2年所属	"	社 会	生活(清掃)
19	相 原 美智子	38	2年所属	"	数 学	生活(生徒)
20	久保田 俊 司	32	2年所属	49.4.1	英 語	庶務(給食)
21	萩 原 典 子	46	3年主任	48.4.1	家 庭	教務(教務管理)
22	六本木 茂	46	3 - 1	"	社 会	庶務(就学援助・カーテン)
23	伊 藤 誠	25	2	"	保 体	生活(安全・清掃)
24	設 楽 悦 代	38	3	"	理 科	研究(道德・学活・掲示)
25	西 村 美紗子	38	4	"	音 楽	生活(生徒会・クラブ)
26	田 中 栄 一	47	5	"	国 語	研究(図書)
27	西 川 利 行	49	生活指導	"	英 語	生活指導主任(生徒)
28	高 木 宏 文	41	教 務	"	数 学	教務主任(教育課程)
29	長 峯 幸 子	24	養 護	"		生活(保健)
30	大 野 馨	41	事務主事	"		事務主任
31	崎 川 愛 子	48	講 師	50.4.1	数 学	
32	木 村 降 文	23	"	"	技 術	
33	佐 藤 靖 子	36	"	"	家 庭	
34	飯 島 美紗子	37	"	"	保 体	

8. 本校の研究主題の推移

昭和48年度	学習指導の現代化(授業研究)
昭和49年度	生徒の自主性をのばす教科指導(授業研究)
昭和50年度	

9. 本校の特色

- (1) 施 設 敷地約17,000㎡ 二級防音校舎 普通教室 21(内4教室特別教室に転用)
 特別教室7, 体育館1,100㎡, プール 6コース 25m循環式,
 校庭 約115m × 64m

(2) 教育活動 各領域の調和に心掛けつつ、新しい校風を創る意気に燃えている。

ア. 授業 校内の研究を深め、1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ、真面目な生徒を育てる。

イ. 特別活動 生徒会（毎月曜）、学級（毎金曜）、クラブ（毎木曜）、学校行事（適時）の調和をめざし、一方に片寄ることなく、時間を厳守して活動し、自発性、自律性を育てる。下校時刻後、校内に残留する生徒は1名もいない。

クラブは他に、火、木は5時まで、土は3時30分まで自主的活動を時間外に可能とし、全職員分担して指導している。

(3) 授業研究推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

10. 都教育研究員、研究生出身歴

S41	河野 寿 忠	研究員	理科（日野一中）	S30	西 川 利 行	研究生	教育大英 ^{八王子} _{五中}
S41	富 士 堯	〃	特活（ 〃 ）	S46	富 士 堯	〃	都 研 理（日野一中）
S45	田 中 栄 一	〃	国語（日野二中）	S49	丸 山 尙 夫	研究員	進 路（日野四中）
S44	西 村 美紗子	〃	音楽（ 〃 ）	S48	西 川 利 行	現代化委	学校経営（ 〃 ）
S35	西 川 利 行	〃	英語（八王子五中）	S49	高 木 宏 文	〃	特別活動（ 〃 ）
S46	高 木 宏 文	〃	数学（日野二中）				

11. 保護者の職業一覧

各クラス在籍者全員調査

区 分	内 容	人 数	%
教 員	幼・小・中・高・各種学校	30	42.4
学 者・研究者	大学・研究所	6	0.85
医 師	開業医・病院医とも	8	1.13
国鉄・私鉄職員		53	7.50
警 察 署 勤 務		11	1.56
銀 行 勤 務	銀行・信用金庫	14	1.98
公社・公団職員		17	2.40
公 務 員	役所・公共施設勤務	48	6.79

区 分	内 容	人 数	%
自 営 商 工	商業・工業・アパート経営	59	8.35
店 員 ・ 工 員		7	0.99
企 業 経 営 者	役員・重役等	32	4.53
業 会 社 員	部課長・一般職員とも	379	53.61
サ ー ビ ス 業	美容・理容・タクシー運転手・ウエイトレス・料理人・看護婦	15	2.12
農 業		2	0.28
無 職		7	0.99
そ の 他	宗教団体・政治団体・奉仕団体等の職員	7	0.99
	自由業（タレント・セールス・デザイナー・著述業・建築士等）	12	1.69
合 計		707	100.00

12. 学校に至るまでの地図



